



与那国

八重山

宮古

中南部

北部

しまくとうば

読本

しまくとうば読本

中学生



はじめに



私達の沖縄県は、日本の南に位置しており、^あ亜熱帯ならではの自然や、他府県とは異なる素晴らしい文化がたくさんあります。

それらの自然や文化は、私達が祖先から受け継いできた貴重な財産です。

しかしながら、地域で進む開発とともに貴重な自然は、^か破壊されつつあり、文化を支える「しまくとうば」も、^{めつ}消滅が危惧される状況にあります。

「しまくとうば」は、地域の伝統行事や年中行事などで使われる大切な言葉であり、組踊や琉球舞踊、沖縄芝居などといった沖縄文化の基層を成し、いわば沖縄県民にとってのアイデンティティのより所でもあります。

沖縄県は、県民が「しまくとうば」に対する关心と理解を深め、後世に「しまくとうば」を継承していくため、平成18年3月に、9月18日を「しまくとうばの日」としました。

この『しまくとうば読本』は、県内の小学生・中学生の皆さんに、「しまくとうば」の良さを知ってもらうとともに、日ごろから「しまくとうば」に慣れ親しんでもらうために作成されたものです。

「しまくとうば」は、地域によって、表現や発音が異なります。

本書では沖縄島中南部、北部、宮古、八重山、与那国の5つの地域から、それぞれ1地区を取り上げて調査をした上で、その地区の「しまくとうば」を掲載しています。

まずは、本書を読んでもらい、自分の住んでいる地域の「しまくとうば」を使ってみて、他の地域との違いを知ってみましょう。

もしかしたら、家庭では、住んでいる地域とは異なる「しまくとうば」を使っているかもしれません。

その時は、他の地域の「しまくとうば」との違いを比べてみても面白いと思います。

「しまくとうば」を学ぶことは、沖縄に住む自分達のことを知ることでもあり、地域を知ることにもつながります。

この『しまくとうば読本』を多くの皆さんに活用してもらい、「しまくとうば」の普及、継承に役立つことを願っています。





しまくとうば 読本

しまくとうば 読本
中学生



※ CD に収録されている内容は、話者によって
本文とは異なる場合があります。

「しまくとうば読本」の使い方

○ 本書では、皆さんと関わりの深い学校生活や家庭での出来事、昔から受け継がれてきた地域の行事や年中行事など、場面ごとにテーマが変わります。

始めから順序よく読んでも良いですし、自分の好きな場面から読んでみるのも、ひとつの方法です。

○ どんな場面での会話なのか想像できるように、イラストを多く使いました。

最初に、中南部の「しまくとうば」についているイラストを見ながら、それぞれの場面を想像して読むといいですね。

○ 5つの地域（地区）の言葉を、一目で区別できるように文字色を分けて表現しています。

■ 赤色：中南部（那覇市那覇の言葉）

■ 茶色：北部（名護市久志の言葉）

■ 緑色：宮古（宮古島市平良の言葉）

■ 青色：八重山（石垣市四箇の言葉）

■ 桃色：与那国（与那国町祖納の言葉）



○ 学校に配布したCDで、音声を聞くことができます。

○ 見開きページの右上部に、「メモ」ができる空らんを設けています。気づいたことや、調べた言葉を記録するのに活用してください。

○ 本書に出てくる「しまくとうば」の索引を巻末に付けました。わからない言葉の意味を調べるときに使うと便利です。

○ 「しまくとうば」の表記は、片仮名やローマ字で表すなどいろいろな方法があります。本書では、皆さんが日ごろから慣れ親しんでいる平仮名を用いています。

ただ、「しまくとうば」で表現するのが難しく、共通語をそのまま使っている言葉に関しては漢字や片仮名で書いてあります。

○ 「しまくとうば」には、五十音では表現できない言葉があります。

それを表現するために、特別な表記を使っています。本を読む前に、次のページにある「特別な表記について」の説明を読みながら、CDを聞いて確かめましょう。

○ 漢字に関しては、中学校以上で学習する漢字には振り仮名を付けました。

振り仮名のない漢字は、小学校で学習した漢字です。また、地域名や固有名詞にはできるだけ振り仮名を付けるようにしました。



特別な表記について



本書を活用する際、「つわ」や「が」など、日ごろ目にすることのない表記があることに気がつくと思います。これは、「しまくとうば」の発音が五十音でうまく表現できない音を表すものです。これらの表記についてはここで簡単に説明しますが、説明だけでは分かりにくいと思いますので、学校に配布したCDを開いて音声を確認できるようにしました。

①のどをつめて発する音（喉頭化音 - こうとうかおん -）

発音の出だしにのどをつめて発する音が喉頭化音で、表記は、左上付きの「つ」を付けて表しました。例えば、那覇くとうばで、「わー」とは「私」を意味しますが、のどをつめて発する「つわー」という表記は「豚」の意味になり、全く意味が違う言葉になります。

中南部では、他にも「つやー（君）」「つんむ（いも）」などがあります。北部でも同じように「つまーり（生まれ）」「つめーし（おはし）」など、与那国でも「ついーぶに（口）」「つくいてい（作って）」などと、発音されていますので、本書でもそのように表記してあります。なお、与那国語中の「つ」は、単語の区別に使用されないので省きました。

②中間の音を表す（中舌母音 - なかじたぼいん -）

中間の音を発するのが中舌母音です。表記は、「い」と「う」の中間の音を表す「いう」があります。「え」と「お」の中間の音を表す「えう」があります。

特に、宮古地方や八重山地方で多く使われ、平良では、中舌母音を発するときに軽い「ス」や「ズ」の音が伴う「ぴうぎ（ひげ）」、「まいう（ご飯）」などがあり、石垣でも「ぱしう（おはし）」、「きうんだいくに（島ニンジン）」などと発音されます。

③鼻にかかる音（鼻濁音 - びだくおん -）

ガ行が鼻にかかり濁音となる音を鼻濁音といい、現代共通語にもあるガ行の表記に上付きの「°」を付けて表しました。

よく使われるは与那国で、「あんが（私の）」「まんぐ（孫）」「なんぎる（投げる）」などがあります。

④歴史的仮名づかいで表す音

W音を表す表記として古代語の表記を利用し、wiを「ゐ」、weを「ゑ」、woを「を」で記しています。「を」は、現代共通語では「絵をかく」などの格助詞を表す言葉として表記しますが、現代共通語でW音は消滅してしまい、実際の発音では「お」となります。

中南部では、「ゐきが（男）」「つゑんちゅ（ねずみ）」などに使われ、北部でも「ゐきがー（男）」「つゑゐ（指）」「つゑっちゅー（ねずみ）」などに使われます。

このW音（ワ行音）の一部は、平良では「ばん（私）」「ぶとう（夫）」、石垣では「ばぬ（私）」「ぶとう（夫）」のようにバ行音になります。

⑤唇に歯を軽くつけて発する音

宮古島の表記で「ふう」のように、上付きの「ふ」になっているものは、共通語の「ふ」とは異なり、英語のような唇歯音（上の前歯の先端を下唇に軽くつけて出す音）fです。「ふうちゅう（口）」「ふあつとー（いただきます）」「ふいーさーち（お願いします）」。唇歯音は、他に「つづあ」のようにvの音もあります。

⑥唇を閉じながら発音する「ん」の音

宮古島で「む」のように「む」の小文字で表記されているのは、唇を閉じながら発音する「ん」の音です。「むちゅう（道）」「いむ（海）」などに使われます。

この他にも見なれない表記が出てきますが、音声を聞きながら確かめましょう。

目次

1 自己紹介・家族紹介

こんにちは。私の名前は、太郎です。 6
私の家族です。紹介（お知らせ）します。 8
身体を表す言葉。 10

2 一日の生活

今日も一日が始まります。 12
朝ご飯は、しっかり（きちんと）食べなさいね。 14
一緒に学校へ行く。 16
どんなことを習っているのかな。 18
休み時間のときには 20
今日の給食は何だろう？ 22
今日も頑張って勉強したよ。 24
これから部活動。練習に行く。 26
今日は良い日だった。 28

3 遊び

きれいな花を探しに行こう。 30
草花で遊ぼうよ。 32
草花や草木の名前を調べてみよう。 34
昆虫や動物の名前や鳴き声を調べてみよう。 36
これから買い物に行く。 38

4 買い物・外食

お店にて、買い物をする。 40
今日は、外に食べに行こう。 42
美味しいものは、何があるのかな。 44

5 観光案内

沖縄島中南部のいろんな所をご案内しましょう。 46
沖縄島北部のいろんな所をご案内しましょう。 48

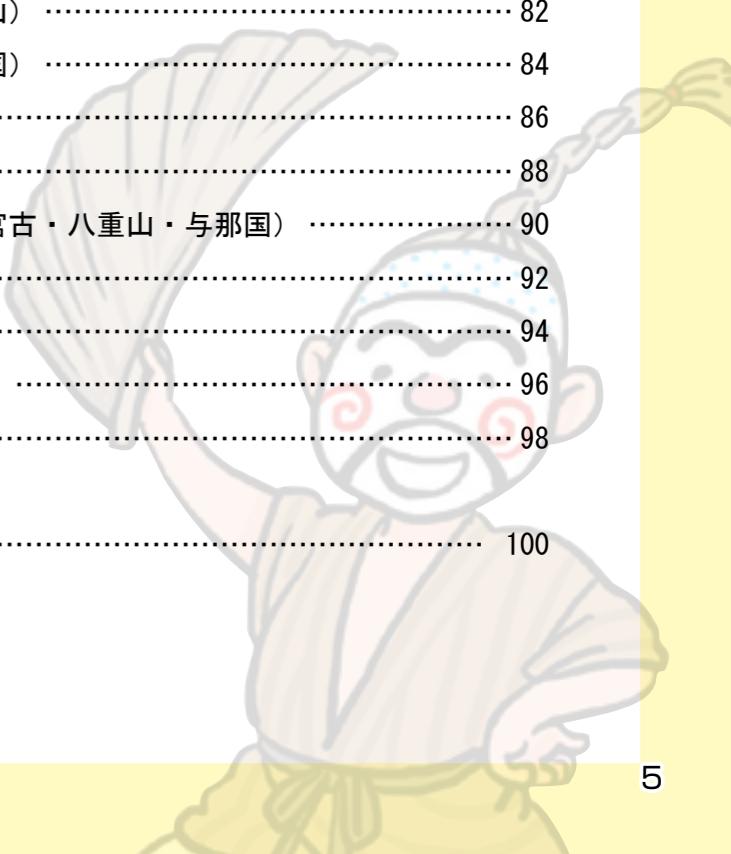
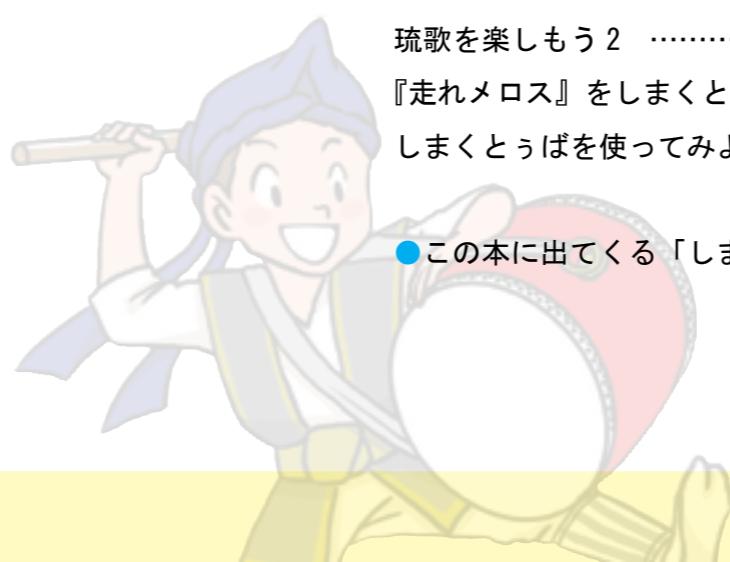
これからは宮古のあちこちをご案内しましょう。 50
これからは八重山のあちこちをご案内しましょう。 52
これからは与那国のいろんな所をご案内しましょう。 54

6 年中行事

私たちの故郷のはーりーは、見事なものだ。（中南部） 56
私たちの島の村踊りは、見事なものだ。（北部） 58
ぱーんとうーは、宮古でも有名な祭りなんだよ。（宮古） 60
私たちの島の豊年祭は、見事なものだ。（八重山） 62
私たちの島の豊年祭は、見事なものだ。（与那国） 64
良いお正月です。 66
むーちーを作つて、年の数のむーちーを下げよう。 68
今日は清明祭。みんなで墓参りに行こう。 70
今日からお盆。お迎えしましょう。 72
今日は、妹の十三祝い。きれいな着物が似合つているね。 74
満一歳の誕生祝いに招待された。 76

7 ことわざ・言葉

昔の人たちのことわざを大切にしなさい。（中南部・北部） 78
昔の人たちのことわざを大切にしよう。（宮古） 80
昔の人たちのことわざを大切にしよう。（八重山） 82
昔の人たちのことわざわ大切にしよう。（与那国） 84
みんなの気持ちを伝える言葉。 86
歌（琉歌）を作つてみよう。 88
私たちの故郷の歌を、一緒に作りましょう。（宮古・八重山・与那国） 90
琉歌を楽しもう 1 92
琉歌を楽しもう 2 94
『走れメロス』をしまくとうばで書いてみると。 96
しまくとうばを使ってみよう。 98
●この本に出てくる「しまくとうば」 100



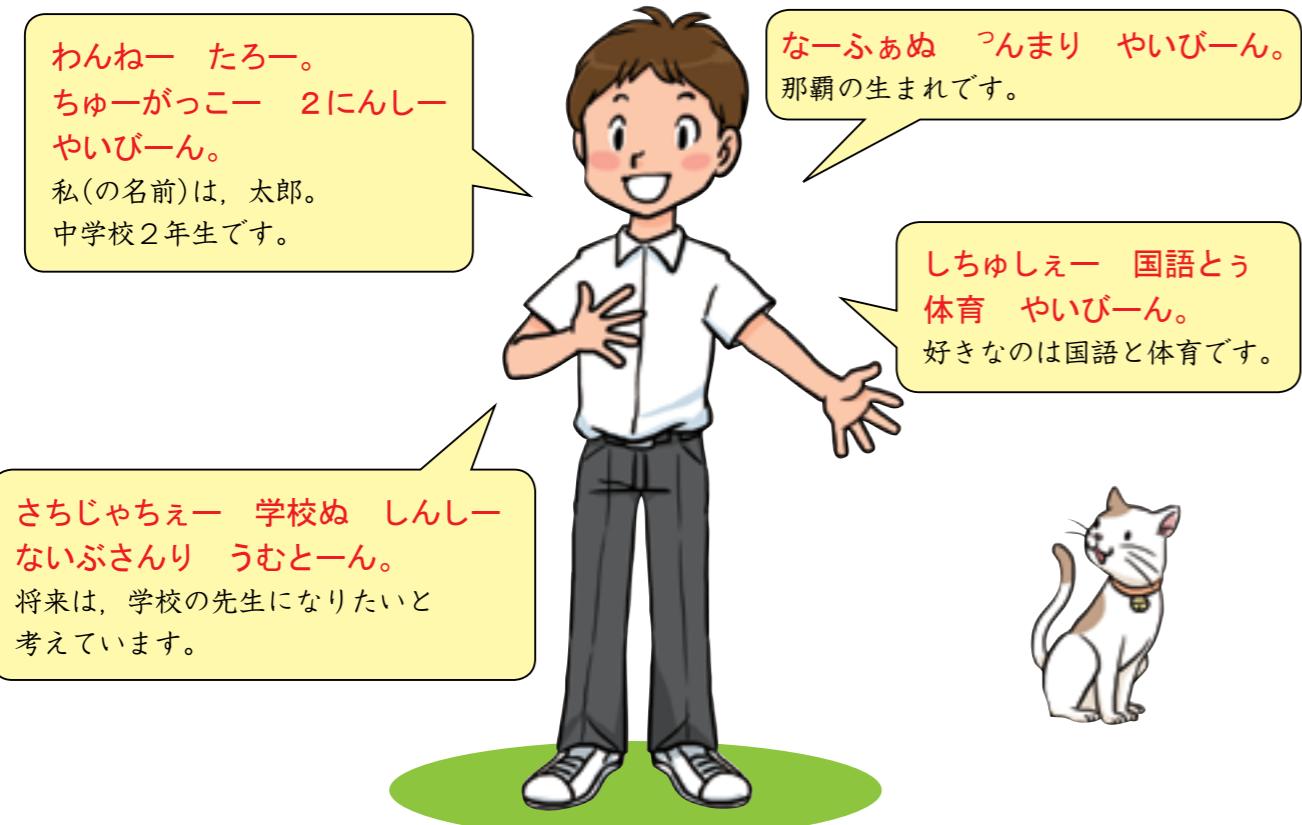
はいさい*。わー なーや
たろー やいびーん。

こんにちは。私の名前は、太郎です。



初めて人に会うときや知らない人とお話しをするとき、私の名前は○○ですと、自己紹介します。相手の名前や好きなことを知ると、仲良くなるのが早くなるような気がします。

しまくどうばでも、自己紹介するときの言葉があります。自分のことは何と言えばいいのかな。



※女の方は「はいたい」ですが、男の方が使う場合は「はいさい」です。
このように男の人と女の人でことなる言葉を使うこともあります。

はいさい、わー なーや
たろーんでい つやびーん。

わー なーや たろー。ちゅーがっこー2年生 いえーびん。
私の名前は、太郎。中学校2年生です。
わーが しきな 教科や 国語 いえーびん。
好きな教科は国語です。
なぐし くしぬ つまーり いえーびん。
名護市久志の生まれです。
にかーや、がっこーぬ 先生け ないびさんでい かんげーとん。
将来は、学校の先生になりたいと考えている。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

はーい。ばがなーや、たるーていどう あいう。



ばがなーや たるー。ぴうさらぬ んまりさい。

中学2にんしーさい。

私の名前は、太郎。平良の生まれです。中学校2年生です。

ばが うむっし がくもんな 国語さーい。

私のおもしろい勉強は国語です。

うぼーぷ ないうちゅかー、学校ぬ しんしーん
ならつていどう うむいゅさーい。

大きくなったら、学校の先生になりたいと考えています。



くよーんなーらー。ばー なーや たろーゆー。



ば のーや たろー、中学2ねん なりどう うるゆー。

私の名前は、太郎。中学校2年生です。

すかりそーや 国語で あんくむぬゆ、しうかぬ まりゆー。

好きなのは国語です。四箇の生まれです。

あとうあとーや がっこーぬ しんしーかい

なりぶさーんゆー。

将来は、学校の先生になりたいです。

んさいわるかや。あんが なや,
たろーどう ないぶる。あんが なや、たろー。ちゅーがっこー2にんしどう ないぶる。
私の名前は、たろー。中学校2年生です。

まっちゃんすや 国語。とうまいむらぬ まりどう ないぶる。

好きなのは国語です。泊村の生まれです。

あとうあとーや、がっこーぬ しんしんき なるんでいどう うむいぶる。

将来は、学校の先生になりたいと考えています。



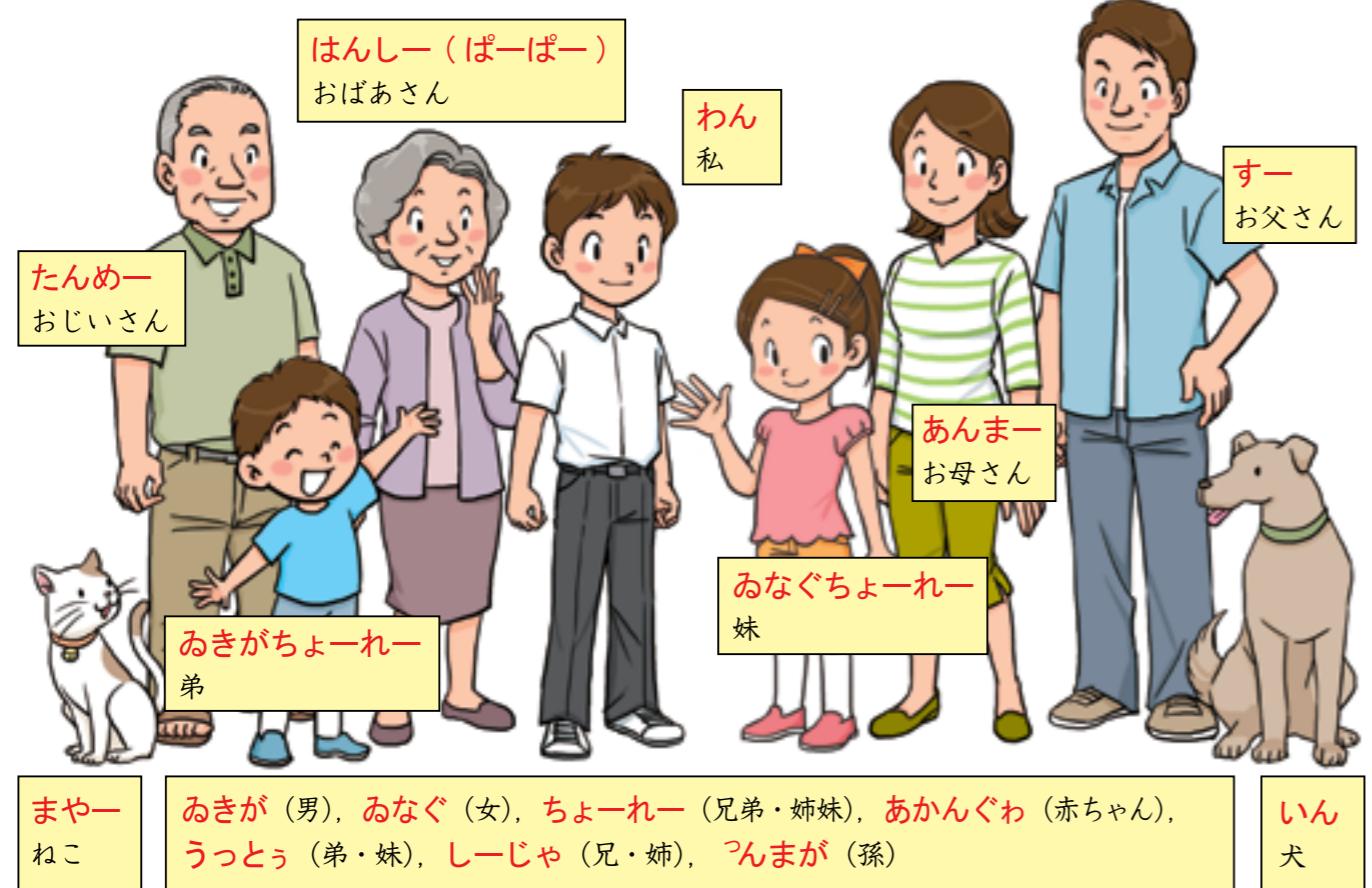
わったー やーにんじゅ やいびーん。

うしらしさびら。

私の家族です。紹介（お知らせ）します。



みなさん、何名家族ですか。本書に登場する「太郎」は、7名家族です。犬と猫もいます。自分の家族も、太郎のように友だちに紹介してみましょう。



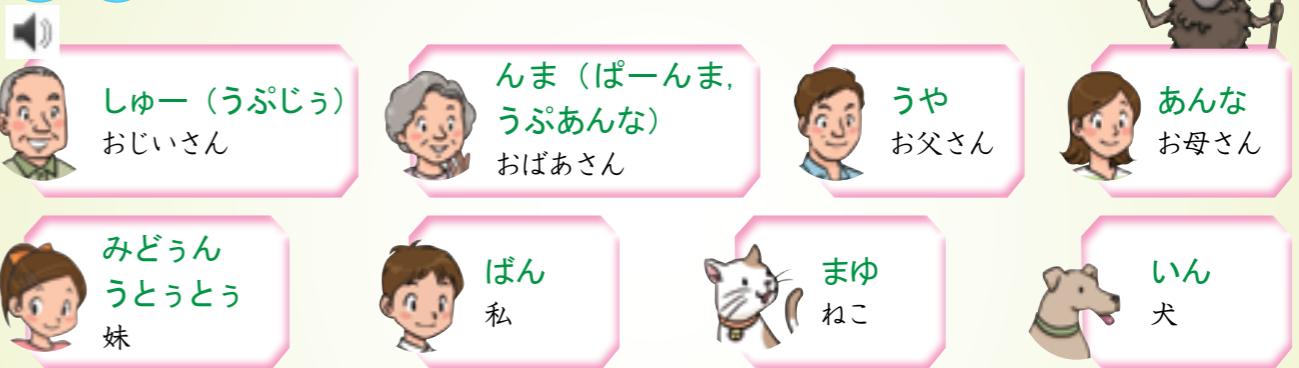
北部 わねー やーにんじゅ そーかいさびーん。



あきがうつとう（弟）、あきがー（男）、あなぐー（女）、ちよーでー（兄弟・姉妹）、うつとうー（弟・妹）、やかー（兄）、まーまー（姉）、しじゃー（年上）、あかんぐわ（赤ちゃん）

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

宮古 ばんたが やーでいゆ したうかい すーでい。



びきどうん（男）、みどうん（女）、びききょーだい（兄弟）、みどうんきょうーだい（姉妹）、あざ（兄）、あんが（姉）、うとうとう（弟）、あかんが（赤ちゃん）
※男から見た姉妹は、「ぶないう」。女から見た兄弟は、「びきう」。

八重山 ばー やーにんじゅー つさりんゆー。



びきどうん（男）、みーどうん（女）、ぶなりうびぎりう（兄弟・姉妹）、しじゃ（兄）、※ふっちゃん（長兄）、がっちゃん（二男）、あざま（三男）、しじゃぶなりう（姉）、うとうどう、うとうどうびぎりう（弟）、ふあーなー（赤ちゃん）

与那国 ばー だーにんどう つたみ つありるん。



びんが（男）、みぬんが（女）、うとうだ、びぎぶない（兄弟・姉妹）、あてい（姉）、すなてい（兄）、うとうとう（弟）、んくてい（赤ちゃん）、まんぐ（孫）

るー あらわする くとうば。

身体を表す言葉。

顔や体を表すしまくとうばは、私たちがふだん使っている言葉とは、異なる言葉が多いですね。これは、「つぶり（頭）」「かもじ（髪）」「つら（顔）」などのような日本の古い時代（奈良時代以前）に使われていた言葉と似ています。

しまくとうばと、古い日本の言葉を比べてみても面白いかもしれませんね。

●文字：共通語

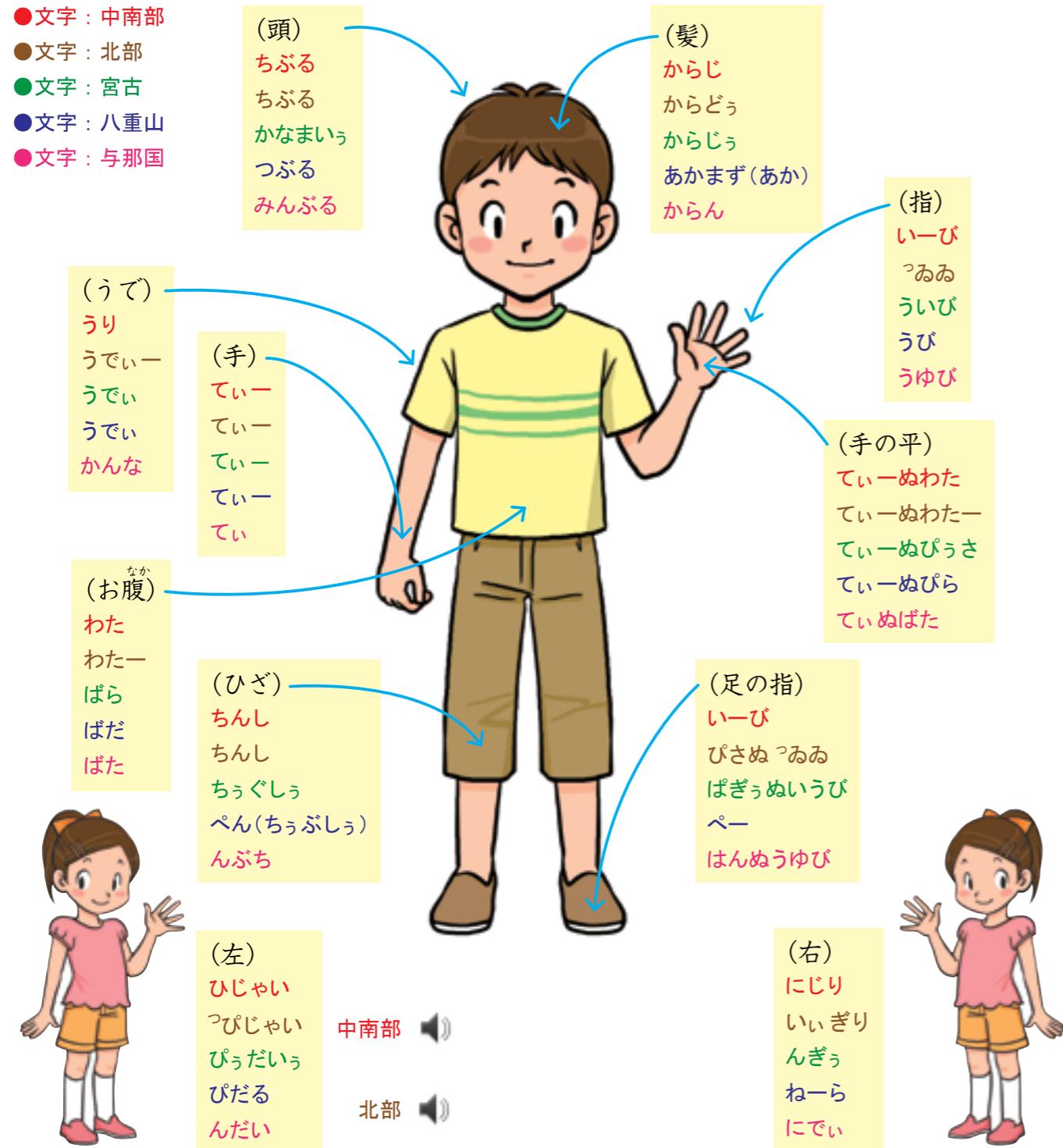
●文字：中南部

●文字：北部

●文字：宮古

●文字：八重山

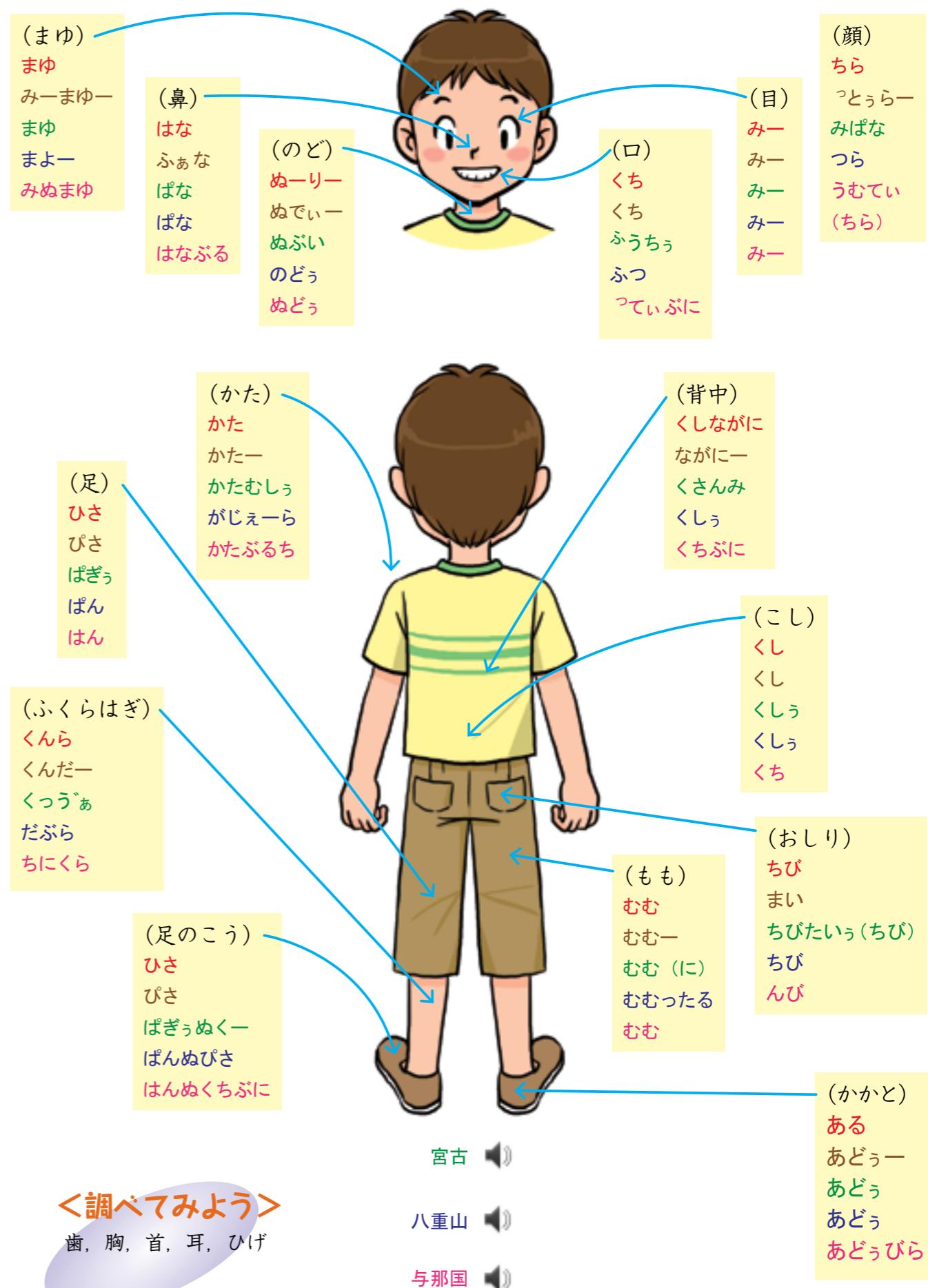
●文字：与那国



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

×

モ



＜調べてみよう＞

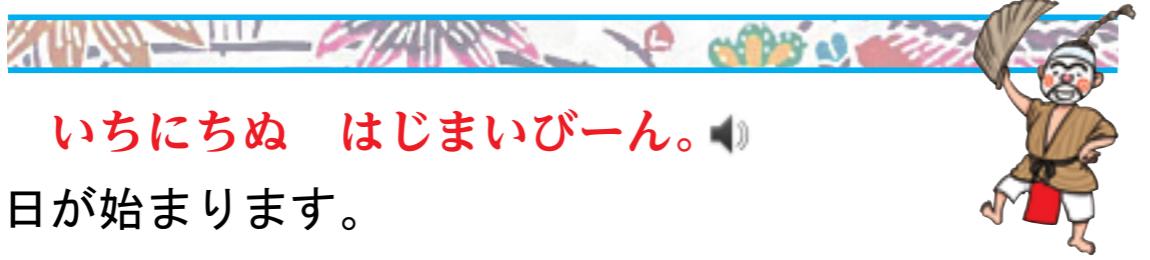
歯, 胸, 首, 耳, ひげ

(顔)
ちら
つとうらー^ー
みぱな
つら
うむてい
(ちら)

(こし)
くし
くし
くしゅ
くしゅ
くち

(おしり)
ちび
まい
ちびたい(ちび)
ちび
んび

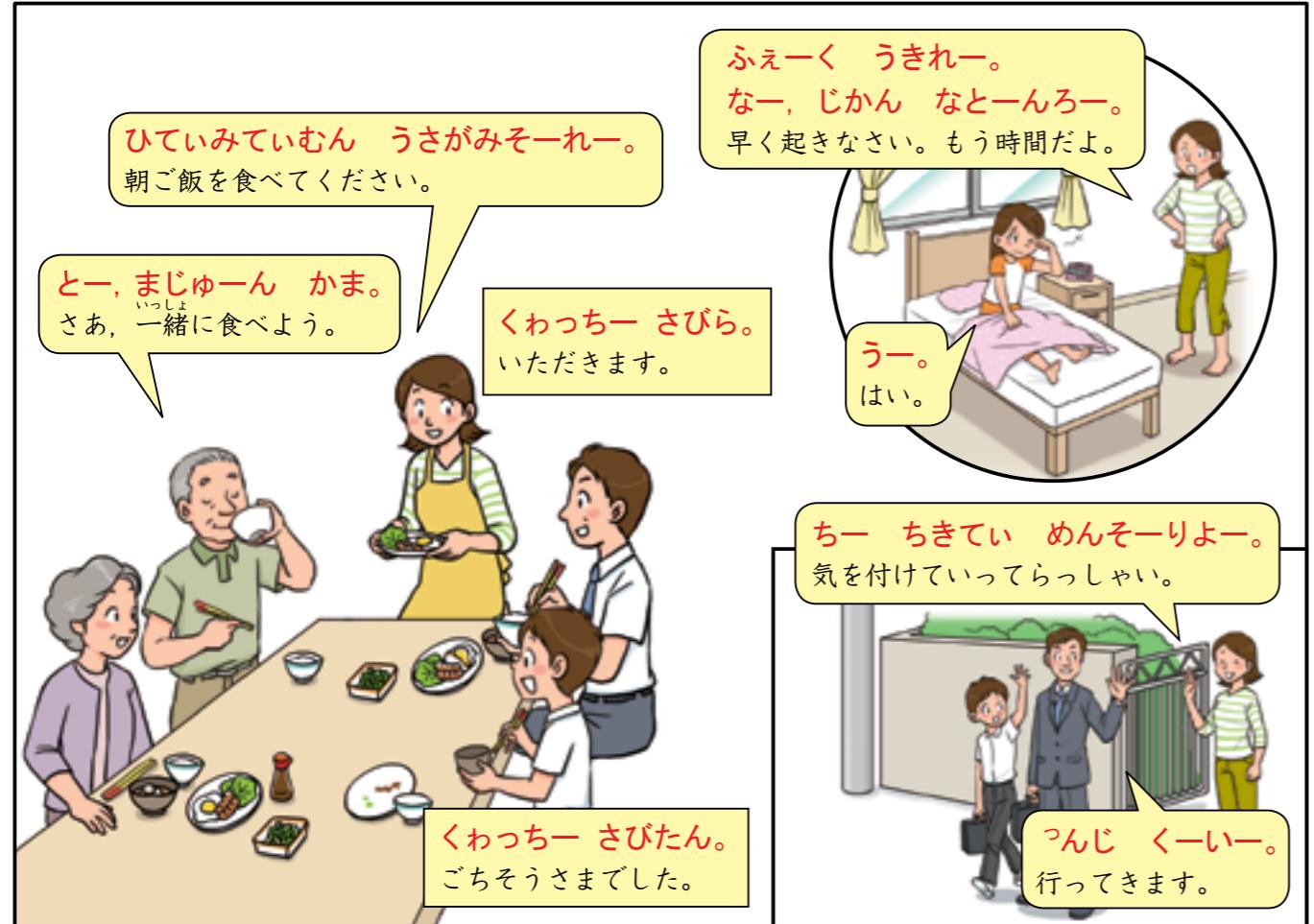
(かかと)
ある
あどうー
あどう
あどう
あどうびら



ちゅーん いちにちぬ はじまいびーん。

今日も一日が始まります。

今日も一日が始まります。みなさんは、^{まいみん}睡眠をしっかりとっていますか。花子は、まだ眠いようです。それでも、朝ご飯はきちんと食べて、元気よく学校へ行きましょう。



北部 ちゅーん いちにち ふあじまいん。

みーふあらき いいちゃぎそーれー。
朝ご飯を食べてください。

とー、まんなな かまー。

さあ、一緒に食べよう。

くわつき さーやー。

いただきます。

くわつき しちゃん。
ごちそうさまでした。

ふえーく うきれー。なー、じかんどー。
早く起きなさい。もう時間だよ。

あー。

はい。(目上の人に対する場合)

きー ちきてい いじ くーよー。

気を付けて行ってらっしゃい。

いじ ちゅんどー。

行ってきます。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

宮古 いちうにちうぬ ぱじゅまいう

あさむぬー んきぎさーち。

朝ご飯を食べてください。

ずー、まーちうき ふあー。

さあ、一緒に食べよう。

ふあつとー。

いただきます。

んまーん まーどぅ やたいう。

ごちそうさまでした。

ぴやーまり うきる。

んにや じゅかんどーや。

早く起きなさい。もう時間だよ。

んー。はい。

きゅぬー ちゅき いき くー。

気を付けていってらっしゃい。

いき くーっどー。

行ってきます。



八重山 きゅーん ぴとういぬ はじまるんどー。

しとうむでいぬ んばんや

のーどぅ ほーだー。

朝ごはんを食べたか。

でいー、まーずん ふあーらー。

さあ、一緒に食べよう。

とーらるなーらー。(とーらりるんゆー)。

いただきます。

こつきー とーらりだゆー。

ごちそうさまでした。

はいしゃ うきりよー、

めー じかん やすんが。

早く起きなさい。もう時間だよ。

おー。はい。

きゅー ちゅけー はりよー。

気を付けていってらっしゃい。

いき くーいー。

行ってきます。



与那国 すーん ひつとういんが はでいまるんどー。

ひーり うやしわり。

朝ご飯を食べてください。

でいー、まどうん ふー。

さあ、一緒に食べよう。

たばらりるー。

いただきます。

あらーぐ まーどぅ あたる。

とてもおいしかった(ごちそうさま)。

はやぐ うぎり。

まー でいかん なんどう。

早く起きなさい。もう朝だよ。

おー。はい。

だななどぅ ひるどー。

ゆっくり(気を付けて)行きなさい。

いていて くたよー。

行ってきます。



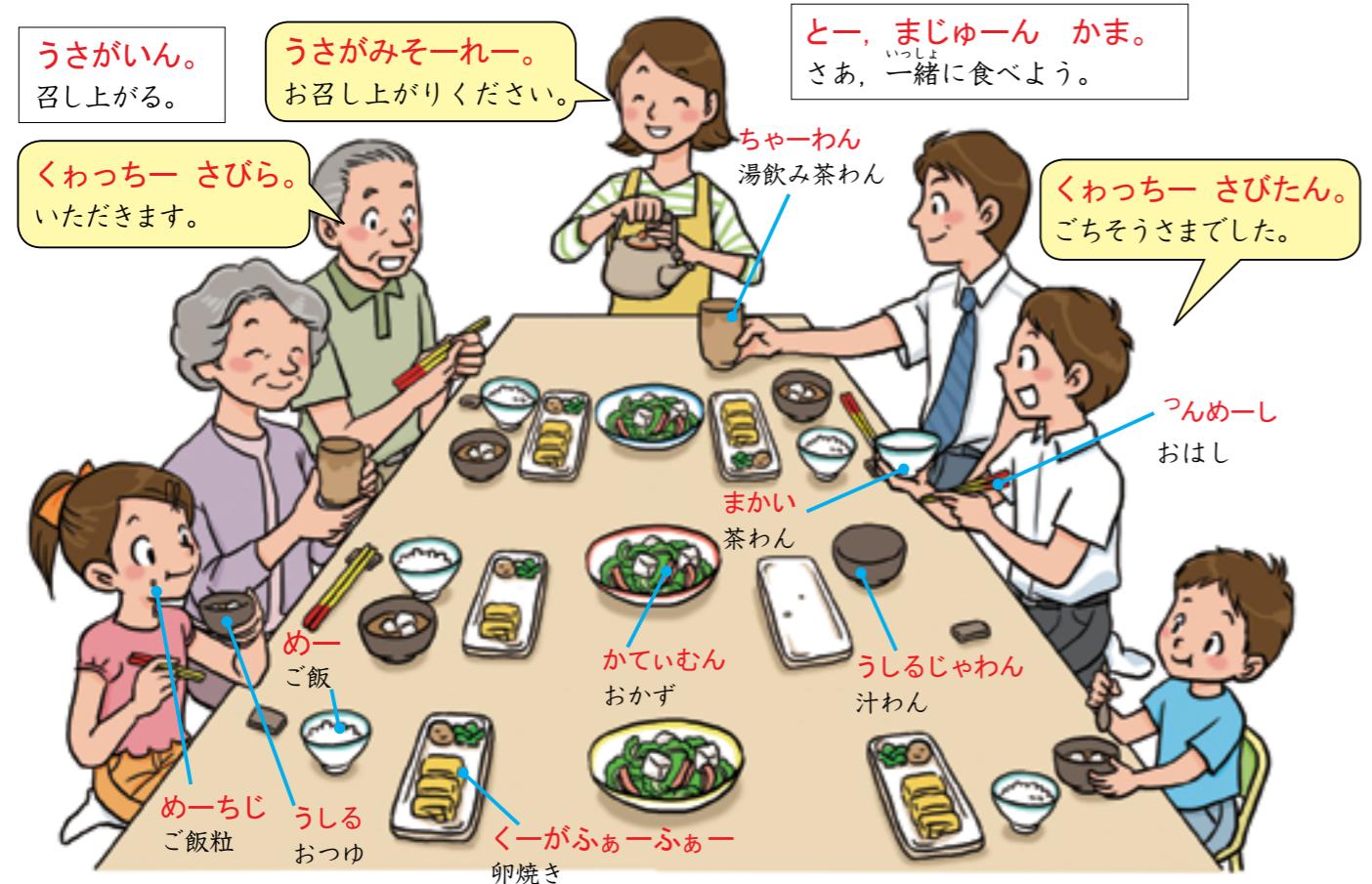
ひていみていむのー

しかつとう (ちゃんとう) かみよー。▶

朝ご飯は、しっかり (きちんと) 食べなさいね。



しまくとうばには、「おはよう」にあたる言葉はありません。家では、「うきみそーちー。(起きましたか。)」とか「ひていみていむのー かりー。(朝ご飯は食べた。)」などと言います。きちんと朝のあいさつをして、しっかり朝ごはんを食べて登校しましょう。



みーふあらき かんなどう かみよー。

いいちやぎーん。
召し上がる。とー, まんなな かまー。
さあ, 一緒に食べよう。くわつき しちゃん。
ごちそうさま。つめーし
おはしめー
ご飯めーとうどう
ご飯粒しるー
おつゆまかい
茶わんしるまかい
汁わんちゃわぬー
湯飲み茶わんかていむん
おかずくがー
卵※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
×

モ

宮古 あさむぬーばー まなーんてい ふあいよー。

んきぎいう。

召し上がる。

ずー, まーちゅき ふあー。

さあ, 一緒に食べよう。

んまー んまどう やたいう。

ごちそうさま。

うみしう

おはし

まいう

ご飯

まいうしうじゅ

ご飯粒

しゅう

おつゆ

まかい

茶わん

しゅるまかい

汁わん

ちやばん

湯飲み茶わん

すー

おかげ

あぎどうなか (とうなか)

卵焼き (卵)

八重山 しゅとうむでいぬ んぽん おいしょーり。

おいしょーるん。

召し上がる。

でいー, まーずんし
ふあいむー。

さあ, 一緒に食べよう。

こっきー とーらりだゆー。

ごちそうさまでした。

ぱしう おはし

んぽん

ご飯

んぽんつぶ

ご飯粒

する

おつゆ

んぽんまかい

茶わん

しゅるまかる

汁わん

ちやばん

湯飲み茶わん

かていむぬ

おかげ

とうながやき (とうなが)

卵焼き (卵)

みーふあらき かんなどう かみよー。

いいちやぎーん。
召し上がる。とー, まんなな かまー。
さあ, 一緒に食べよう。くわつき しちゃん。
ごちそうさま。つめーし
おはしめー
ご飯めーとうどう
ご飯粒しるー
おつゆまかい
茶わんしるまかい
汁わんちゃわぬー
湯飲み茶わんかていむん
おかずくがー
卵

与那国 ひーりや んちみ はいゆ。

うやし わるん。

召し上がる。

でいー, まどぅん ふー。

さあ, 一緒に食べよう。

あらーぐ まーどぅ あたる。

とてもおいしかった。

はち

おはし

い

ご飯

いぬちん

ご飯粒

ちる

おつゆ

まがい

茶わん

ちるまがい

汁わん

さばん

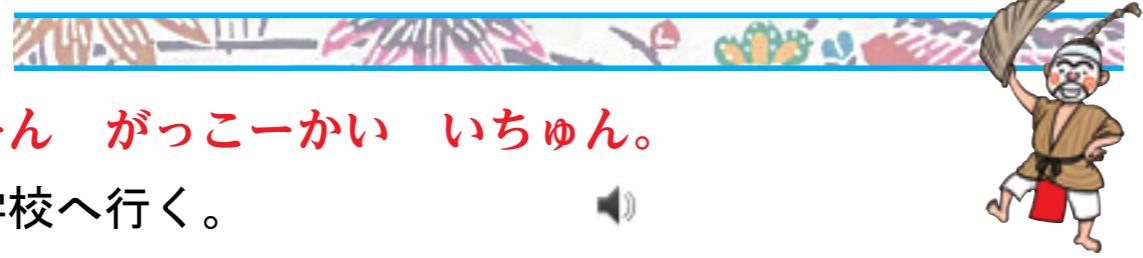
湯飲み茶わん

かていむぬ

おかげ

あらかいく

卵焼き



まじゅーん がっこーかい いちゅん。 一緒に学校へ行く。



友だちと仲良く、いろいろなおしゃべりをしながら、登校するのは楽しいでしょう。朝、気持ちよく登校できること、一日が楽しく過ごせるでしょうね。どんな会話を交わしているのでしょうか。
しまくとうばで表してみましょう。

はい。ちゅーや、いいー
つわーちぢなてい ゆたさんやー。
やあ。今日は、良い天気になって良かったね。

ちぬーぬ しゅくらい すんり
なんじ やたんろー。
昨日の宿題をするのに、苦労したよ。



北部 まんなな がっこーけ いちゅん。



ちゅーや、いいー つわーとうき なたんやー。
今日は、良い天気になって良かったね。
つきんぬーぬ しゅくだい すんでいち、すくえーちゃっさー。
昨日の宿題をするのに、苦労したよ。
わぬや ちゃーちゃーから ならてい しちゃん。
私は、父から習ってやったよ。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
×

モ

宮古 まーちゅき がっこーんかい いきゅ。



はーい。きゅーや、かぎ わーちゅきゅん なり ぞーむぬやー。

やあ。今日は、良い天気になって良かったね。

きゅぬぬ しゅくだいゆ すーってい なんぎ しうたいう。

昨日の宿題をするの、苦労したよ。

ばーや、うやからどう ならい しうつたいうどーや。

私は、父から習ってやったよ。



八重山 まーずん がっこーかい はるん (いくん)。



きゅーや いー おーちゅき なり じょーとーらー。

今日は、良い天気になって良かったね。

きぬーぬ しゅくだい すーそー なんぎしー すーだゆー。

昨日の宿題をするの、苦労したよ。

ばなー びーげーから ならいり すーだゆー。

私は、父から習ってやったよ。

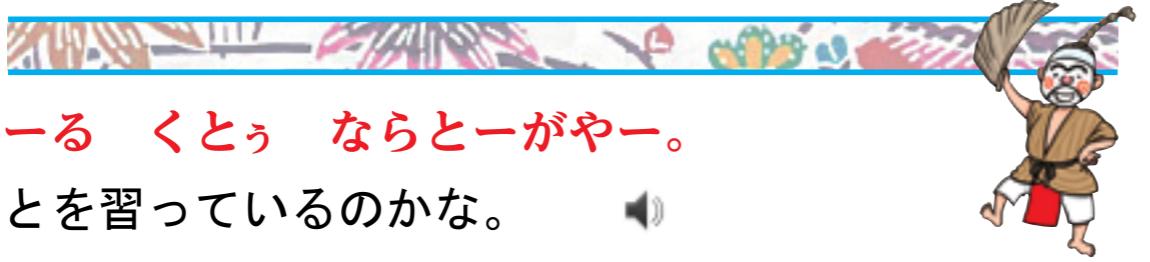


与那国 まどぅん がっくんき ひるん。



やー。すーや、いー わしき ないてい んさたんがえー。
やあ。今日は、良い天気になって良かったね。
んぬぬ 宿題 きるんでい あはり きんでやー。
昨日の宿題をするの、苦労したよ。
あぬや いやがら ならいていどう いしやる。
私は、父から習ってやったよ。





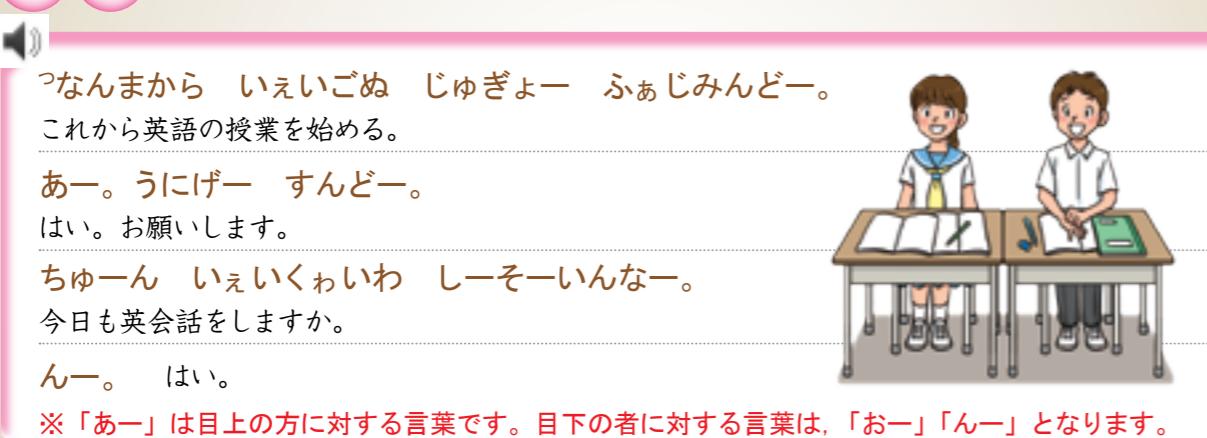
ちゃーねーる くとう ならとーがやー。
どんなことを習っているのかな。

学校では国語や数学、英語など、いろいろな勉強をしますね。どのような勉強をしているのかな。共通語では、先生に対する言葉づかいと、友だちに対する言葉づかいが違うように、しまくとうばでも、相手によって言葉が変化します。



※「うー」は目上の方に対する言葉です。目下の者に対する言葉は、「いー。」となります。

北部 ちゃっちょる くとう ならとがやー。



※「あー」は目上の方に対する言葉です。目下の者に対する言葉は、「おー」「んー」となります。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

宮古 のーゆが ならい ういゅがらやー。



んなまから 英語ぬ じゅぎょー やー ぱじゅみでい。

これから英語の授業を始める。

んー。ならーしゅ ふいーさーち。

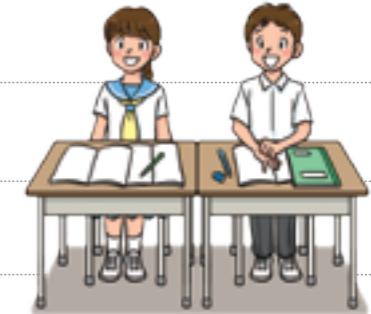
はい。お願いします。

きゅーまい 英会話ゆ すーでいな。

今日も英会話をしますか。

んがな。 はい。

※「はい」は、「おー（目上に対して）」または、「んがな（目下に対して）」とも言います。



八重山 のーしる むぬゆ ならいるかやー。



くりからー えいごの じぎょー はじめんどー。

これから英語の授業を始める。

うー。ならーし ひょーり。

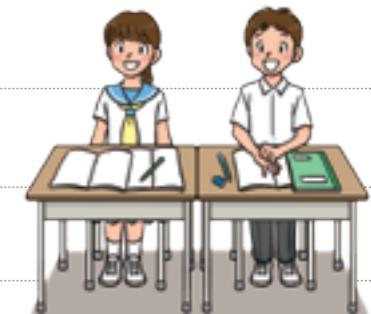
はい。教えてください。

きゅーん えいごの はなしょー しょーるん。

今日も英会話をしますか。

いー。 はい。

※「うー」は目上の方に対する言葉です。目下の者に対する言葉は、「いー。」となります。



与那国 ぬんにぬ くとうば ならいぶんが。



ないがら えいぐぬ じゅぎょー はでいみるん。

これから英語の授業を始める。

おー。たんでい どうーでいん。

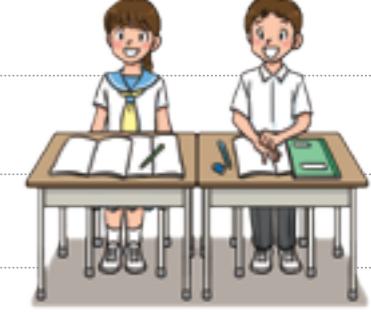
はい。よろしくお願いします。

すん 英会話 きーわるな。

今日も英会話をしますか。

よい。 はい。

※「おー」は目上の方に対する言葉です。目下の者に対する言葉は、「よい」となります。



なかゆくいぬ とうちねー…。
休み時間のときには…。

学校では勉強することが第一ですが、休み時間も楽しいものです。みなさんは、どのように休み時間をお過ごしていますか。

くまー むちかさんやー。
ならーち くいれー。
ここは難しいね。教えてくれない。

いー。しむんろー。
うん。いいよ。

ちゅーぬ ひるぬ なかゆくえー
ぬーし あしぶが。
今日の昼休みの時間は、何をして遊ぼうか。

ぬーぬ すむち ゆろーが。
何の本を読んでいるの。

サッカーし あしばな。
サッカーをして遊ぼうぜ。

うちなーぬ んかしむぬがたい かちえーる すむち ゆろーさ。
沖縄の昔物語が書かれた本を読んでいるよ。



北部 やすみじかんぬ ばーや。



くまや むちかはんやー。
ならーち とうらさんなー。
ここは難しいね。教えてくれない。

ぬーぬ ほんが ゆどる。
何の本を読んでいるの。

ちゅーぬ つびるぬ やすみじかんや
ぬー しち あすみが。
今日の昼休みの時間は何をして遊ぼうか。

んー。ならーすさ。
うん。いいよ。

くしぬ むかしぬ くとう
かかととぬ ほん ゆどん。
久志の昔物語が書かれた本を読んでいるよ。

サッカー しち あすわー。
サッカーをして遊ぼうぜ。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

2 一日の生活

宮古 ゆくーとうきゃーんな…。



くまー むちゅかしゅ むぬやー
ならーしゅ ふいーる。
ここは難しいね。教えてくれない。

のーぬ ほんぬが
ゆみゆーりやー。
何の本を読んでいるの。

きゅーぬ ぴうしうま ゆくーんな
のーゆ しーがー あすぱつちやー。
今日の昼休みの時間は何をして遊ぼうか?

んー。じょーぶんさーい。
うん。いいよ。

みやーくぬ んきやーん ぱなしうぬ
かかい ういゅ ほんぬどう ゆみ ういゅさーい。
宮古の昔物語が書かれた本を読んでいるよ。

サッカーゆ しー あすば。
サッカーをして遊ぼうぜ。

八重山 やすみじかんぬ ばしょーや…。



うまー むつかさ そーらー
ならーし ひょーり。
ここは難しいね。教えてください。

のーぬ しゅむつちゅどう ゆみりや。
何の本を読んでいるの。

きゅーぬ ぴろーまゆくいや
のーしーり あすびや。
今日の昼休みの時間は何をして遊ぼうか。

んー みしゃーんどうらー。
うん。いいよ。

やいまぬ むかすばなしうぬ かけーる
しゅむちゅどう ゆみる。
やえやま 八重山の昔物語が書かれた本を読んでいるよ。

サッカーし あさば。
サッカーをして遊ぼうぜ。

与那国 ながどうぐいぬ ばすにや…。



うまや むちかさんやー。
つたみとうらぬん。
ここは難しいね。教えてくれない。

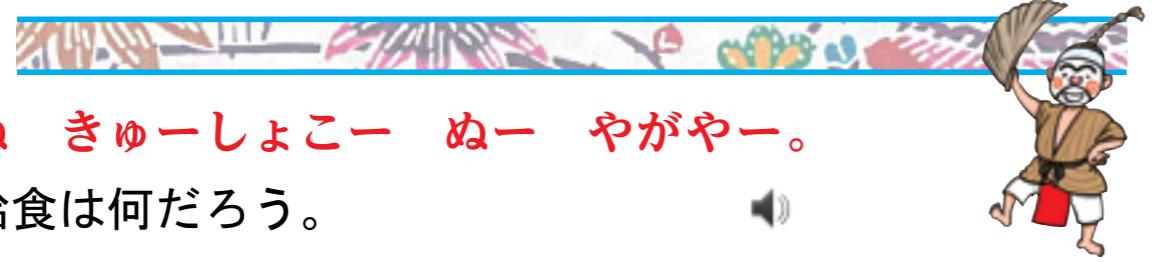
ぬーぬ すむていば
どうみぶんが。
何の本を読んでいるの。

すーぬ つまどうぐいぬ でいかんや
ぬーば き あんぶが。
今日の昼休みの時間は何をして遊ぼうか。

よい。んさんどー。
うん。いいよ。

どうなんぬ んかちむぬがたい
かっていある すむていどー どうみぶる。
よなぐに 与那国島の昔物語が書かれた本を読んでいるよ。

サッカーどう きー あんぱりるや。
サッカーをして遊ぼうぜ。



ちゅーぬ きゅーしょこー ぬー やがやー。
今日の給食は何だろう。



家族と食べるご飯もおいしいですが、学校で、みんなと食べる給食もおいしいものです。月に何回か出てくる琉球料理も待ち遠しいですね。さて今日は、どんなメニューかな。楽しみですね。

ちゅーや、ひていみていむんぬ ふえーさたぐとう
なまさちから やーしなとーたん。
今日は、朝ご飯を食べるのが早かったので、先ほどから、お腹が空いていた。

やさやー。わんにん
まちかんていー そーたん。
そうだな。私も待ち遠しかった。

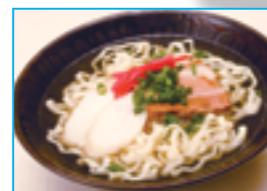


きゅーしょくんかい
ちかーとーる やーしえー。
給食に使っている野菜。

ごーやー (にがうり)
ちれーくに (島にんじん)
たまなー (キャベツ)

＜調べてみよう＞

自分たちの地域に伝わる琉球料理を調べてみよう。



すば (そば)



ごーやーちゃんぱーるー



らふてー

北部 ちゅーぬ 給食や ぬー げるやー。

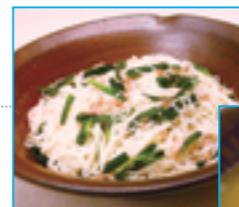
ちゅーや、みーふあらき ふえーく くわーたくとう,
きっさから やーく なとたん。

今日は、朝ご飯を食べるのが早かったので、
先ほどから、お腹が空いていた。

いーさ。わぬんげ まちかんていー いーたん。
そうか。私も待ち遠しかった。

給食け とうかとる おーふあ。
給食に使っている野菜。
ごーやー (にがうり), つきでくに (島にんじん), たまなー (キャベツ)

＜自分たちの地域に伝わる琉球料理＞



そーみん
(ソーメン)



そーき (豚のあばら肉)

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

2 一日の生活

宮古 きゅーぬ きゅーしょくや のーがらやー。

きゅーや、あさむぬー ふおーぬどう ぴやーかたいばどう
きうさから ばたー やーすーやーす。

今日は、朝ご飯を食べるのが早かったので、
先ほどから、お腹が空いている。

あんちーな。ばんまい まちゅかにどう ういー。
そうか。私も待ち遠しい。

ごーら (にがうり), きうだいいくに (島にんじん)
たまなー (キャベツ)

＜自分たちの地域に伝わる琉球料理＞



ごーらいいきゅ
(にがうり炒め)



いーずぬまーすに
(魚の塩煮)

八重山 きゅーぬ ぴろーむのーや のーかやー。

きゅーや、しうとうむでいぬ つんばん はいしゃ ほーだーどう
きさから やーさ しーだ (しーる)。

今日は、朝ご飯を食べるのが早かったので、
先ほどから、お腹が空いていた。

あんじー。ばぬん まちかんていー
しーだゆー。

そうか。私も待ち遠しかった。

ごーやー (にがうり), きうんだいくに (島にんじん)
たまなー (キャベツ)

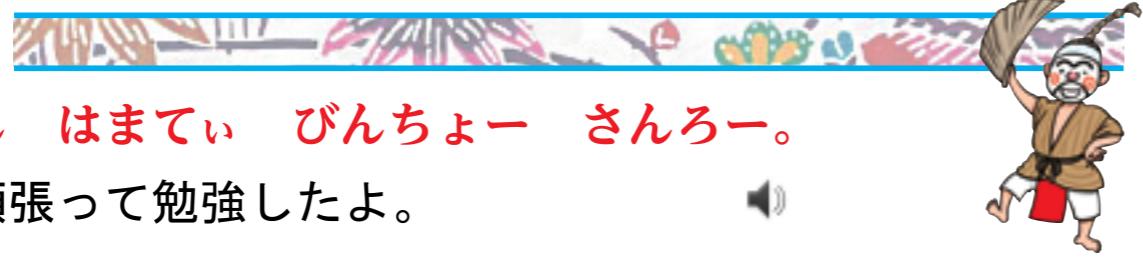
＜自分たちの地域に伝わる琉球料理＞



あーさする
(アーサ汁)



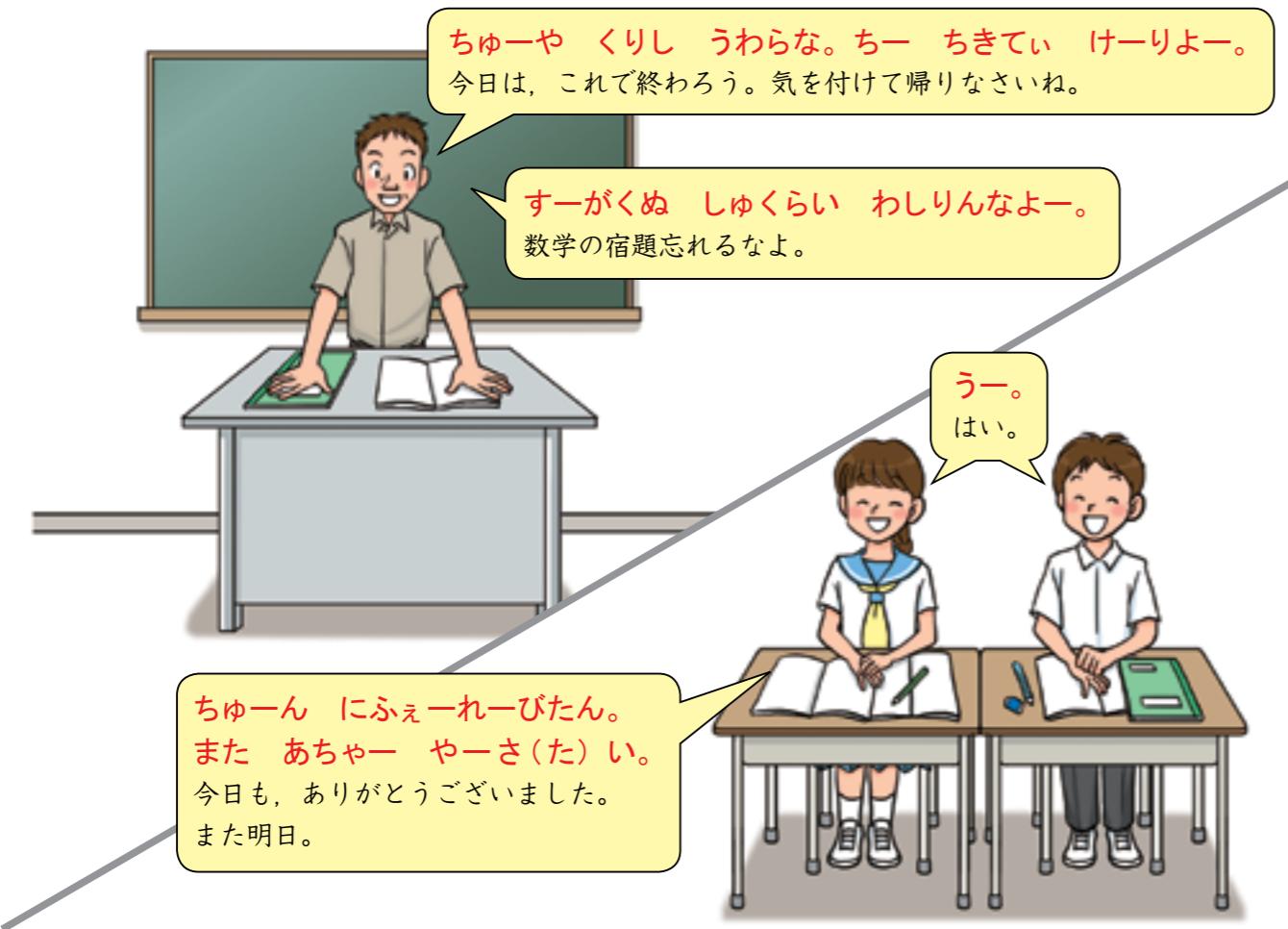
ゆしどうふ



ちゅーん はまて びんちょー さんろー。
今日も頑張って勉強したよ。



今日は、どんな一日でしたか。昨日とは違う新しい発見もあったことでしょう。帰りの会が終われば、部活動へ向かう人、まっすぐ帰る人、いろいろなパターンがありますね。あなたはどちらかな。



北部 ちゅーん はまて べんきょー しちゃんどー。

ちゅーや、うっさち うわらー。きー ちきてい けーりよー。
今日は、これで終わろう。気を付けて帰りなさいね。

数学ぬ 宿題 わっしらんきょー。

数学の宿題を忘れるなよ。

あー。

はい。

ちゅーん にふえーいえーびたん。また あちゃーん ならーち とうらしそーりよー。
今日も、ありがとうございました。また明日。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

宮古 きゅーまい ぎゅばり べんきょー っしうたいうどーや。

きゅーや、くいしー しゅまいまやー。 きゅぬー ちゅき やーんかい ぴりよー。
今日は、これで終わろう。気を付けて家に帰りなさいね。

数学ぬ 宿題ぬ ばっしいうなよー。

数学の宿題を忘れるなよ。

おー。

はい。

きゅーまい、たんでいがーたんでい。また あつあ やー。

今日も、ありがとうございました。また明日ね。



八重山 きゅーん ぎゅばり べんきょー すーだ。

きゅーや くりし うわりてい きゅー ちゅけー やーかい はりよー。
今日は、これで終わろう。気を付けて帰りなさいね。

すーがくぬ べんきょー ばしうきなよー。

数学の宿題を忘れるなよ。

うー。

はい。

きゅーや にふあいゆー。また あつつあらー。

今日も、ありがとうございました。また明日。



与那国 すーん いでいんでいび 勉強 きたんどうー。

すーや、うし しまるー だならどぅ ひるどぅ。
今日は、これで終わろう。気を付けて帰りなさいね。

数学ぬ 宿題 ばちんなゆー。

数学の宿題を忘れるなよ。

おー。

はい。

すーや あらーぐ ふがらさ。また あつたや。

今日も、本当にありがとうございました。また明日ね。





なまから 部活動。練習かい いちゅん。

これから部活動。練習に行く。

正規の授業が終わり、放課後は部活動の時間。体育系や文科系、あなたの学校には、いくつの部が活動していますか。太郎君は、野球部に所属しています。さあ、これから練習が始まりますよ。



北 部 つなんまから 部活動。れんしゅーけ いちゅん。

つなんまや 大会めー いえーくとう, そーしーぬぐとう れんしゅー すん。
今は、大会前なので、実戦形式で練習します。
あー。はい。
まじや ぼーる なぎーすとう, ぱつと ふいすとう,
わかりてい 試合 しち んだー。
まずは、球を投げる方（守備側）とバットを持つ組（攻撃側）に分かれて試合をしてみよう。
あっしねーや、くくる ひきしみてい するてい いかな。
それでは、心を引き締めて、そろって行こう。
あっしねーや、にん いってい いかー。
さあ、それでは集中していこう。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

宮 古 んなまから 部活動んかい 練習っしうが いきう。

んなまー、大会まい やーば、試合とう んーだかなしー 練習すーでい。

今は、大会前なので、実戦形式で練習します。

んー（んがな）。 はい。

まずがーで たもー なぎうぐみとう うちうぐみとうん ばかーり
試合ゆ しーみー。

まずは、球を投げる方（守備側）とバットを持つ組（攻撃側）に分かれて試合をしてみよう。

あちうかー きゅもー わいてい するい いかやー。

それでは、心を引き締めて、そろって行こう。

ずー、あら きゅもー たみ いかやー。 さあ、それでは集中していこう。

八 重 山 くりからー ぶかつどー, れんしゅー しな はるん。

きゅーや ずぶんまい やりき ふんとーぬ かたちうし れんしゅー さらー。
今は、大会前なので、実戦形式で練習します。

うー。 はい。

まぞー たまなんぎーとう ぱつとう むちうに ばがれー
しあい しー みやーむー。

まずは、球を投げる方（守備側）とバットを持つ組（攻撃側）に分かれて試合をしてみよう。

あんずかー きゅ しゅめーり するいり いからー。

それでは、心を引き締めて、そろって行こう。

さー あんずかー しゅーちゅー しーり はじめら。 さあ、それでは集中していこう。

与 那 国 ないがらー 部活動。練習んき んでいひるん。

ないや、大会まいどう あるんがら 実践形式し 練習 きるん。

今は、大会前なので、実戦形式で練習します。

おー。 はい。

までいや たまなんぎる つとうとう ぱつとう ふる くみんき ばがりてい
試合 きーんぬわー。

まずは、球を投げる方（守備側）とバットを持つ組（攻撃側）に分かれて試合をしてみよう。

いた、くぐる くんちみて するいてい ひろー。

それでは、心を引き締めて、そろっていこう。

でいー、いた、集中 きてい ひろー。 さあ、それでは集中していこう。



ちゅーや いいー ふいー やたん。
今日は良い日だった。

晩ご飯も終えて、一家団らんの時間です。太郎君は、今日一日を振り返っています。充実した一日だったようですね。みなさんは、どんなことを家族に話しますか。



ちゅーや いいー ふいー やたん。
しゅくれーや あたとーたくとー しんしーんかい ふみらつたん。
うりから きゅーしょこー、まーさむん つんじーーたん。
あんし、部ううてー ホームラン うっちゃん。
今日は良い日だった。宿題(の答え)が合っていたので先生にほめられた。
それから給食では、美味しいものが出ていた。そして、部活動ではホームランを打った。

北部 ちゅーや いいー つぴー いえーたん。

ちゅーや、がっこー ちゃっち げーたる。
今日は、学校どうだった。
ちゅーや いいー つぴー いえーたん。宿題や あたとんでいち
せんせーけ ふみらつたん。
今日は良い日だった。宿題(の答え)が合っていたので先生にほめられた。
うりから 給食や まーはむん いじーーたんどー。
あっち、部っちや ホームラン うっちゃん。
それから給食では、美味しいものが出ていた。そして、部活動ではホームランを打った。
いえーん、つきわたんやー。 そう、頑張ったね。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
×

モ

宮古 きゅーや ぞー ぴゅかじうどう やたいう。



きゅーや、学校や のーばしーが やたりやー。

今日は、学校どうだった。

きゅーや ぞー ぴゅかじうどう やたいう。宿題ぬ あたり うたいばどう
しんしーん ふみらいたい。

今日は良い日だった。宿題(の答え)が合っていたので先生にほめられた。

ういから 給食んな、んまむぬぬどう いでい うたいうどー。

あんちー しつい 部ーんうていや、ホームランぬどう うちうたいうじゅー。

それから給食では美味しいものが出ていた。そして、部活動ではホームランを打った。

あんちーなー、ぞーむぬさいが。 そう、良かったね。

八重山 きゅーや いー ぴゅーる やだ。



きゅーや、がっこー るーしどう うだ。

今日は、学校どうだった。(何かあった。)

きゅーや いー ぴどー やだ。

宿題ぬ くたいぬ あたりてい しんしーかい ふみらりだ。

今日は良い日だった。宿題の答えが合っていたので先生にほめられた。

うりから ぴろーむのー んまさーる むんぬ いでーだ。

あんてー 部ー (ん) がれーや ホームラン うちうだ。

それから給食では美味しいものが出ていた。そして、部活動ではホームランを打った。

あんじー でいかしぇーれんゆらー。 そう、良かった(でかした)ね。

与那国 すーや いーちどう あたる。



すーや、がっくや ぬんに ぶたが。

今日は、学校どうだった。(何かあった。)

すーや いーちどう あたる 宿題が あたいぶたば しんしんき ふみらりたん。

今日は良い日だった。宿題(の答え)が合っていたので先生にほめられた。

うんからんき 給食にや まーる むぬんがどう とうんでいぶたる。

うんにてい、部にや ホームラン うていたん。

それから給食では美味しいものが出ていた。そして、部活動ではホームランを打った。

いしー、どうつとう まいふな。 そう、良かったね。

ちゅらばな とうめーいが いかな。
きれいな花を探しに行こう。



ぬー とうめーれー しむがやー。
何を探せばいいかな。
ていんさーぐーぬ はな やれー,
ちみ すみてい あしばりーんろー。
ホウセンカの花だったら、爪を染めて遊べるよ。
あんやみ。
りつか、あんしぇー とういが いか。
そうか。
さあ、それでは取りに行こう。

ちゅらばな とうめーい んーら。
まーんかい いけー あがやー。
きれいな花を探しに行こう。どこに行けばあるかな。
こーえぬんかい いけー あるはじ。
公園に行けばあるでしょう。



※うぬふかねー ちゃーねーるー あしひぬ あがやー。この他には、どんな遊びがあるかな。

北部 ちゅらふあな かめーいが いかー。

ちゅらふあな かめーいが いかー。
だーけが いかわ あーるやー。
きれいな花を探しに行こう。
どこに行けばあるかな。
こーえんけ いきね あーさに。
公園に行けばあるでしょう。
ぬー かめーいねが ましがやー。
何を探せばいいかな。

ちーちゃんくぬ ふあな いえーねー,
とうみけ すみてい あすわりんどー。
ホウセンカの花だったら、
爪を染めて遊べるよ。
いえーん。でいかー, あん いえーねー
とういが いかー。
そうか。さあ、それでは取りに行こう。

※うぬふかにや、ちゃんねぬ あすみが あーる。この他には、どんな遊びがあるかな

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

宮古 かぎぱながもー とうみが ずー。

かぎ ぱながもー とうみが ずー。
んざん いきばが あいがらやー。
きれいな花を探しに行こう。
どこに行けばあるかな。
こーえんかい いきばどー
あいが あらんな。
公園に行けばあるでしょう。

の一ゆ とうみりばが ぞーかりやー。
何を探せばいいかな。
ていんさぐぬ ばな やちうかー
ちうみゆー すみ あすぱいどー っしゅどー。
ホウセンカの花だったら、爪を染めて遊べるよ。
あんちーな。ちーあら (ずーあら)
とういうが いか。
そうか。さあ、それでは取りに行こう。

※うぬふかんな のーばしーぬ あすびうぬが あいがらやー。
この他には、どんな遊びがあるかな。

八重山 かいしゃーる はなゆ とうみな いからー。

かいしゃーる はなゆ
とうみな いからー。
きれいな花を探しに行こう。
どこに行けばあるかな。
こーえんかい いくねー
はな たかーに あん あらぬ。
公園に行けば、花がいっぱいあるでしょう。

の一ぬ はな とうみばどー
みしゃーるかやー。何の花を探せばいいかな。
きんじゃく やるかー
ちうみ すめー あすぱりん。
ホウセンカの花だったら、爪を染めて遊べるよ。
あんじ、でーい あんずかー
とうんな はら。
そうか。さあ、それでは取りに行こう。

※ふかんが のーしぬ あすびぬ あんかやー。この他には、どんな遊びがあるかな。

与那国 あびやる はな みきんでい ひらぬん。

あびやる はな みきんでい ひろー。
んまんき ひるば あかやー。
きれいな花を探しに行こう。
どこに行けばあるかな。
こーえんき ひたや ある はでいどー。
公園に行けばあるはずだよ。
ぬーば みきりや んさかや。
何を探せばいいかな。

きんたぐぬ はなんどー あたや,
んみんき すみてい
あんぱりるんどー。
ホウセンカの花だったら、爪を染めて遊べるよ。
いしー。
でーい, いた とういんでい ひるー。
そうか。さあ、それでは取りに行こう。

※うか ふがにや, むんにぬ あんびんが あかやー。この他には、どんな遊びがあるかな。

くさばな さーに あしばな。

草花で遊ぼうよ。

女の子と同じく、男の子たちも草花を使って遊んでいました。植物を使った遊びには、どんなものがあるかな。



ちゅーや ぬーっし あしぶが。
今日は、何をして遊ぼうか。
やさ。あんしぇー すーていちゃーぬ ふあーっし
くー ちゅくらな。
そうそう、それではソテツの葉で虫カゴを作ろう。



じょーとー ちゅくいぶさぐとー たんめーんかい
ならいが いか。

上手に作りたいから、おじいさんに習いに行こう。

いー。あんしぇー ならいが いかな。

そうだね。それでは習いに行こう。

ちゅくたる くーんかいや ぬー いりーが。

作った虫カゴには、何を入れようかな。

わんねー さんさなー いりーぶさっさー。

私は、クマゼミを入れたいなあ。



※ふかぬ くさばなっし ありくり ちゅくてい んーら。他の草花で、いろいろな物を作つてみよう。

北部 くさばなち あすわー。

ちゅーや、ぬー しち あすみが。

今日は、何をして遊ぼうか。

いえーつさ、あっちしーねー

いとうとうぬ ふあーっち むしかご

とうくらー。

そうそう、それではソテツの葉で虫カゴを作ろう。

じょーとーに とうくいびさくとー,

つんめーけ なれーが いかー。

上手に作りたいから、おじいさんに習いに行こう。

んー。あっしねーや なれーが いかー。

そうだね。それでは習いに行こう。

とうくたる むしかごけ ぬーが

いりーる。

作った虫カゴには何を入れようかな。

わぬや あーさんさ いりびさん。

私は、クマゼミを入れたいなあ。

※ふかぬ くさばなっち ありくり とうくてい んだー。他の草花で、いろいろな物を作つてみよう。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

3 遊び

宮古 ふうさばながましー あすば。

きゅーや、のーゆー しーが
あすばっちやー。今日は、何をして遊ぼうか。
あんちー やちゅかー むしうかぐー
すていちゅぬ ぱーしー つづふあ。
それでは虫カゴをソテツの葉で作ろう。
じょーじゅん つづふあつてい うむい ういば
しゅーんかい なろーが いか。
上手に作りたいから、おじいさんに習いに行こう。

あんちーやー。あちゅかー なろーが ずー^{いか}。
つづふうたいう むしうかぐんな
のーゆが いじでいがらやー。
作った虫カゴには何を入れようかな。
ばーやー なかちゅがーしゅどう
いじぶしうかいう。
私は、クマゼミを入れたいなあ。

※ふかぬ ふうさばなしー たていだてい つづふいみー。他の草花で、いろいろな物を作つてみよう。

八重山 はなゆ あつめー あさば。

きゅーや のーどう しー あさぶかやー。
今日は、何をして遊ぼうか。
あんじらー, あんずかー していーずぬ
はーし むしうかごー つくる。
そうそう(そうだね), それではソテツの葉で
虫カゴを作ろう。
じょーとーに つくりぶさーりきー,
うしゅまいんかい ならい くー。
上手に作りたいから、おじいさんに習いに行こう。

あんじらー。
あんずかー ならい くーでいー。
そうだね。それでは習いに行こう。
つくれーる むしうかごーんかいやー
のーどう いりーかやー。
作った虫カゴには何を入れようかな。
ばなー さーんさんどう
いりふさーる。
私は、クマゼミを入れたいなあ。

※ふかぬ はなーしぇー いろんな むぬ すくり みやーむー。他の草花で、いろいろな物を作つてみよう。

与那国 つつかーばな し あんびんぬおー。

すーや ぬばきー あんぶんが。
今日は、何をして遊ぼうか。
いしやー, いた とうでいちぬ
はーし むちばぐ つくるー。
そうそう, それではソテツの葉で虫カゴを作ろう。
どうつとうに つくいぶさるんがら,
あさんき ならいんでい でーー。
上手に作りたいから、おじいさんに習いに行こう。

いしやー。でーー ならいんでい
ひろー。
そうだね。それでは習いに行こう。
つくる むちばぐんきや ぬば
いりらるかやー。
作った虫カゴには何を入れようかな。
あぬや さんさんどう いりぶさる。
私は、クマゼミを入れたいなあ。

※ふかぬ つつかーばな しー, いるんなむぬ つくいんぬや。他の草花で、いろいろな物を作つてみよう。

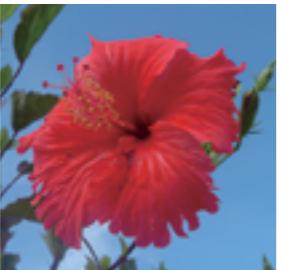
くさばな きーくさぬ なー

しらびてい んーら。

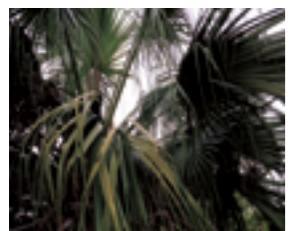
草花や草木の名前を調べてみよう。



私たち一人ひとりに名前があるように、植物にも名前が付けられています。私たちの身近な植物は、しまくとうばではどのような名前が付けられているのか調べてみましょう。私たちが普段呼んでいる名前と比べてみると面白いかもしれませんよ。

りーぐ
デイゴあかばなー
ハイビスカスあかぎ
アカギがじまる
ガジュマルいじゅ
イジュううー ※ばしょうの糸で織った
バショウ 布は“バサー”といいます。 リュウキュウバライチゴ

いちゆび

ばさない
バナナくば
ビロウゆーな
オオハマボウさんん
ゲットウまーち
リュウキュウマツくさとうか ふあなとうか きーとうか, なー^ー
しらびてい んだー。

でーぐ
デイゴ
あかばなー
ハイビスカス
あかぎ
アカギ
がじまる
ガジュマル

いどー
イジュ
ううー バショウ
→芭蕉布 (ううばさー, ううばさぎぬ)
いちょい
野イチゴ
ばさない
バナナ

くば
ビロウ
ゆなー
オオハマボウ
さんん
ゲットウ
まとうー
リュウキュウマツ



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

ふうさばなとうか きーぬ なーゅ しらびみー。

どぅ ふうきうぎー
デイゴ
あかばな
ハイビスカス
あかいうぎー
アカギ
がざまぎー^ー
ガジュマル

ばそーぬぬ
バショウ
むとうびう
野イチゴ
ばそーないう
バナナ

くば
ビロウ
ゆーな
オオハマボウ
さんん
ゲットウ
まちうぎー^ー
リュウキュウマツ

のーぬ ふさどう やるかやー^ー
しらべー みやーむー。

ずうぐ
デイゴ
ぐしょーくぬはな
ハイビスカス
あっかん
アカギ
がざむねー^ー
ガジュマル

いじゅ
イジュ
ばそー バショウ
→芭蕉布 (ばそーきん)
やまたんす
リュウキュウバライチゴ
ばそんなる
バナナ

くば
ビロウ
ゆーな
オオハマボウ
さんん, さんみん
ゲットウ
まちう
リュウキュウマツ



つつあー はな きぬなー ちらびんぬやー。

でいんぐい
デイゴ
ぐすぬはな
ハイビスカス
あがんき
アカギ
さんがい (き)
ガジュマル

いどぅ (き)
イジュ
ばす
バショウ
はたらんぎてい
野イチゴ
ばす (ぬ) ない
バナナ

くば
ビロウ
どうにんば
オオハマボウ
さんん
ゲットウ
まち (き)
リュウキュウマツ



いちむし ぬ なー, なちゅる

くいー しらびてい んーら。▶

昆虫や動物の名前や鳴き声を調べてみよう。



植物と同じように、昆虫や動物にも名前があります。私たちの身近な昆虫や動物は、しまくとうばではどのような名前がついているのか調べてみましょう。私たちが普段呼んでいる名前とは、どのように違うのかな。【】は鳴き声です。

なーびかちかちー
リュウキュウアブラゼミ
【なーびかちかちー】さんさなー
クマゼミ
【さんさんさん】
【わしわしわし】じーわじーわ
クロイワツクツク
【じーわー】あたびちやー
カエル
【がーくがーく】はーべーるー
チョウいさどうー
カマキリかーにーぐんばー^{リュウキュウツヤハナムグリ}ちんなん
カタツムリあーけーじゅー
トンボはちゃー
ハチまやー
ネコ
【まーうー】ゑんちゅ
ネズミ
【ぴちぴち】ふいーじゅー
ヤギ
【んーべー】つわー^{ブタ}
とうい^{ニワトリ}
【ぐーーぐーー】
【こっこーうー】むしとうか いきむしぬ なー,
なちゅる くいー しらびてい んだー。

なーびかちやかちやー【なーびかちやかちやー】(リュウキュウアブラゼミ),
あーさんさ【さんさんさん】(クマゼミ), あーさんさ【うーわ】(クロイワツクツク),
あーさんさ【けーんけーんけーん】(オオシマゼミ),
つわーたっこー【がーくがーく】(カエル), はべる(チョウ), さーるー(カマキリ),
かにべんさー(リュウキュウツヤハナムグリ), くすべんさー(アオドウガネ),
とうんな(カタツムリ), あけどう(トンボ), ふあち(ハチ),
まやー【みやうみやう】(ネコ), つゑっちゅー【ちゅーちゅー】(ネズミ),
ぴーじゅー【べー】(ヤギ), つわー【ぐーぐー】(ブタ), とうい【こころっけー】(ニワトリ)

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

むしうがまや いきうむしうぬ なー,
なきうぐいゆ しらびみー。

なびがーしゅ (リュウキュウアブラゼミ), なかちゅがーしゅ (クマゼミ),
ふうなた (カエル), ぱびいゅ (チョウ), さーる (カマキリ),
んーな (カタツムリ), びーいゅ (トンボ),
ぱちゅ (ハチ), まゆ (ネコ), ゆむぬ (ネズミ), ぴんざ (ヤギ),
わー (ブタ), とういゅ (ニワトリ),

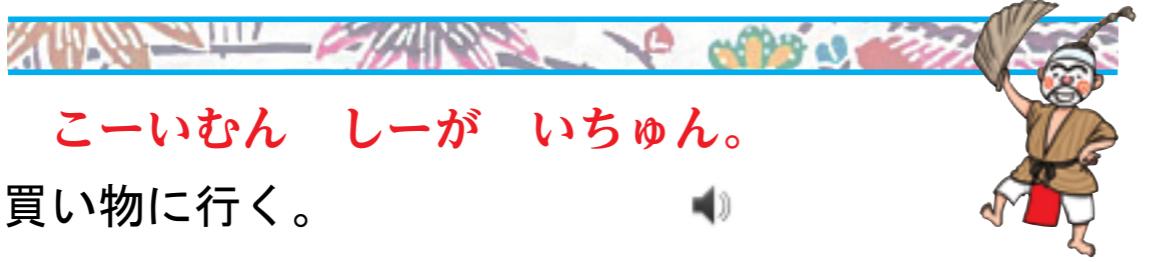
いきむすぬ なー,
なきぐい しらべー みやーむー。

なーびかちかちー (リュウキュウアブラゼミ),
さんさん【さんさんさん】(クマゼミ), じーわ【さんさん】(クロイワツクツク),
あうだ【がーくーがーくー】(カエル), はべる(チョウ),
かぎうっちや (カマキリ), かにごーやー (黄金虫), つだみ (カタツムリ),
かけーず (トンボ), ぱじゅ (ハチ), まやー【みやう みやう】(ネコ),
うえんちゅ (ネズミ), ぴびじゅ【んべー んべー】(ヤギ),
おー (ブタ), やーどうる【こけこく】(ニワトリ),

むちや いちぬちぬ なー,
なぐくい ちらびんぬおー。

うるむさんさんてい【じっじーじっじー】(イワサキクサゼミ),
さんさん【さんさんさん】(クマゼミ), さるがてい【ぎーぎー】(クロイワツクツク),
あうだ【ぐあーぐあー】(カエル), はびる(チョウ), あやみはびる (ヨナグニサン),
いさとうまい (カマキリ), あんしゃみ (リュウキュウツヤハナムグリ), んだみ (カタツムリ),
あぎだん (トンボ), はた (ハチ), まゆ (ネコ), うやんとう【ちゅーちゅー】(ネズミ),
ひびだ【んべー】(ヤギ), わー【げーげー】(ブタ), みた【こけこっこー】(ニワトリ)





なまから こいむん しーが いちゅん。
これから買い物に行く。

みんなは、家の手伝いをしますか。掃除や洗濯、料理などいろいろありますが、買い物も大切なお手伝いです。太郎君は、お母さんに何を買ってきてとお願いされたのかな。

たろー、あまぬ まちやんかい、こいむん しーが、つんじ とうらしぇー。
太郎、あそこのお店へ買い物に行ってくれるかな。

うー。ぬー こーてい ちゃーびーが。
はい。何を買ってこようか。

たまなーとう くみ こーてい つち
とうらしぇー。
キャベツと米を、買ってきてちょうだい。

うー。あんしぇー つんじ ちゃーびら。
はい。それでは行ってくるね。

いいー つくわ やさ。
とー あんしぇー つんじ くーわ。
いい子だね。それでは行ってらっしゃい。



北部 つなんまから こいむぬ しーが いちゅん。

たろー、あまぬ まちやけ こいむぬ しーが いじ こー。
太郎、あそこのお店へ買い物に行ってくれるかな。
あー。ぬーが こーてい ちゅーる。
はい。何を買ってこようか。
たまなーとう くみ こーてい こー。
キャベツと米を、買ってきてちょうだい。
あー。あっしねーや いじ くーやー。
はい。それでは行ってくるね。
いいー つくわどー。とー, いじ こー。
いい子だね。それでは行ってらっしゃい。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

宮古

んなまから むぬー こーが (いきい)。



たるー、かまぬ まっちゃんき むぬー かい きうし ふいーじやーんな。
太郎、あそこのお店へ買い物に行ってくれるかな。

んがな。のーゆが かい くーっちゃー。

はい。何を買ってこようか。

たまなとう まいうず かい きし ふいーる。

キャベツと米を、買ってきてちょうだい。

んー。あちうかー いき くーっどー。

はい。それでは行ってくるね。

まいふうかがま。あら いき くー。

いい子だね。それでは行ってらっしゃい。



八重山

なまから むぬ かいな はるん。



たろー、あぬ まちやから むぬ かいきー ひーらぬ。

太郎、あそこのお店へ買い物に行ってくれるかな。



おー。のーどう かやーって。

はい。何を買ってこようか。

たまなーとう まいゆ かいきー ひーりや。

キャベツと米を、買ってきてちょうだい。

おー。あんずかー いき くい。

はい。それでは行ってくるね。

ぼーれーぼーれー。あんずかー いき くーよー。

いい子だね。それでは行ってらっしゃい。

与那国

ないがら かいむんき ひるん。



たろー、かまぬ みしやんき かいむぬ きんでい ひーとうらぬな。

太郎、あそこのお店へ買い物に行ってくれるかな。



おー。ぬば かいくかや。

はい。何を買ってこようか。

たまなーとう んに, かいし とうらしんに。

キャベツと米を、買ってきてちょうだい。

おー。いた いていて くたよー。

はい。それでは行ってくるね。

まいふな。あがみていえー いた いていていこー。

いい子だね。それでは行ってらっしゃい。

まちやぐわー うてい, こーいむん すん。

お店にて、買い物をする。



太郎君がお店に到着しました。さて、買い物をするとき、しまくとうばだとどのような会話になるのでしょうか。



ちやーびらさい。
ごめんください。
はい、めんそーれー。ぬー こーいが。
はい。いらっしゃい。何を買うの。
たまなーとぅ くみ、 うてい くいみそーれー。
キャベツと米を(売って)ください。
にふえーろー。
ありがとうございます。

くれー ちやっさ やいびーが。
これは、いくらですか。
むるっし、にしえんぐひやくいん やさ。
合計(全部)で、2500円です。
また つち とうらしょー。
また来てちょうだいね。
にふえーれーびるさい。
ありがとうございました。



北部 まちやううてい, こーいむぬ すん。

ちやーびら。
ごめんください。
もーいそーれー。ぬーが
こーいそーいる。
いらっしゃい。何を買うの。
たまなーとぅ くみ こーらー。
キャベツと米を(売って)ください。
にふえーどー。
ありがとうございます。

くりや ちやっさ げーる。
これは、いくらですか。
むるっち,
にせんごひやくいえん。
合計(全部)で、2500円です。
また ちー とうらしょー。
また来てちょうだいね。
にふえーいえーたん。
ありがとうございます。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

宮古 まっちゃん うてい, むぬー こー。

んもーい かーさーちー。
ごめんください。
んみやーち。のーゆが かーでい。
いらっしゃい。何を買うの。
たまなーとぅ まいうず
ふいーさーち。
キャベツと米を(売って)ください。
たんでいがーたんでい。
ありがとうございます。

くりやー いすか やりやー。
(のーふうさが)
これは、いくらですか。
んーなし 2500円。
合計(全部)で2500円です。
また くーよー。
また来てね。
おー、また くーでいー。
はい、また来ます。

八重山 まつやかい かいむぬ しに いくん ゆー。

くよーんなーら。
ごめんください。
おーりとーり, のーどぅ
かよーるねーら。
いらっしゃい。何を買うの。
たまなーとぅ まいゆ かーしょーり。
キャベツと米を(売って)ください。
にふあいゆー ふこーらさゆ。
ありがとうございます。

くれー いこーびかやー。
これは、いくらですか。
むーるし
にしえん ごひやくえんゆ。
合計(全部)で2500円です。
また くーよー。
また来てね。
にふあいゆー。
ありがとうございました。

与那国 みしやに, かいむぬ きるん。

たーん わるかやー。
誰かいりますか。(ごめんください。)
すんでいさー。ぬば くんが。
いらっしゃい。何を買うの。
たまなーとぅ んに
ういとうらしわれ。
キャベツと米を(売って)ください。
ふがらさ。 ありがとうございます。

うや いぐらていば
あいわるかや。
これは、いくらですか。
ぶーるし にしえん ごひやくえんゆ。
合計(全部)で2500円です。
また くーよー。
また来てね。
あらーぐ ふがらっさー。
ありがとうございました。

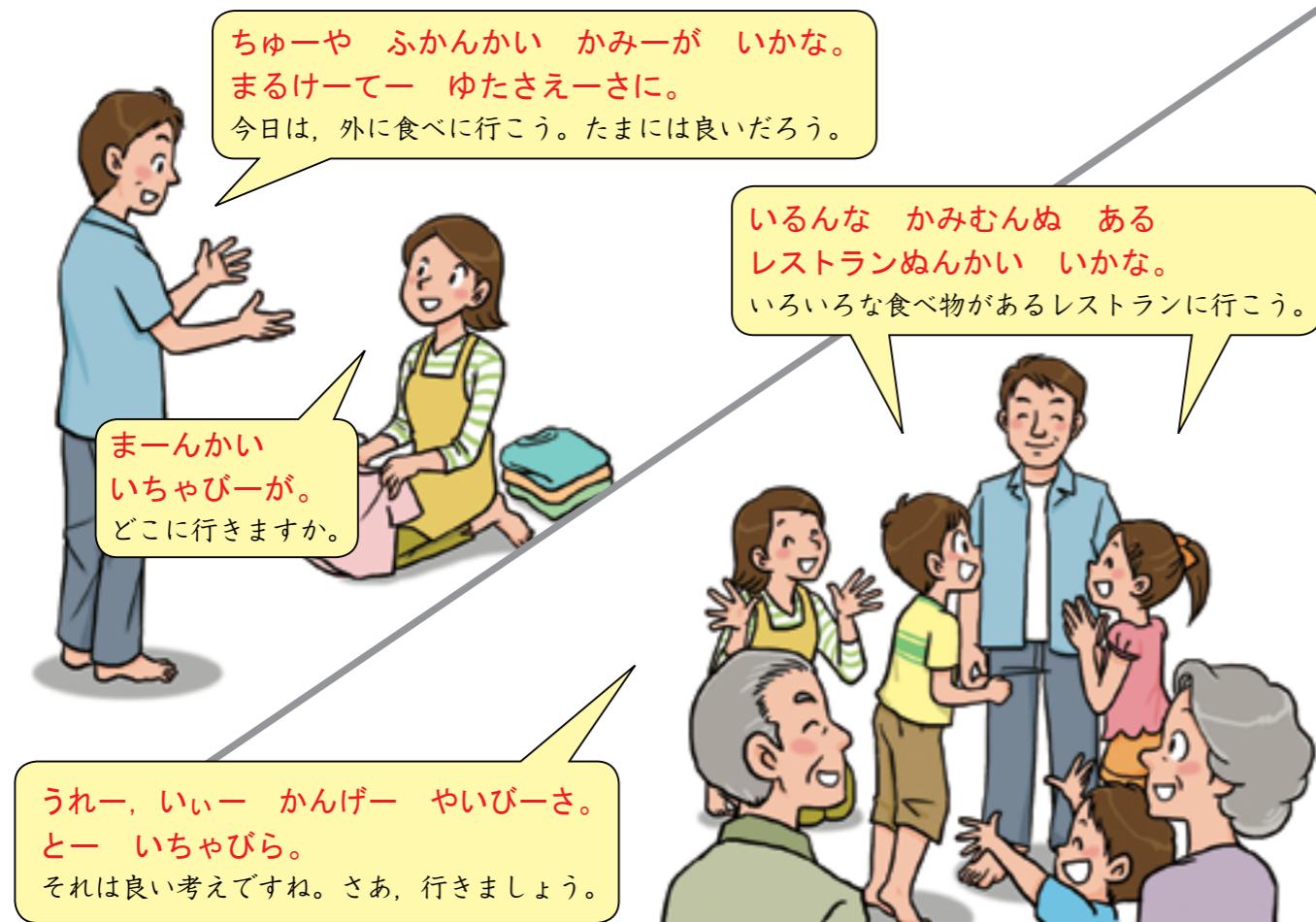


ちゅーや ふかんかい かみーが いかな。

今日は、外に食べに行こう。



家族が作ってくれる食事も美味しいのですが、たまに家族そろって行く外食もいいものです。家庭では味わえない料理を家族で囲むのも、より美味しさが増します。みんなは、外食に行くなら、何を食べたいかな。



北部 ちゅーや ふかけ かみが いかな。



ちゅーや ふかううてい
かみが いかー。
まるけーてい すみさに。
今日は、外に食べに行こう。
たまには良いだろう。

だーけが いちゅる。
どこに行くの。

いるんな くえーむぬぬ
まんどる レストランけ いかー。
いろいろな食べ物がある
レストランに行こう。

うりや、いいー かんげー いえーさ。
でいか いかー。
それは良い考えですね。さあ、行こう。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

宮古

きゅーや ふかんかい ふおーいが いか。



きゅーや ふかんかい
ふおーいが いか。
ぴょーすんな じょーぶんな
あらんな。

今日は、外に食べに行こう。
たまには良いだろう。
んざんかいが いかっちやー。
どこに行きますか。

いるたていだいぬ ふおーむぬ
あいう レストランかい いか。
いろいろな食べ物がある
レストランに行こう。

うりやー ぞー かんがい。
すー いか。
それは良い考えですね。
さあ、行きましょう。

八重山

きゅーや ふかんが いでー
ほいー みやーむー。



きゅーや ふかんが いでー
ほいー みやーむー。
ぴうとうげんなーや
みしやーんさー。

今日は、外に食べに行こう。
たまには良いだろう。
ずまかい はりやー。
どこに行きますか。

のーんくい しこーれーる
ほいむぬやーかい ぞぞー。
いろいろな食べ物がある
レストランに、さあ行こう。

うれー みしやーんらー。
でいー はら。
それは良い考えですね。
さあ、行きましょう。

与那国

すーや, ふがんき はいんでい ひろー。



すーや, ふがんき
はいんでい ひろー。
たまにや んさどう あるない。

今日は、外に食べに行こう。
たまには良いだろう。
んまんき あるんが。
どこに行きますか。

いるんな はいむぬんが ある
レストランき ひろー。
いろいろな食べ物がある
レストランに行こう。

うや いー かんがいどう
あいわる。でいー つかいるー。
それは良い考えですね。
さあ、行きましょう。

まーさむのー ぬーぬ あがやー。

美味しいものは、何があるかな。



美味しいものがたくさん並んでいると、何にしようか悩んでしまいますね。太郎君と家族は、何を注文するのでしょうか。みなさんだったら、何を食べたいですか。しまくとうばで注文できたら楽しいでしょうね。



ましやし ちゅーむんし しむんろー。

好きなものを注文していいよ。

ぬー ちゅーむんすがやーんち かんげーとーしが、
ぬーや ましやがやー。

何を注文しようか考えているんだけど、何がいいかな。

わんねー、すてーけー まし。

私は、ステーキがいい。

わんねー、ちゅーかりょーりから いらぶさ。

私は、中華料理から選ぶよ。

まーさぎさっさー。とー、あんしぇー かま。
くわっちー さびら。美味しいそうだね。さあ、それでは食べよう。
いただきます。まーさんやー。
おいしいね。

北部 まーはむんや あっかやー。

まし いえーす あとうりてい
すみんどー。
好きなものを注文していいよ。
ぬー あとうりがやーでいち うむとすが、
ぬーが まーはるやー。
どれにしようかと思っているんだけど、
何が美味しいかな。
わぬや、ステーキや まし。
私は、ステーキがいい。

わぬや、中華料理から いらふん。
私は、中華料理から選ぶよ。まーはぎさぬ。
とー、くわーてい んだー。
美味しいそうだね。さあ、食べよう。
まーはんやー。
美味しいね。※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

宮古 んまむぬー のーぬが あいうがらやー。

がおーぶしうかいい むぬー^モ
ちゅーもんなしー じょーぶんどーや。
好きなものを注文していいよ。んじんかい すーでいがらやーてい うむい
ういいうすがどう、のーぬが んまんかいいがらやー。
どれにしようかと思っているんだけど、
何が美味しいかな？ばーや、ステーキぬどう ましう。
私は、ステーキがいい。ばーや、中華料理から
いらばでい。
私は、中華料理から選ぶよ。んまぎやー。ずー ふあー。
ふあーっとー。美味しいそうだね。さあ、食べよう。
いただきます。んまーんまやー。
美味しいね。八重山 んまさーる むぬんが のーしう
むぬんどう あだがやー。ほいぶさーる むぬ たぬみや。
食べたいものを注文しなさい。のーどう ほーかやーで
うむやーうすんが,
のーどう んまさーるかやー。
何を食べようかと思っているんだけど、
何が美味しいかな？ばなーや、うすぬ にくどう ます。
私は、ステーキ（牛の肉）がいい。ばなーや、とーぬ ふあいむぬから
とうみらんば。
私は、中華料理から選ぶよ。んまさんがしゃー そーらー。
ほい みやーむー。とーらりるんどー,
<とーらるなーらー>。
美味しいそうだね。さあ、食べよう。いただきます。
んまさーそーらー。
美味しいね。

与那国 まーるむのや ぬんが あかや。

まっちゃん むぬがら あちらい
きんさんどう。
好きなものを注文していいよ。ぬんき きーまちかやんでいどう
うむいぶんがどう ぬばが まーかや。
どれにしようかと思っているんだけど、
何がいいかな？あぬや、ステーキぬどう まち。
私は、ステーキがいい。あぬや、中華料理がらどう
いらばりる。
私は、中華料理から選ぶよ。まーさぎさんがえー、でいー
はいんだげ。
美味しいそうだね。さあ、食べよう。
たばらりる。 いただきます。
まんがえー。 美しいね。



沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地を巡っているのでしょうか。まずは、沖縄島の中南部を回ってみましょう。あなたなら、どこを案内しますか。

首里城(那霸市)



なーかんかい いーち みーてい
ちゅーしが、うからふあーふ
やいびーん。

中に入って見えてくるのが、首里城正殿
です。

んかし、くまんかいや
すいていんがなーしが
めんそーちゃん。

昔、ここには国王がいらっしゃいました。

ちかさんかいや、すぬひやんうたき
たまうるんとうかぬ あいびーん。

近くには、そのひやんうたきたまうるんとうかぬ園比屋武御嶽や玉陵など
があります。



うぐしく やいびーん。
首里城です。

くまんかいや
「いじぬ つんじらー ていー ふいき,
ていーぬ つんじらー いじ ふいき」
んり いーる,
ちてーばなしう あいびーん。

ここには

「意地が出るなら手を引きなさい,
手を出すなら意地は引きなさい。」
という言い伝えがあります。

くまー はくぎんどう白銀堂んり いーる
とうくる やいびーん。
ここは、白銀堂という所です。

勝連グスク(うるま市)



くりから いちゅしや
かっちんぐすく やいびーん。
これから行くのは、かづれん勝連グスクです。



あまわりんり いーる あじぬ めんそーちやる ぐしく やいびーん。
阿麻和利という、按司がいらっしゃったグスクです。

むふん うくちゃんり いーる ちてーばなしう ある あじぬ ぐしく やいびーん。
むほんを起こしたという言い伝えがある按司のグスクです。

ちちやさる とうくまんかいや なかぐしくぐしくん あいびーん。
近くには、なかぐすく中城グスクもあります。



たまねー わらびぬ うむさする とうくるんかい
うんちけー さびら。
たまには、子どもがおもしろがる所にも案内しましょう。

おきなわしんかい ある
おきなわこどものくに やいびーん。

おきなわ沖縄市にある沖縄こどもの国です。

いちむし からとーる とうくまん,
あしひどくろん あてい
わらびんちやーんかい にんきぬ ある
とうくる やいびーん。

動物園や遊び場があって、子どもたちに人気のある所です。



沖縄こどもの国(沖縄市)

玉泉洞(南城市)



くぬ がまー ぎょくせんろーんり
いやいびーん。
このどうくつは玉泉洞といいます。



がまびかーのー あらん, んかしぬ
やーやしちとうか はぶ ちかなとーる
とうくまん あいびーん。

ガマだけではなく、昔の家屋しきやハブを飼育している所もあります。

つなんまから うきなーぬ ほくぶぬ

あまくま あんねー さーやー。♪

おきなわじま
沖縄島北部のいろんな所を案内しよう。

沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地をめぐっているのでしょうか。次は、やんばると呼ばれて親しまれている沖縄島の北部を回ってみましょう。あなたなら、どこを案内しますか。

くまや むかしや りゅーきゅーぬ ていーち ないぬ めー,
ふくざんとうしち さけーたる ぐすく いえーん。

ここはかつて琉球が統一される前、北山として栄えていたグスクだ。

むとうぶけ あてい、ふいるびるとう しち
まぎはぬ なだけーな ぐすく いえーん。

本部半島にあって、広くて大きな
グスクとして有名だ。

やんばる まむいぬ かなみぬ ぐすく
いえーたん。

やんばるの地を守る要のグスクだった。

今帰仁グスク(今帰仁村)



なきじんぐすくいえーびん。
今帰仁城跡です。

海洋博記念公園(本部町)



うきなーうーていん 一番ぬ
みーどうくる いえーん。
沖縄を代表する観光名所だ。

とうくに じんべいざめとうか
かーまんたぬ ううぬ
ちゅら海水族館や,
みやーぬ まんどん。
特にジンベイザメやマンタがいる
「美ら海水族館」は、人気がある。

ふいとうぬ オキちゃん劇場ん
ふおーくぬ ちゅー
たぬしみ しみとん。
イルカのオキちゃん劇場も多くの人を
楽しませている。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

×

モ

おんな
恩納村のビーチ

うきなーでい いーねー おーはぬ
つみー おーはぬ ていに。
沖縄といえば青い海と青い空。



あっち、まっさーらな すなはま。
むぬ うむいうむいぬ すがい
しち つみー たぬしどん。
そして真っ白な砂浜。
みんな思い思いの恰好で、海を楽し
んでいます。



古宇利島(今帰仁村)

いーちでーぬ ふあなしちゃや あらぬ,
ちゅらはぬ つみーや すなはま,
あっち がすすとうかぬ つみーぬ むぬぬ
でーじな まーはぬ とうくま いえーん。
伝説だけでなく、きれいな海や砂浜,
そしてウニなどの海産物もおいしいところだ。



うきなーんちゅぬ ふあじみてい つまーりたる とうくるでい つやつとぬ
ちてーばなしぬ あーる くーりじま。

沖縄の人類発しようの地であるという伝説があるのが古宇利島。

つなんまや くーりおーはしぬ あんでいぬ くとうち なだけーな とうくる。
今では古宇利大橋があることでも有名。



沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地を巡っているのでしょうか。次は沖縄島を離れ、宮古地区を訪れてみましょう。あなたなら、どこを案内しますか。



まえはま 前浜ビーチ(宮古島市)

みやーくー だいひよーっしゅ ぱまーしー、
しゅまぴゅとうちやーなー あらだなしー
やまとーぬ 観光客まい うぱーたどー
みーが きうしゅ。

宮古島を代表するビーチで、島の人だけでなく
ヤマトの観光客も大勢訪れます。



ながさー 7kmまい ありってい、んーなぐーや さらさらてい かぎむぬ。
長さは7kmもあり、白い砂はサラサラとして、きれいです。

みやーくんかいどー なちうぬ きうしゅーてい しゅつさす「全日本トライアスロン みやーく
たいかい」ぬ、うゆぎうぬ スタートまい ゴールまい なり ういう とうくるさーい。

宮古島の夏の訪れを告げる「全日本トライアスロン宮古島大会」のスイム、スタート、ゴール地点にもなっています。

38ヘクタールまい あいう にほんな
いちうばん うぱーぶぬ
どうるいむなしー、うぱーたぬ とういう、
むしゅ、いうずぬきやー みーらいいう
みじうらしゅ とうくるさーい。
38ヘクタールもある日本で一番大きな湿原で、多くの鳥や昆虫、魚たちが見られる貴重な
場所です。



いきまじゅまぬ まんなかん あいう
どうるいむましー、ゆにむい、
いーぬふーていまい あいうざい ういう。
池間島の真ん中にある湿原で、ユニムイ、
イースパーとも呼ばれています。

いけましつげん 池間湿原(宮古島市)



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

×

モ

ひがし へん な 東平安名崎(宮古島市)

おーおーぬ すらとぅ おーおーぬ
いむぬ みーらいいう かぎ とうくる。
うまん たち うちゅかー、きうむしゅだー
しゅき かじぬどぅ ふうき ぴういう。
青い空と青い海が見える美しい場所です。

気持ち良い風が吹き抜けていきます。

しょーがちゅぬ あがいていどー うがむ
ていーまい なーだ かとうくるさーい。
さきうん いかっていーぬ なかばがまんな
ちゅんだーしゅ あぱらぎみどぅんてい
なーや とうゆまし ういう
まむやが ばかまいどぅ あいうさーい。
初日の出を見ることのできる場所としても有名で、
岬のど中には、悲劇の美女として名を知られる
マムヤの墓もあります。



とうらぬばぬ ぱなん
あいう さきう。
宮古島の南東の端にある岬です。

いらぶじゅもー しょーかいすっす とうきやんな かならじゅ しゃしんな ぬーりぬ
とうゆむ 観光どうくる。

伊良部島を紹かいするときには必ず写真が載る有名な観光の場所です。

ふうたーちゅぬ いきやー ふうかーふうかぬ とうくるんうてい つぎやーり うてい、
あらーぬ いむとー じゅーぬ しうたぬ がまとう つぎやーり ういうさーい。

二つの池は深いところでつながっていて、外の海とは地下の洞窟で結ばれています。

いらぶじゅまぬ
いいうぬ いむん
あいう ふうたーちゅぬ
いき。
伊良部島の西海岸にある
二つの池です。



通り池(宮古島市)



沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地をめぐっているのでしょうか。次は沖縄島をはなれ、八重山地区を訪れてみましょう。あなたなら、どこを案内しますか。



しゅまぬ、とうむすんがれー やでーん ちゅかーれーる なーむちる とうくる。

石垣島の観光ポスターには、必ずといっていいほど使われる有名な場所です。

くぬ ちゅぐちー いんぬ すーぬ かいしゃーり とうきうとう ていだぬ
ぐあいし すーぬ いるぬかーり たかでいとう がらすぬふにから
まーりみせーり うむっさ しーる みぐとうな とうくる。

川平湾は海の水がすんでおり、時間や光の加減で、いろいろと海の色が変わり、高台やグラスボートから回って、多くの人たちの目を楽しませている有名な所です。



しゅかぬ いしゃなぎらなんがー
えーまんが はじみて
たていだ ていら。

石垣市石垣にある八重山で
初めて建てられた寺です。

1614にん さつまから
あんかれーり つくるだ。

1614年に、薩摩藩の勧めによって
建てられました。

ペーりふちゅぬ すばぴうさんなが たちる におーや なま ぬくりる うちゅなんがれー
うきなーんが むつとうむ ふるさーる きーぬ くりむぬし けんぬ 文化財かい なりん。
山門の左と右に立っている仁王像は、現在残っている中では沖縄で最も古い木彫りの像として、県指定の有形文化財となっています。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

×

モ

うきなーんが とうび
んでー かいしゃーる
すなだぬ しゅうまで
あんかばん みしやーんらー。
沖縄を代表する美しい
風景の島といえるでしょう。



たけとみ
竹富島(竹富町)

あかがーらやー うーるぬ ぐすく すすいの一ぬ みちゅ, やーぬ ういぬ しーさー
ぐしょーくぬ はな なーだ いるぬ くゆさーり かいしゃーる はなばなぬ すなだ。
くりどう てーどうん。

赤がわら屋根の家やサンゴの石垣、白砂の道、屋根の上のシーサー、そして、ハイビスカスなど色あざやかな花々が咲く原色の花々が咲く風景。それが竹富島。

うりたんがーや あらなー。むかすからぬ ようしきぬ くらしぬ なかなんが
いかされーすん てーどうん。

それだけではありません。伝統や古い文化が、生活の中に生きているのも竹富島です。

ピナイサーラの滝

いりおもて
西表島(竹富町)



いりむていしゅまーや
うきなーんがれー
にばんめー
まいしゃーる しゅま。

西表島は、沖縄県では沖縄島に
次いで面積の大きい島です。



ちきゅーんがれー くぬしうまたんがーぬ いきむぬ「いりむてい やままやー」でんき
あつたらむぬ かい なりる。

世界では西表島だけにしかいない、天然記念物の「イリオモテヤマネコ」でも有名です。

うぬふかんがー なかまかーら ぴないさーら うきなーんがれー くまたんがーぬ
ぴうるまりーる とうくる。

その他にも、仲間川やピナイサーラの滝など、沖縄では他に見ることができない風景が広がっています。



沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地をめぐっているのでしょうか。次は沖縄島をはなれ、与那国島を訪れてみましょう。あなたなら、どこを案内するかな。

日本最西端の碑(与那国町)



うんが んさたや 台湾が
んなりる どうぐるんでい うとうたがん。
運が良ければ、台湾が見える場所として有名です。
また、ていだんが うんながんき
いりる 光景や ぬんでいん んだにた
あびやんどー。 また、太陽が海にしづんでいく光
景も何とも言えないほど美しいよ。



うまどう だまとうぬ
いっていん いりぬ
はていぬ でいー。
ここは日本で、最西端の地。



ヨナグニサン (あやみはびる)



アヤミハビル館(与那国町)

ヨナグニサンや 日本に いっていん まいさる はびる,
どうなんにや あやみはびるんでいどう んでい ぶる。
ヨナグニサンは日本最大の「ガ」で、与那国ではアヤミハビルと言っている。

日本にや どうなんどう、いりむていにどう ぶる。 日本では与那国島と西表島にしかいません。
あやみはびるかんにや うぬ あやみはびる つかないぶん。
アヤミハビル館では、このアヤミハビルを飼育しています。

×
モ

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

なんたはまや どうなん つとうぬ
ちむすらしどうぐる。

なんた浜は、与那国島の人の心の故郷です。

うたに あるに、どうなんちまぬ
いっていん うとう たがる
どうぐるどう ないぶるゆ。

歌にも歌われていて、
与那国では一番有名な場所でもあります。



なんた浜(与那国町)

たぎや 30メートル あん。 高さ30メートルもあります。

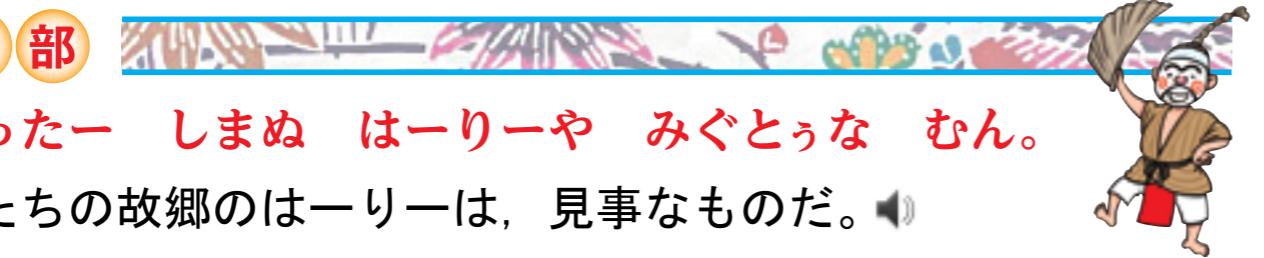
ちまん つとうたや 「かんぬいてい」んでいどう んでいぶいてい、
見張台がら んぬ しがたや,かんぬいていぬ なーぬ とーり みぐとうどうー。
島の人々は、「神の岩」と呼んでいて、展望台からの姿は、神の岩という名前の通り見事です。



立神岩(与那国町)

どうなんちまぬ みーぬふわぬ
うんながに ある うぶいていどう
たていがみいてい ないぶる。
与那国島の南東部(巳の方角)の
海にある大きな岩が立神岩です。





はーりーは、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。

沖縄で行われるはーりー行事の中でも「那覇はーりー」は最大規模で、およそ600年の歴史があるといわれています。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

×

モ

中南部各地の行事

中南部の各地域にはいろいろな行事があり、その地域に住む人々が大切に守り続けてきました。あなたの地域には、どのような行事がありますか。

しまくとうば ちかてい、しまぬ しちびんかい んーな まじゅーん
いかな。

しまくとうばを使って、故郷のお祭り（行事）に、みんなと一緒にあって参加しよう。



↑那覇大綱曳き



↑獅子舞フェスティバル



↑全島えいさー祭り



↑与那原大綱曳き



↑海神祭（座間味村）



↑糸満はーりー（※糸満では、はーりーと言います。）

わね しまぬ むらううどういや、でいきとん。
私たちの島の村踊りは、見事なものだ。♪



むらうどい（村踊り）は、豊作や村の人々の安全を願って行う祭りです。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

×

モ

北部の行事



↑ 塩屋のうんがみ



↑ 安田のしぬぐ



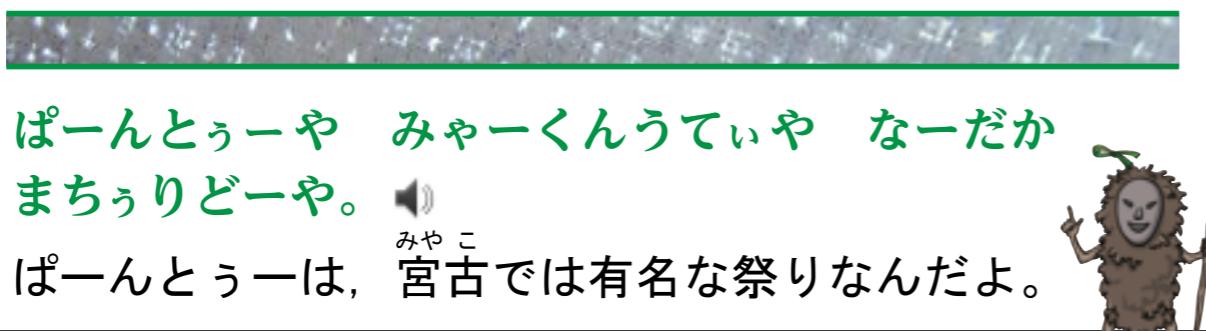
↑ 安和のうしてーく



↑ 久志の若狭司（久志区）



↑ 屋部の八月踊り



ばんたが しゅまぬ ぱーんとうーや、みやーくぬ しゅまじゅーんどう あいう。
わたしたちの島のぱーんとうーは、宮古の島中にあります。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

宮古の行事



↑城辺上区の獅子舞



↑川満棒踊り



↑松原の獅子舞



↑やーます御願



↑池間のくいちゃー



↑ともりのくいちゃー



↑友利獅子舞

ばがー しゅまぬ ぱーりゅや みぐうとう。
わたしたちの島の豊年祭は、見事なものだ。▶



ぱーりゅ（豊年祭）は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。集落ごとに行われる祭りで、**八重山**で行われる行事の中でも規模が大きく、人々が楽しみにしている行事です。



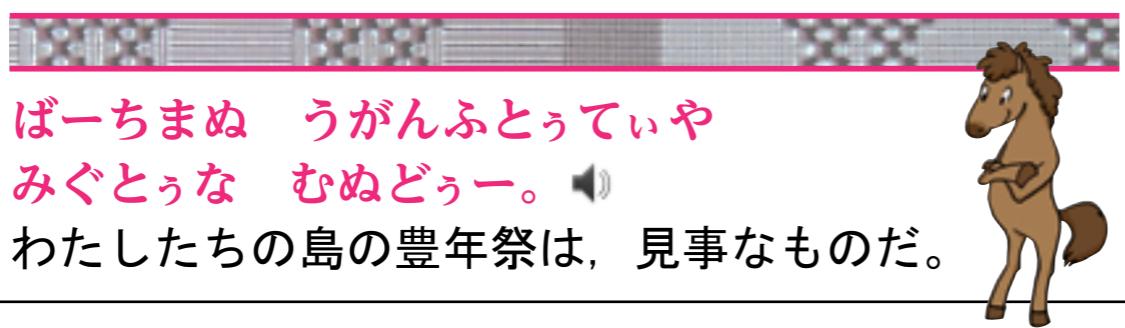
※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

×

モ

八重山の行事





ばーちまぬ うがんふとうていや
みぐとうな むぬどう。

わたしたちの島の豊年祭は、見事なものだ。

うがんふとうてい（豊年祭）は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。

与那国で行われる行事の中でも、「どうんた」や「棒踊り」はみんなが楽しみにしています。

すーや うがんふとうていどう
あるんがら、まどうん
んにんでい でいー。
今日は豊年祭だから、
一緒に見に行こう。



うとうたがる まちりどう
ないぶる。
有名な祭りなんだよ。



「どうんた」き 「ぶー つかい」
あらーぐ、うむつつあんどー。
「どうんた」と「棒踊り」が、
とてもおもしろいよ。

どうんた

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

×

モ

与那国の行事



↑ぶーぶーどういし（棒踊り）



↑たていussai



↑みていうた



↑くぶらまちり



↑うがんふとうてい





いいー そーぐわち れーびる。
良いお正月です。



一年の計は元旦にありといわれます。元日には、家族が集まつてきちんとあいさつを行い、一年の抱負などを述べ合うのも良いかもしれませんね。

あなたの今年の正月はいかがでしたか？

いいー そーぐわち
なとーんやー。

良いお正月になりましたね。

にんとうぬ えーさち
うんぬき やびら。
年頭のあいさつをします。



くとうしん ゆたさるぐとう うにげー さびら。
今年もよろしくお願ひします。

北部 いいー そーぐわち やー。

にんとうぬ えーすとう しーが
っちゃん。
年頭のあいさつに来ました。

いいー そーぐわち やー。
良い正月です。

くたいん ゆたはるぐとうやー。
今年もよろしくね。

宮古 かぎ しょーがちゅんどう なり ういう。

しょーがちゅぬ あいさつちゅ
すーでい。
年頭のあいさつをします。
かぎ しょーがちゅやー。
良い正月です。

くとうしゅまい たかさーしー
ふいーさーち。
今年もよろしくお願ひします。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

八重山 いー しょんぐわじゅらー。



にんとうぬ あいさちゅ つさりんゆー。
年頭のあいさつをします。

いー しょんぐわじゅらー。
良い正月です。

にんとうぬ あいさちゅ つさりんゆー。
今年もよろしくお願ひします。

与那国 いー すんがていどう ないぶるゆ。



にんとうぬ あいさてい つありん。
年頭のあいさつをします。

いー すんがてい。
良い正月です。

くとうちん いーくとうゆ
あらみとうらしわり。
今年もよろしくお願ひします。

正月にうたわれるうたを調べてみましょう。

中南部／北部 「かじやでいふう」(かぎやで風)

あらたまぬ とうしに たんとう くぶ かじやでい
くくるから しがた わかく なゆさ。

新年に炭とこんぶをかざって、心から若くなったような心持ちがする。

きゆうぬ ふくらしゃや なをうにじやなたでいる
ちぶでいうる はなぬ ちゅぢや たぐうとう。

今日のうれしさは何に例えよう。つぼんでいる花がつゆに会って花が開いたようだ。

宮古 「とーがにあやぐ」

うぶゆ ていらしゅる まていだだき 国ぬ 国々
島ぬ 島々 ていりやーがり うすいよ~。

大世を照らしている真太陽(ティダ)のように 国の国々、島の島々を照りかがやき統治する~。

八重山 「ばしうぬ とうりうぶし」(わしの鳥節)

~ しょんぐわじゅぬ しゅうとうむでい ぐわんにちゅぬ 朝ばな あがるかい
飛びちうけ ていだば かめ まいちうけ。

(7・8番の歌詞) 正月の早朝に 元日の朝まだきに
(若わしは) 東の方に飛んでいった太陽をいただいてまつて行った。

※与那国では、正月には中南部と同じように「かぎやで風」がうたわれるのが一般的です。

むーちー ちゅくてい, とうしぬ

かじぬ むーちー さぎらな。▶

むーちーを作つて, 年の数のむーちーを下げるよ。



きゅうれき 旧暦の12月8日は「むーちー」を食べる日です。「さんいん(月桃)」の葉に包まれた「むーちー」は、よい香りがする、おいしい食べ物ですね。また、みんなの年の数だけヒモで結んで天井からつるす風習もあります。またこの時期は、「むーちーびーさ」といって、一年でも寒くなる季節もあります。おいしい「むーちー」をたくさん食べて、身も心も暖かくなりましょう。

むーちー うふおーく ちゅくてーぐとぅ ちゅふあーら かみよー。
むーちーをたくさん作つてあるから、お腹いっぱい食べてね。

うりむちー とうくてい,
とうしぬ かじ うりむちー さぎらー。

うりむちー ふおーく とうくていくとぅ,
わたみちゅか くえーよー。
むーちーをたくさん作つてあるから、お腹いっぱい食べてね。
まーはぶちやげらはぬ。
だー, ていーち くわーてい んだー。
おいしそうだね。それでは、ひとつ食べてみよう。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

むっちゅう ちゅつふい, とうしぬ
かずだき むっちゅう さぎやー。

むっちゅう うぱーた つづふい
うきば ばたーんちゅきや ふあいよー。
むーちーをたくさん作つてあるから、お腹いっぱい食べてね。

あがんにや (あば), んまぎやー。
あら, ぴうていーちう ふあいみー。
ああ, おいしそうだね。それでは、ひとつ食べてみよう。

(※最近では宮古の家庭でもムーチーを作つたりしますが、
本来、宮古にはムーチー行事は行われていませんでした。)

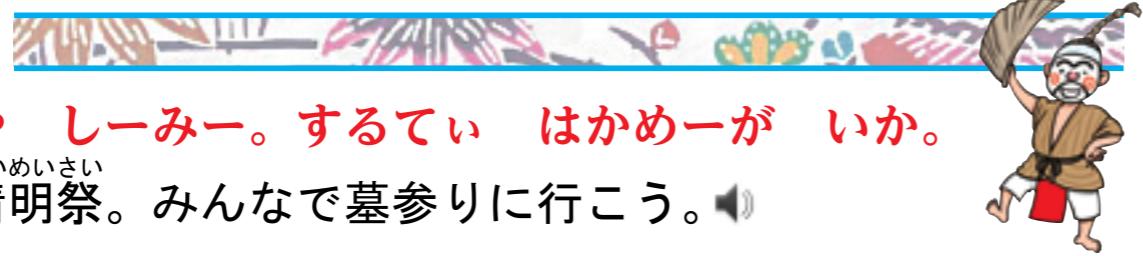
むつば つくり
とうすぬ かず さげー みやーむー。

むつ たかーに ちうくれーりきー
ばだぬ んちうんけん ほいよー。
むーちーをたくさん作つてあるから、お腹いっぱい食べてね。
いびー, んまさんがしゃーそー あんずかー
ぴていーず ほい みやーむー。
ああ, おいしそうだね。それでは、ひとつ食べてみよう。

むてい つくいてい,
とうちぬ かでい さんぎるん。

むてい まーしく つくるあんがら, ばた んくた はいばえー。
むーちーをたくさん作つてあるから、お腹いっぱい食べてね。
あー, まーさんぎさんがえー。いた つとうち はいんぬー。
ああ, おいしそうだね。それでは、ひとつ食べてみよう。





ちゅーや しーみー。するてい はかめーが いか。
今日は清明祭。みんなで墓参りに行こう。

沖縄島では、4月のはじめに「しーみー（清明祭）」を行います。そのときは、家族や一族が集まって墓参りをして、ごちそうをお供えして、ご先祖さまを供養します。

うやふあーふじんかい うーとーとうしぇーやー。

ご先祖さまに、うーとーとーしなさいね。

うーとーとうしから、うさんれー さやー。
うーとーとーしてから、ごちそうをいただこうね。

うーとーとう。
うーとーとー。



ちゅーや しーみー。
むんどうり すりてい ふあかけ いかー。



うやふあーふじけ とーとう しぇー。

ご先祖にうーとーとーしなさいね。

とーとう しちから、さんでー さーやー。

うーとーとーしてから、ごちそうをいただこう。

うーとーとう。

うーとーとー。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
×

モ

宮古・八重山・与那国

きょうは十六日祭。みんなで墓参りに行こう。



宮古や八重山、与那国では、「十六日祭（じゅーるくにちー）」が盛んです。「じゅーるくにちー」は、旧暦の1月16日に行う墓参りです。あの世（後生）の正月といわれています。

宮古

きゅーや じゅうるくにちう。
んーなし ぱかんかい いか。



きゅーや じゅうるくにちう やーば んまむぬー くーっうーい きうしうたいう。
んーなしー んきぎさーち。

今日は十六日祭だから、ごちそうを準備してきました。みんなでお召し上がりください。

ずー、んーなしー ていーや かみつていから、んまむぬー ふあー。
さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

八重山

きゅーや じゅーるくにちう
むーるさーり はかかい はららー。



きゅーや じゅーろくにちう やりきー こっきー しこーりきーだ けーらし
おいしとーんなーらー。（んこーりよー。んきゃーとーりよー。）

今日は十六日祭です。ごちそうを準備してきました。みんなでお召し上がりください。

でーい、けーらし ていー うさーし こっきー とーらりら。
さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

与那国

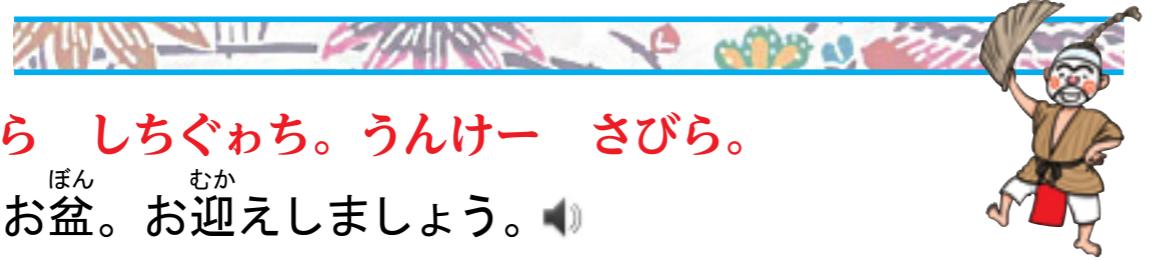
すーや どうぬくにてい。
ぶーる まどうん はがんき でーい。



すーや どうぬくにてい どう。うさい しくんき すんどう。
ぶーるし うやしわれ。

今日は十六日祭です。ごちそうを準備してきました。みんなでお召し上がりください。

でーい、ぶーるし ていー うさしてい、うさい たばらりるー。
さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。



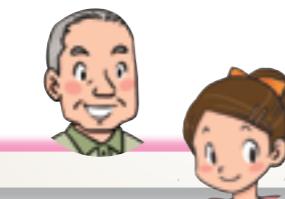
きゅうれき 旧暦の7月13日から15日までの三日間は、お盆が行われます。ごちそうをお供えして、ご先祖さまを供養する行事です。13日の初日は「うんけー（お迎え）」、14日は「なかび（中日）」、15日は「うーくい（お送り）」の日で、うちかび（あの世で使うお金）を燃やして、ご先祖さまをお見送ります。各地では、「エイサー」や「アンガマ」など、お盆ならではの催しも行われます。

ぶちらん
(仏だん)
とーとーめー
(位はい)



北部 ちゅーから しちぐわち。むけーらやー。

しちぐわちぬ うさぎむぬ
いいちやぎそーれー。
お盆のお供え物をお召し上がりください。
うんけー さーやー。
お迎えしましょう。



さんでー さーやー。
お供えしたごちそうをいただきましょう。
うーくい さーやー。
お見送りしましょう。



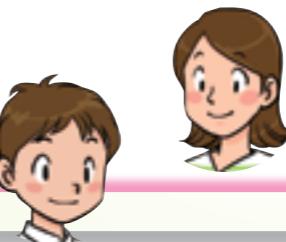
※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
×

モ

宮古 きゅーから しうとうがちう。んかいやー。



しうとうがちうぬ うさぎむぬー
んきぎさまち。
お盆のお供え物をお召し上がりください。
ずー、んかい。
お迎えしましょう。



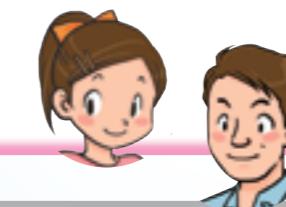
うさぎむぬー ふあー。
お供えしたごちそうをいただきましょう。
うとうもー すー。
お供えしましょう（お見送りしましょう）。



八重山 きゅーから そーろん んかよーら。



そーろんぬ しうこーりむぬ
おいしょーり。
お盆のお供え物をお召し上がりください。
んかよーらー。
お迎えしましょう。



すないだ むぬ（こつきー）
とーらりんどー。
お供えしたごちそうをいただきましょう。
うくる さーなーら。
お見送りしましょう。



与那国 すーがら する。んかるんどう。



するぬ まっちゃん うさい
うやしわれ。
お盆のお供え物をお召し上がりください。
する んかいうやい。
お迎えしましょう。



まっちゃん うさい たばらりる。
お供えしたごちそうをいただきましょう。
する うぐいうやい。
お見送りしましょう。



ちゅーや、ゐなぐちょーれーが

じゅーさんゆーえー。

ちゅらじん ゆー うちゃーとーんやー。

今日は、妹の十三祝い。きれいな着物が似合っているね。



数えの十三歳を迎えると、十三祝いの行事を行います。あなたの家や学校でも、十三祝いをしたことでしょう。比嘉家では、太郎くんの妹の夕希さんが、十三祝いを迎えていました。おしゃれをした妹はかわいいですね。みんなも自分の十三祝いを思い出したのではないか。

ちゅらじん うちやーとーくとう
さしんやーかい さしん ぬじーが いか。
きれいな着物が似合っているから、
写真館へ写真を撮りに行こう。

ちゅーぬ ゆーきーや,
いっぺー ちゅらさんやー。
今日の夕希は、とてもきれいだね。

※写真を撮ることは「ぬじゅん」の
他に「うつすん」ともいいます。

ちゅーや ゐなぐちょーでーぬ じゅーさんゆーいえー。
ちゅらぎぬ ゆー うちゃとん。

ちゅーぬ ゆーきーや, でーじな ちゅらはんやー。
今日の夕希は、とてもきれいだね。

ちゅらぎぬぬ うちやとくとう, 写真やーけ いじ 写真 とういが いかやー。
きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真を撮りに行こう。

ちやーちやーん あんまーん うっさぎさんやー。
お父さんもお母さんもうれしそうだね。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

きゅーや うとうとうぬ じゅーさんよーいいう。
かぎぎうんな ゆーどう ぱいぱい ういいうじゃー。

きゅーぬ ゆーきーや ありやみーん あぱらぎやー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

かぎぎうぬ ぱいーぱい ういば しゃしんやーんかい しゃしんぬ
とういうが いか。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真を撮りに行こう。

あんなまい、うやまい ふからしうきやー。

お母さんもお父さんもうれしそうだね。

きゅーや うとうどうぶなるぬ じゅーさんぬよい。
かいしゃーる きん にあいそー。

きゅーぬ ゆーきーや あっぱりしゃー そーらー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

きんぬ かいしゃーり にやーりきー しゃしん とうんな はら。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真を撮りに行こう。

びげーん(あっちゃん) ぶねーん(あっぱん) さにんしゃんがさー そーらー。

お父さんもお母さんもうれしそうだね。

すーや うとうとうぶないぬ どうーさんぬだい。
あびやる んなにんがどう まーてい んしゃる。

すーぬ ゆーきや, あらぐー あびやんがえー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

あびやる んなにんが まーてい んしゃるんがら,

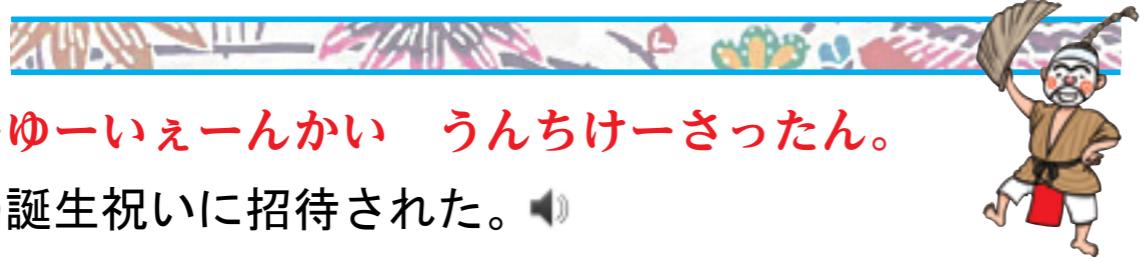
写真やんき 写真 とうんでい でい。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真を撮りに行こう。

いやん あぶたん あらーぐ しゃなぎどう わるんがえー。

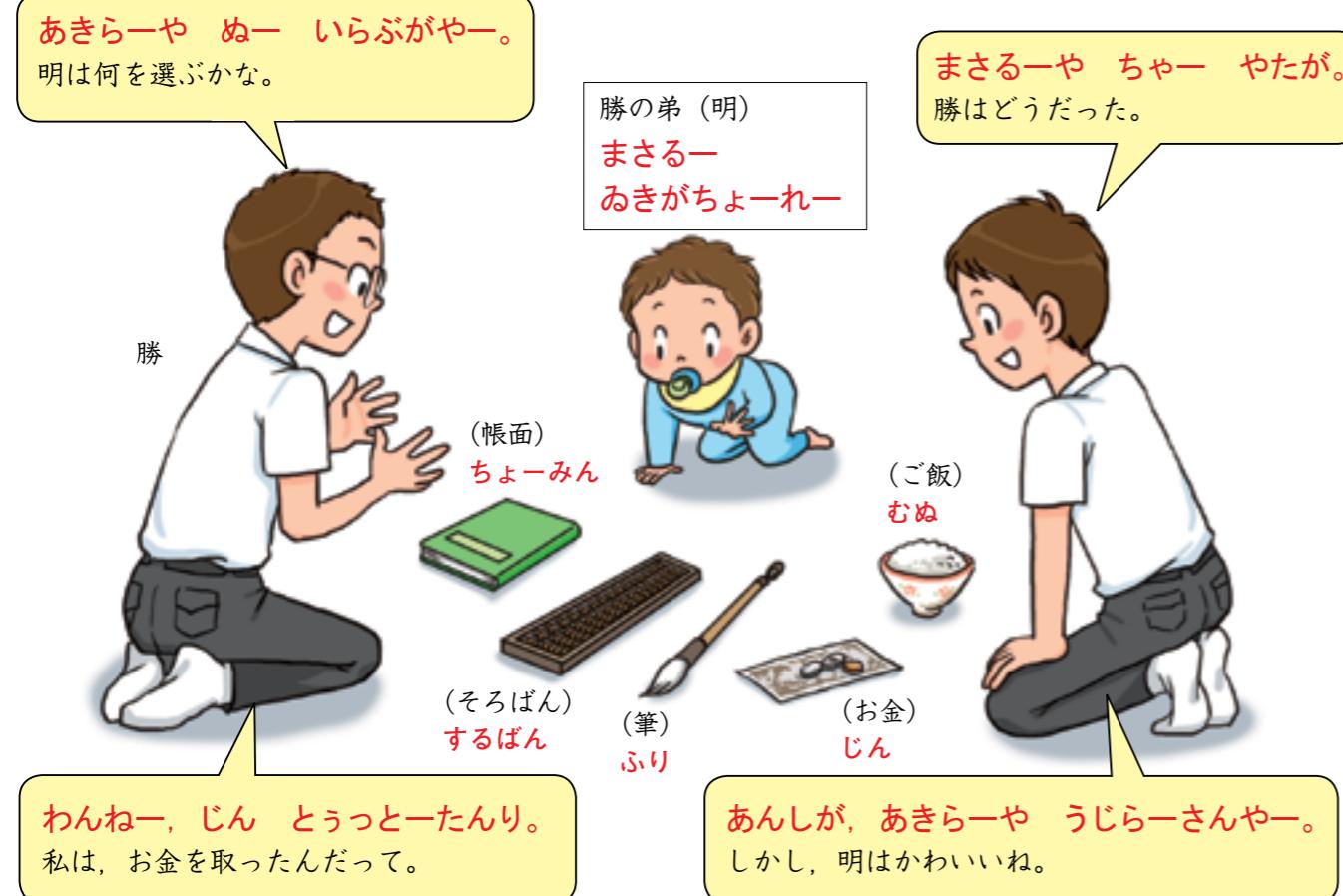
お父さんもお母さんもうれしそうだね。

沖縄では、自分の生まれた年と同じ干支を生まれ年といいます。丑年に生まれたら、その年が自分の生まれ年になるわけです。また、生まれ年にはお祝いをしますが、そのことを「とうしづー」といいます。ですから、十三祝いも「とうしづー」のお祝いになるのですね。十三祝いの次は、25歳で、そのあとは37歳、49歳、61歳、75歳、97歳になります。



たんかーゆーいえーんかい うんちけーさったん。
満一歳の誕生日祝いに招待された。♪

赤ちゃんが、満一歳の誕生日を迎えると、「たんかーゆーいえー」といって、誕生日祝いを行います。「たんかーゆーいえー」では、赤ちゃんの前にご飯やそろばん、ノートや筆などを置いて自由に手に取らせます。何を選ぶかによって将来の職業をうらうないながら、家族や親せきなどで祝います。あなたは何を選んだかな。家の人に聞いてみましょう。



北部 たつかゆーいえーけ ゆわっとん。

あきらや ぬーが とういるやー。
明は何を取るかな。
まさるや ちゃつち げーたる。
勝は、どうだった。

ちょーめん (帳面), ふでい (筆), じーにー (お金), するばん (そろばん), めー (ご飯)



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

宮古 たんかーよーいいうんどう あびらいたい。



あきらー, のーゆが いらびうがら。
明は、何を選ぶかな。
まさるー, のーしーが やたいう。
勝は、どうだった。

ちょーみん (帳面), ふでい (筆), じん (お金),
するばん (そろばん), まい (ご飯)

ばがどう じんぬ
とういゅうたいうていーぬ。
私はお金取ったんだって。
あしうが, あきらー いんがなしうきやー。
しかし、明はかわいいね。



八重山 たんかーよいかい ちうかさりだー。



あきらーや のーどう いらぶかやー。
明は何を選ぶかな。
まさるーや のーしどう うだかやー。
勝はどうだった。

ちょーみん (帳面), ふでい (筆), じん (お金),
するばん (そろばん), つんぽん (ご飯)

ばなー じん とうつたかやー。
私はお金取ったんだって。
やすんが, あきらー あつたらさーん。
しかし、明はかわいいね。



与那国 たんかぬ だいんき つかいらりたん。



あきらや, ぬーば いらぶかやー。
明は、何を選ぶかな。
まさるや, ぬんに ぶたんが。
勝は、どうだった。

ちょーみん (帳面), ふでい (筆), でいん (お金),
するばん (そろばん), い (ご飯)

あぬや でいんどう とうたるんでい。
私はお金取ったんだって。
いるんが, あきらや んだらんえー。
しかし、明はかわいいね。



んかしんちゅぬ いくとうば てーしちに しょー。
昔の人たちのことわざを大切にしなさい。



あわていーる なーかー よーんなー (うていちき)。

「急いでいる時こそ、ゆっくり（落ち着いて）。急いでいるときこそ、冷静に落ち着いて行動しなさい。」

・急がば回れ ・せいては事を仕損じる

れーじなたん。がっこー うくりーん。

大変だ。学校に遅れてしまう。



ふえーく うくちくいれーしむるむんぬ。
早く起こしてくれたらいいのに！



いすじ いちゅさ。
急いで行ってきます。

れーじなとーさ。かばん わしたん。
大変だよ。かばんを忘れてしました。



ちー ちきてい いきよー。
気をつけて行きなさいよ。



うんなとぅちえー あわていーる
なーかー よーんなーのやんろー。
こんなときは、落ち着いて行動するんだよ。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

くぬ ふかぬ いくとうば。 (この他のことわざ)

いくとうばや、てーしちな むん やんろー。 (ことわざは、大切なものです。)

たんめー、はんしーから ならてい んーりよー。 (おじいさんや、おばあさんから習ってみようね。)

●いちやりば ちょーれー。 (行きあえば兄弟)

「見ず知らずの人でも縁あって親しくなれば兄弟のようなもの。」

・そですりあうも他生の縁

●きらまー みーしが、まちげー みーらん。 (慶良間は見えるが、まつ毛は見えない)

「慶良間列島は見えるが、目に最も近いまつ毛は見えない。」

・灯台もと暗し

●ぬちる たから。 (命こそ宝)

「命はかけがえのない大事なものである。」

・命あっての物种

●やーなれーが ふかなれー。 (家での習いが、外でもそのままの習い)

「家でのしつけの悪いのは、よそでもその通り。家でのしつけは外でも自然に現れるもの。」

・氏より育ち

●いいーつちょー しんぐわんしん こーてい るし し。 (良い人は、千貫で買っても友とせよ。)

「良き友は、大金で買うほどの価値がある。」



※ (お金のこと)

むかしんちゅーぬ いちえぬ くとうや わっしていや ならんどー。

(昔のことわざは、忘れてはならないよ。)

●いっくわいなーる うすみじや ぬみる。 (一回こそ、塩水も飲む。)

「失敗は一回で十分である。繰り返してはいけない。(潮も水も同格で、苦くて欲しくないもののたとえ)」

・前車の轍は踏まず

●むぬ すそーに しーねー, うやふあーふじん すそーに すーすとぅ いいぬむぬ。

(物を粗末にしたら、親祖父母を粗末に扱うのと同じ。)

「物を粗末に扱うことは、祖先を粗末にするのと同じ。」

●かーみぬ くーよか とうしぬ くー。 (亀の甲より年の功)

「年長者の豊富な経験は、貴重で尊敬すべきものだ。」

・老いている馬は道を忘れず

●みみだいつまーぬ ちゅーくーやー。 (耳が垂れた馬(おとなしそうな馬)こそ、人を噛む。)

「温和しそうに耳を垂れている馬が、人を噛むものだ。(人は外見で判断してはいけない。)」



●あがいていだる うがみる。さがいていだや うがまん。

(上がる太陽を拝むもので、下がる太陽は拝まない。)

「明るいことにこそ、心を向けなさい。細かいことでくよくよしてはいけない。」

んきゃーん ぴうとうぬきゃーぬ
んきゃーんじゅくー だいじゅんすー。
昔の人たちのことわざを大切にしよう。



うむーちゅかー ふうぎうだき あしうちゅかー ひさだき。
思っているうちは首の高さ、やってみると足甲の高さ
※手をつける前は難しそうに見えても、実際にやってみると、案外たやすくできるものだ。



×

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

モ

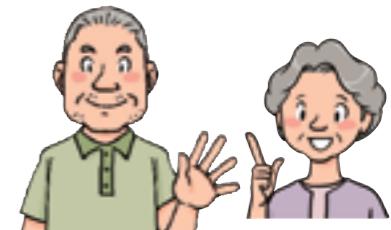
うぬ ぶかぬ んきゃーんじゅく。(この他のことわざ)

んきゃーんじゅくや、だいじゅなむぬ。

(ことわざは、大切なものです。)

しゅーたー、んまたーから ならい みーる。

(おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)



宮古

● ういびやー うちゅんかいどう ぶりいう。

(指は内側に折れる)

「五本の指が内側に折れるように、兄弟や親戚は、いざというとき協力して、事にあたるものである。」

・血は水よりも濃し

● ぴとうだすきやー どうーだしうき。

(人助けは 自らを助く)

「他人に対する援助は、結果として自分への援助として帰ってくる。」

・情けは人のためならず

● かなっさどう あばらぎさ。

(愛故に美しい)

「いとおしい心で見れば、可愛く美しく見える。」

・あばたも笑くぼ

● たかぎーんどう かじやー かかいう。

(高木に風はかかる)

「高い木には風が強く当たるように、優れた者は世間からとやかく言われる。」

・高木は風に折られる

・高木は風にねたまれる

● ぴうとうかたん かなう むぬぬどう、むむかたん かのー。

(一芸にかなう者が、百芸にかなう)

「一つの芸や技に秀でるもののは、他の分野でも能力を発揮するものである。」

● やまばとー どうーぬ ふうちゅんかいどう ふあーいいう。

(山鳩は自分の口に食われてる)

「余計なことを言わなければ、災いを招くことはない。」

・キジも鳴かずば撃たれまい

・口は災いの元





いー どうしう むちう たたみぬ ぴーりう ふむん, やな どうしう

むちうかー ちうななー ぱくん。

「善い友だちと仲良くすると畠の縁を踏む、悪い友だちと結ぶと縄目をかけられる（捕まること）」

たろー まーずん としょかんかい

はらぬ。きゅーぬ しゅくだい

まーずん さーでーー。

太郎。一緒に図書館行かんか。今日の宿題、

一緒にやろうぜ。



たろーとう げーむせんたーかい

はる かたみ しぇーすんが。

しゅくだいや あたらむぬ やりき,
くとうぱり くいー。

太郎たちとゲームセンターへ行く約束してるん
だけど。宿題が大事だから、断ってくるね。

①

②

あんじー。かんじー かんがいかー
みしゃーるすず。ならーしひやーり
にふあいどー。

そうか。こんな風に考えればいいのか。
教えてくれてありがとう。



いー どうしう むちうかー たたみぬ
ぴーりう ふむん, やな どうしう
むちうかー ちうななー ぱくん。

本当に、「善い友と親しく交わると畠の縁を踏むことができ、悪い友と交わると縄目をかけられる。」だね。

③

④

×

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

モ

うぬふかぬ むかしうむに。(この他のことわざ)

むかしうむに あたらさーる むぬ。

(ことわざは、大切なものです。) 注), むかしうむに(ことわざ)

うしゅまい んみーから ならい みーら。

(おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)



八重山

●うやぬくいやー かんぬくいで うむやー ゆー しゅきよー。

(親の声は神の声と思ってよく聞きなさいよ。)

●ゆくしむねー すーかー ぬすとうるぬ はじまるんどー。

うそ どろぼう
(嘘をつくと泥棒が始まるぞ。)

「うそをつくことが、やがては盗みにつながっていく。うそをつくことは、泥棒と同じように悪いことである。」

●かたちえー にばん きうむぬどう だいいちゅ。

(形は二番, 肝(きも)〈心〉が第一。)

●いじえーる むねーや ぬまるぬ。

(言った言葉はのまれぬ)

「口から出した言葉は、再び口の中へのみ込むことはできない。」

・口は災いのもと

・後悔先に立たず



●ふちうや やふぬ むとう。

わざわ
(口は災いのもと。)

●ぱりや ぬまるぬ。

(針はのまれぬ)

「小さいからといって、などってはいけない。」

さんよう つぶ
・山椒は粒でもピリリと辛い

●ふしぇー ぴとうぬ まりじょー。

しゅうへき
(習癖は、人の生まれ性分)

「人のくせというものは生まれつきのもので、年を取っても変わらない。」

・三つ子の魂百まで

●もーぎぬ たちうかー あーみぬ きんどー。

(虹の立っているところでは、雨が降っている)

「何か物事が発生するときには、必ず物事が起きる理由がある。」

んかち つとうんたぬ むぬぬたていや
あたらきりよー。

昔の人たちのことわざを大切にしよう。



どうとうまりる うゆびぬ なーまら あるんに, つとうにや なーなたが あいどう ぶる。

「一晩に生まれた指に長い短いがあるように、人には、人それぞれの性格がある。」

・十人十色



×

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

モ

うぬふがぬ むぬぬたてい。(この他のことわざ)

むぬぬたていや, あたらる むぬどー。 (ことわざは, 大切なものです。)

あさ, あぶんたがら ならいんにゆー。 (おじいさんや, おばあさんから習ってみましょう。)

●あとうなる むぬんがどう, うぶいゆ ふ。

(後になる者が、大きな魚を食べる)

「人に先をゆずって最後に残った人が、大きな魚を食べることがあるように、人に先をゆずれば、自分に福がやってくる。」

・残り物には福がある。

●いーむぬとー ちりたや いーならいき, だなむぬとー ちりがらや, だなないどう きる。

(良い人と付き合ったら良い習慣が身に付き、悪い人と付き合えば、悪い習慣が身に付く)

「交際する相手によって、人は感化されてしまう。」

・朱に交われば赤くなる。

●うやんが うむんに あがみんが うまぬん。

(親が思っているように、子どもは思っていない)

「親がどれだけの愛情を注いでも、子どもには伝わりにくいものである。」

・親の心、子知らず。

●ていん あがみがらや, かでい くんでいどう ある。

(空が赤くなってくると、台風がやってくる)

「天気のことわざ」

●みーみぬ まいぬどう, なたく。

(実らない稲の穂が頭を立てる)

「礼儀を知らないはいけない。」

・実るほど頭を垂れる稻穂かな。

●きーぬ まんがいや つかりるが つとうぬ まんがいや つかにぬん。

(木の曲がりは使えるが、人の性格の曲がった奴はどこにも使えない)

「もって生まれた性格や性質は、年を取っても変わることはない。」

・三つ子の魂百まで

●だーならいどう ふがならい。

(家の習いが、外での習い)

●はいない にちない, どうつたい かつたい。

(南か北か、どちらかわからない)

「決断力がなく、いい加減な人を言い表すことば。」





うまんちゅぬ くくるむち ちたゆる くとうば。
みんなの気持ちを伝える言葉。

しまくとうばには、私たちの気持ちを表す言葉が数多くあります。中でも「ちむ」は、心の意味で多く使われており、沖縄の人々の優しさを表しています。「ちむ」のつく言葉には、どのようなものがあるか調べてみましょう。

ちむぢゅらさん。

心が清らか。



ちむふじゅん。

心が満ち足りる。



※他にも「ちむしからーさん（心さびしい）」「ちむやむん（心が痛む）」「ちむわさわさーすん（胸さわぎがする、心が浮き立つ）」「ちむの一いん（機嫌が直る）」など、たくさんあります。

わね むんどりぬ くくるむち
ちてーる くとうわ。



きむぢゅらはん。
心が清らか。

きむがなはん。
心からかわいく思う。

きむ ふいじゅん。
心が満ち足りる。

きむ やみん。^{いた}きむぐろはん。
心が痛む、かわいそう。

きむしからはん。
心さびしい。

きむ さーすん。
胸さわぎがする。

きむ のーいん。
機嫌が直る。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

ばんたがー んーなが
きうむ あらーしゅ くとうば。



きうむ やば。 心やさしい。

きうむぬ すぐから

かなしうつさいでう うむいう。

心からかわいく思う。

きうむ んていーんてい。

心が満ち足りる。

きうむぬどう やむ。ちうんだらーしゅ。

心が痛む。かわいそう。

きうむさがい。

(きうむ さびうしうむぬ)

心さびしい。

きうむ やむ。 心が痛む。

んみ とうとうみきう。

胸騒ぎがする。

きうむ のーいう。

機嫌が直る。

ばがだー けーらぬ
うむいゆ つたいる くとうば。



きうむぬ やふあさーん。

心やさしい。

きうむから かなさーん。

心からかわいく思う。

きうむ ふぎるん。 心が満ち足りる。

きうむんぐりしゃーん。

かわいそうである。

きうむしかさーん。

心さびしい。

きうむぬ やむん。 心が痛む。

きうむあーりう、きうむさわぎう。

胸騒ぎがする。

きうむ のーすん。

機嫌を直す。

ばんた ぶーるぬ くぐるむてい
とうんきる くとうば。



くぐる なだやしく。 心やさしい。

くぐるがら あたらき うむい。

心からかわいく思う。

ちむ んてい たらし。

心が満ち足りる。

ちむ だーみ, ちむりさ。

心が痛む、かわいそう。

ちむ さびつつあー。

心さびしい。

ちむ だーみ。 心が痛む。

ちむ ささらんてい。

胸さわぎがする。

きんがい ぬい。

機嫌が直る。



うた ちゅくてい んーら。♪
歌 (琉歌) を作ってみよう。

ここで、うたとは琉歌のことをいいます。琉歌とは8・8・8・6音のリズムを持った歌のことです、古くから沖縄の人々に親しまれ、歌い継がれてきました。

わったー しまんかい ちたーとーる うた しらびてい んーら。
私たちの故郷に伝わっている歌 (琉歌) を調べてみよう。

例えば、小さいころによく歌っていた「ていんさぐの花」の歌詞も琉歌で、8・8・8・6音の形式になっています。

ていんさぐぬはなや (8音) ちみさちにすみてい (8音)

うやのゆしぐとうや (8音) ちむにすみり (6音)

みなさんも、自分の地域のことを歌っている琉歌を調べて、自分で作ってみませんか。



まじえー うたぬ 碑 とうめーてい
んーら。

まずは琉歌碑を探してみよう。



北部 (久志) うた とうくてい んだー。



いが しまけ ぬくとぬ うた しらびてい んだー。
私たちの故郷に伝わる歌 (琉歌) を調べてみましょう。



まじや、うたぬ ふいー とうめーてい んだー。
まずは、歌の碑文を探してみましょう。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

〈一ロメモ〉



琉歌とは、ヤマトで作られる5・7・5・7・7音のリズムで作られる和歌 (短歌) に対して呼ばれる、沖縄独特の歌の形です。基本的には8・8・8・6音のリズムで歌われており、サンパチロクと呼ばれます。8音というのは、なじみがないうように思われますが、しまくとうばだと、しつくりくるリズムなのです。また、琉歌は単に歌をよむだけではなく、三線などに合わせたメロディーに乗せて歌われるのが大きな特徴です。古典音楽や民謡なども、この琉歌のリズムで歌われることが多いので、身近な歌を調べて琉歌のリズムを楽しんでみてはいかがでしょうか。りっか うた ちゅくてい んーら。(さあ、琉歌を作ってみよう。)

北部

いじゅぬ きぬ はなや あん ちゅらさ さちゅい
(伊集の木の花や あんきよらさ 咲きゆり)

わぬん いじゅ やとうてい ましら さかな
(わぬも伊集のやとて 真白咲かな)

～読み人知らず～



意) 伊集の木の花は、あんなにもきれいに咲いている。

私も伊集の木の花のように、真っ白にきれいに咲きたいものだ。

中部

ふばな さち でいりば ちり ふいじん ついかぬ
(穂花咲き出れば ちりひじもつかぬ)

しらちゃにや なびち あぶし まくら
(白ちゃんねやなびき あぶしまくら)

～赤犬子～

意) 稲の穂花が咲き出すと、ちりや泥一つつかずによく育ち、豊かに実った稲穂は、大粒の実を支えきれずにあぜを枕にしている。赤犬子は約400年前の人で、三線で歌を始めた人だといわれている。彼は三線もうまく美声の持ち主でもあり、予祝 (願い) の歌を得意とし、各地を渡り歩いてうたったといわれている。この琉歌も稲の豊作を願った予祝の歌なのである。



南部

あしみじゅ ながち はたらちゅる ひとぬ
(汗水流ち 働ちゅる人ぬ)

くくる うりしさや ゆすぬ しゆみ
(心 うれしさや 他所ぬ 知ゆみ)

～中本稔～

意) 汗水流しながら、一生けんめい働く人の、その心に感じる喜びは、働く喜びを詞を募集したところ、具志頭郵便局長であった中本稔の歌詞が当選したものである。





宮古

ばんたが しゅまぬ あーぐう

まーちうき つっふあ。

私たちの故郷の歌を、一緒に作りましょう。



ばんたが しゅまん んきやーんから あいう あーぐう しらびみー。
私たちの故郷に伝わる歌を調べてみよう。



まっざー あーぐぬ ひぶんぬ とうみみー。
まずは、歌の碑文を探してみよう。

<なりやまあやぐ>

サー なりやまや なりていぬ なりやま
すうみやまや すうみていぬ すうみやま
イラユマーン サーヤース すみていぬ すみやま

宮古を代表する民謡のひとつ「なりやまあやぐ」の一番の歌詞です。
その意は、「慣れているヤマへ行っても染まって（油断）してはいけませんよ」と教訓的な歌詞となっています。



八重山

ばがーしゅま うた まーぞん ちゅくらー。
私たちの故郷の歌を、一緒に作りましょう。



ばがーしゅま うた
しらびらー。
私たちの故郷に伝わる歌を
調べてみましょう。



まじゅ うた ひむん
とうめーむら。
まずは、歌の碑文を探して
みましょう。



<赤馬節>

赤馬ぬ いらすざ (赤馬の、ああ うらやましいことよ)

足四ちゃぬ どうきにやく (足四ちゃ (赤馬) の冥加なことよ)

生りるかい 赤馬 (生まれる甲斐ある 赤馬よ)

産でいるかい 足四ちゃ (育てる甲斐のある 赤馬よ)

沖縄主に 望まれ (琉球国王に望まれ)

主ぬ前に 見のうされ (琉球国主のお召馬になった)

いらさにしや 今日ぬ日 (ああ よろこばしい 今日の日よ)

(ヒールガヒ)

どきさにしやくかに日 (とてもうれしい 黄金の日よ)

(ヒールガヒ)

羽生いるだきだら (羽が生えて飛び立つくらい うれしいよ)

×

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

モ

7 ことわざ・言葉

与那国

ばんた ちまぬ うた, まどぅん つくいんだぎ。

私たちの故郷の歌を、一緒に作りましょう。



ばんた ちまに ちたわる うた ちらびんぬー。

私たちの故郷に伝わる歌を調べてみましょう。



までいや, うたぬ ひむん みきんぬやー。

まずは、歌の碑文を探してみましょう。



<どなんスンカニ>

一. ゆなぐにぬ なさぎ いくとうばどう なさぎ
ぬていぬ ある あいや とうやい しゃびら
(与那国の情 言う言葉が情
命のある間はおつきあいしましょう)

三. なんたはま うりてい むちやる さかじきや
みなだ あわ むらし ぬみぬ ならぬ
(なんたはま 波多浜下りて 持った盃は
さかじき 泪泡盛らし 吞むことが出来ない)

二. ゆなぐにぬ とうけや いきぬ みじぐくる
くくうる やしやしとう わたてい いもり
(与那国の渡海は池の水心
心安々と渡っていらっしゃい)



<一口メモ>



宮古や八重山・与那国の中の三つの地域には、多くの優れた歌が歌い継がれて
います。しかし、どちらも同じ分野の歌が伝わっているのではなく、それぞれ
に特徴があります。

宮古は「歴史の島・伝説の島」と呼ばれていることからわかるように、歴
史的な事実や事件を、ありのままに壮大に歌い上げた歌謡が特徴です。

八重山・与那国は、「詩の国・

歌の国」と呼ばれているように、たくさんの歌がよまれ、
歌い継がれてきました。その中には、自然を大らかに歌
い上げているものや、恋心など自分の感情を素直に歌い
表したもの、歴史的なことを歌ったものなどがあります。

自分たちのしまくとうばで、自分たちのシマの歌を味
わってみることもいいでしょう。



↑とうがにあやぐ歌碑 (宮古)

琉歌とは、琉球の歌または、琉球歌謡の略語で、うたわれる形式によって長歌、短歌、仲風、つらねなどに分けることができます。その中で、もっとも好まれた形式が短歌で、普通に琉歌という場合は、この短歌を指していると考えてよいでしょう。

短歌は、8・8・8・6音の30音形式になっています。例えば、小さいころによく歌っていた「ていんさぐの花」の歌詞も琉歌で、8・8・8・6音の形式になっています。

ていんさぐぬ はなや (8音) ちみさちに すみてい (8音)
うやの ゆしぐとうや (8音) ちむに すみり (6音)
琉歌は、昔の人々から今の人々に受け継がれ、現在でもさかんにうたわれています。
ここでは、歌碑に刻まれるなど、人々に親しまれてきた琉歌をいくつか紹介します。



↑恩納ナベの琉歌が刻まれた歌碑

うんなどき あがた さとうが つんまりじま

(恩納岳あがた 里が生まれ島)

むいん うしぬきて くがた なさな

(もりもおしのけて こがたなさな)

～恩納ナベ～

意) 恩納岳の向こう側は、いとしいあなたの生まれた村である。山をおしのけてその村をこちら側に引き寄せたい。恋をする女性の恋人を想う激しい心が、恩納岳という不動の自然をも動かしそうな力で迫ってくる様が感じとれる。

なみぬ くいん とうまり かじぬ くいん とまり

(波の声も止まれ 風の声も止まれ)

しゅゆい ていんじやなし みうんち をうがま

(首里天がなし みおんき拝ま)

～恩納ナベ～



↑恩納ナベの琉歌が刻まれた万座毛の歌碑 (裏に歌詞が刻まれている)

意) 波の声も止まれ、風の声も止まれ、すべてのものよ静まれ。さあ、みんなして国王をお迎えし、拝もうではないか。万座毛に立ち寄った琉球国王をたたえた歌である。岸壁に碎ける波の音に止まれと命じ、松にさわぐ風に止まれと命じる。作者の気迫が感じられる。

うんな まついしたに ちじぬ

ふえぬ たちゆし

(恩納松下に 禁止の碑の立ちゆす)

くい しぬぶまでいぬ ちじや ねさみ

(恋忍ぶまでの 禁止やないさめ)

～恩納ナベ～

意) 恩納番所前に松の木があり、その下に禁止令を書いた高札が立っていることよ。まさか、恋をするなという禁止はないだろう。

農村の希少な娯楽であった伝統的な遊び(シヌグ)が、首里王府によって禁止された事に対して、自由ほんぽうなナベが人間の自然のあらわれとしての恋愛を禁止するものではないと嘆いた歌である。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

7 ことわざ・言葉

＜一口メモ＞ -女流歌人「恩納ナベ」と「よしや」-

数多い歌人の中でも、たくさんの人々に親しまれている「恩納ナベ」と「よしや」は、琉歌の二大女流歌人といわれています。

恩納ナベは、18世紀の前半、尚敬王時代(1713~51年)の人だといわれている伝説の歌人で、今の恩納村の恩納岳のふもとに生まれたといわれています。

よしやは、1650年、今の読谷村に生まれ1668年に没したといわれている伝説の歌人で、短い18年の生涯であったと伝わっています。幼くして遊郭に身売りされますが、その境遇の中で和歌の影響を受けたすぐれた恋の歌を多く残しました。

恩納ナベの歌には対象に強く働きかけるほんぽうさが感じられ、よしやの歌には恋の歌に限らず、悲しく切ない気持ちをこめた歌が多く見られます。



うらむ ひじやばしや なさき ねんふいとうぬ

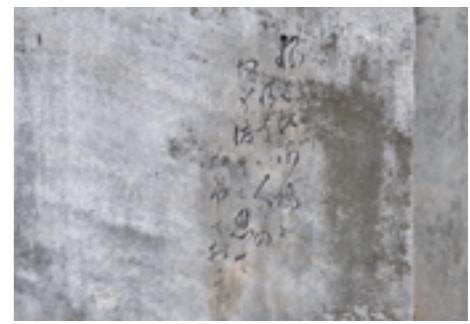
(うらむ比謝橋や 情けない人ぬ)

わん わたさ とうむてい かきてい うちやら

(わぬ渡さともて かけておきやら) ～よしや～

意) うらめしい比謝橋は、私を渡そうと思って、情けを知らない人がかけておいたのだろうか。

「うらむひじやばしや わんわたさとうむてい なさけねんふいとうぬ かきていうちやら」とも歌われています。



うゆばらぬ とうみば うむいます かがみ

(及ばらぬとめば 思ひ増す鏡)

かじやちよん うちゆち をうがみ ぶしやぬ

(影やちやうもうつち 拝みぼしやの)

～よしや～



意) とうてい及ばない身の恋と思うと、かえって思いがつのてくる。せめて、あの人の面影だけでも鏡に映して、お姿を見たい。伝説では、よしやの恋の相手は士族で正妻がいる人で、遊女であるよしやとは身分が違いますために、及ばぬ恋のはかなさとつの想いをあらわした歌となっている。

うどうるくな あささ

くわゆんでいや あらん

(おどろくなあささ 食はゆんでやあられ)

ちむがなしや あていどう

だちや んちやる

(肝かなしやあてど 抱きや見ちやる)

～よしや～

意) 蟬よ鳴いてくれるな、お前を取って食おうというのではない、心底かわいいと想うから手に取って抱いてみただけだよ。

人間によってどうにでもされる弱い存在の蝉に、悲しい境遇の自分を見てしまう作者の気持ちが読み取れる歌である。よしやが蝉に呼びかける声には切ないものが感じられる。



琉歌は、国王や政治家、文学者、遊女、農民にいたるまで、いろいろな階層の人々がよみ、うたい親しんでいます。うたわれている内容も様々で、政治家としての信念をよみ込んだ歌。恋の歌もあれば、自分ではどうにもならない身上を嘆いた歌もあります。

他にも、豊作を祈ったり、人々の願いを歌にこめるなど、人々の心の中からにじみ出てきた心情が、そのまま琉歌の中にうたいこめられています。

ふみらりん しかん すしらりん しかん

(ほめられも好かぬ そしられも好かぬ)

うちゆ なだやしく わたいぶしやぬ

(浮世なだやすく 渡りぼしやの)

～名護親方龍文～



意) ほめられることも好まない。悪く言われることも避けたい。

人生はただ平穀無事に過ごしたいものだ。

名護親方(1663～1734年)は、唐名を程順則といつた。儒教を通して教育の普及に力を尽くし、品位と徳が高かったので、名護聖人と呼ばれた。すぐれた人物の人生上の一つの態度として、次の蔡温の歌とよく比較され論じられる。

蔡温が描かれた切手→



ふまり すしらりや ゆぬなかぬ ならい

(ほまれそしられや 世の中の習ひ)

さたん ねん むぬぬ ぬ やく たちゆが

(沙汰もないぬ者の 何役立ちゆが)

～具志頭親方文若～

意) ほめられることや悪口を言われることは、世間ではよくあることで気にすることはない。世に取りざたされることもない人が、どうして世の中の役に立つことが出来ようか。

具志頭親方(1682～1761年)は、唐名を蔡温といい、尚敬王の時代の三司官として政治や経済・産業に大きな力を發揮した。蔡温と程順則は同じ時代に活躍した人物だが、その時代の琉球は薩摩の支配下にあり、財政的に苦しい時代であった。同時代に生きた二人の性格が対照的であるのがおもしろい歌である。

なぐぬ うふがにく

(名護の大兼久)

うま はらち いしょしや
(馬走らち いしょしや)

ふに はらち いしょしや
(舟はうち いしょしや)

わ うらどまい

(わ浦泊)

意) 名護の大兼久にある馬場で、馬を走らせるうれしさよ。

名護の海で、舟を浮かべることのうれしさよ。

※名護の人々が、馬を走らせたり、舟で遊んだりすることの喜びをあらわしている歌である。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

7 ことわざ・言葉

きゆぬ ふくらしやや なううにじやな たている

(今日のほこらしやや なをにぎやなたてる)

ちぶでい をる はなぬ ちゆ ちゃたぐとう

(つぼでをる花の 露きやたごと)

～読み人知らず～

意) 今日のうれしさを何にたとえようか。まるでつばんでいる花が露に出会い、開花する時のよろこびそのものだ。

この歌では、花が露と出会いうことによって、開花することを最上のよろこびとして、たとえに用いている。露が花にかかる清らかな姿への感動も素朴なよろこびに満ちている。「かぎやで風」の音曲にのせて、祝い事一般においてうたわれる。



じやじち いたびしに うちやい ふいく なみぬ

(謝敷板千瀬に うちやり引く波の)

じやじち みやらびぬ みわれ はぐち

(謝敷めやらべの 目笑ひ歯茎)

～読み人知らず～



意) 謝敷の海岸の板千瀬に寄せたり引いたりしている波は、謝敷の娘たちが笑いざわめいているときの口元の、あの白い歯ならびを想わせる。

謝敷(国頭村)の景観の美しさをいうと同時に、村の娘たちの美しさもたたえた、いわば土地ばめの歌である。そこには自然と一体となった精神を見ることが出来る。



からや ちじ ぬぶてい まふえ んかてい みりば

(瓦屋つぢのぼて 真南向かて見れば)

しまぬらどう みゆる さとうや みらん

(島の浦ど見ゆる 里や見らぬ)

～読み人知らず～

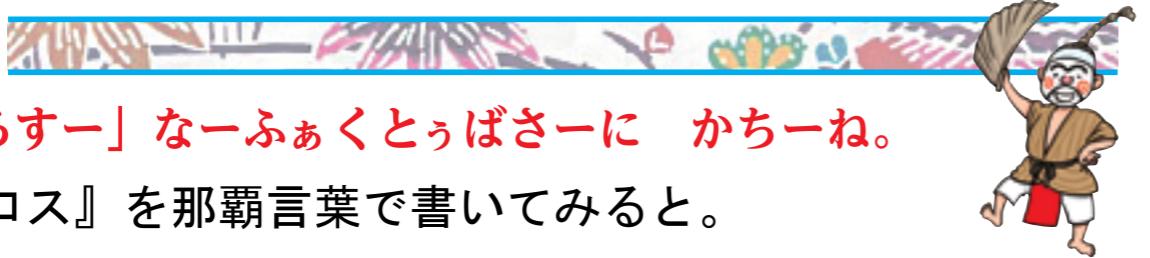
意) 瓦屋(瓦を焼く地域に対する呼称)の丘の上に登って、南の方を見ると、村の風景が見えるだけで、いといしい人の姿は見えない。朝鮮人の陶工が帰化して瓦製造をしたとき、夫がいる美女を見初め妻とした。無理に引きされた女は、故郷の夫を想いこの歌を読んだといわれている。

〈一ロメモ〉 -読み人知らず-

琉歌の作者としては、読み人知らずとなっているものが圧倒的に多く、『琉歌全集』には3000首の琉歌が収録されていますが、そのうち作者が明記されているものは1315首で、300人ほどの作者がいたことが分かっていることです。

一般的に、読み人知らずの歌は風土性が豊かでおおらかで素朴であるのに対し、士族の歌は、観念的、技巧的で和歌文学の影響が多く見られる歌が多いといわれます。





「走れめろすー」なーふあくとうばさーに かちーね。
『走れメロス』を那覇言葉で書いてみると。

みんなが、授業で使う教科書。その教科書に収録されている作品もしまくとうばで表現することができます。このページでは、ずっと以前からみなさんに親しまれている『走れメロス』をしまくとうばで表現してみました。教科書に掲載されている原文と引き合わせて、しまくとうばならではの世界を楽しんでみましょう。

めろそー れーじな わじとーん。かんなじ、あぬ 邪知暴虐ぬ をー
とうつてきるきらんとー ならんり うみちちゃん。めろすねー せいじー わからん。
めろそー、むらぬ 牧人 やる。笛ふち、ひちじとう あしろーてい くらちょーたん。
やしが 邪悪んかいてーしてー、ふかぬちゅやかー れーじな 敏感やたん。

メロスは激怒した。必ず、かの邪知暴虐の王を除かねばならぬと決意した。メロスには政治がわからぬ。メロスは、村の牧人である。笛を吹き、羊と遊んで暮らしてきた。けれども邪悪に対しては、人一倍に敏感であった。

ふいちゅいぬ ふなぐわらび、あかさるマント めろすんかい ぬしきたん。
めろそー とうぬーまぬー。いいーるしぇー ちー ちかさーに ならーちゃん。
「めろす、つやーや、まるはらか えーさに。ふえーく うぬマント ちーしぇー まし。
くぬ すーらさる ふなぐわらべー、めろすぬ はらか、んーなんかい んーらりーしぇー、
いっぺー はじかさんり うむたん。」いじじゅーや じこー あかじらーなたんり。

ひとりの少女が、緋のマントをメロスにささげた。メロスはまごついた。良き友は、気を利かせて教えてやった。

「メロス、君は、真っ裸じゃないか。早くそのマントを着るがいい。このかわいい娘さんは、メロスの裸体を、皆に見られるのが、たまらなくやしいのだ。」勇者は、ひどく赤面した。

太宰治著『走れメロス』青空文庫参考

北部 『はしれメロス』くしくとうわち かち んだー。

メロスや でーじな わじたん。かんなどう、あぬ 邪知暴虐ぬ 王ぬ ぬち
とうらんなね ならんでいち きみたん。メロスや 政治や わからん。メロスや,
村ぬ 牧人 いえーたん。ふあんそー ふち、羊とう あすでい くらち つちゃん。
いえーすが、邪悪にちきていや ちゅーいちべー 敏感 いえーたん。

ちゅいぬ ふなぐわらぬ あかぬ マントー メロスけ さしいじやちゃん。
メロスや うどうるちゃん。どうしや きー ちかてい ならーちゃん。
「メロス、つやーや、まるばい しちょん。ふえーく マントー きれー。うぬ
ちゅらはぬ ふなぐんぐわや メロスぬ まるばい むぬけ みらりすが,
でーじな ふあどうこはん。」勇者や でーじな あかどうら なたん。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。
モ

宮古

「走れメロス」つう みやーくふうちゅうし かき みーちゅかー。

めろっさ んにや ばたー。ふうさりゅーたい。かならず、かぬ やなざいぴう
とう だまがらす おーゆばー, ぶか なさだかー ならんてい きみたい。
めろすんな せいじやー すっさいん。めろすっさ さとうぬ ぼくじんどう やい。
ぴーや ふうき ぴつとう あすびい。くらしどう きうしうた。あしうがどう
やなざい ぐとうんかいや ぴうとうぬ ばいまい かんずーむぬどう やたい。

たうきやーぬ みどうんやらびぬどう, あかーあかぬ まんとう めろすんかい
うさぎ とらすたい。めろすっさ どうまつづいぎいたい。ぞー どうつさ, しょーつ
つあまーり ならーし とうらしうた。『めろす, つづあー, あかばだかん なり
どう ういうつざあらんな。ぴやーまり, うぬ まんとう きし。うぬ あぱらぎみ
どうん つづああ, めろすぬ ぱだこー んーなん みーらいすーどう ありやーみー
んにや みぱなー あかーあかしー きいむぐりーぐりん なり うた。

八重山

「走れメロス」しうまむにし かきみよーら

めろすや くんじょーくれー。やでーん あぬ ばたふさりむんゆ おー
ぬきなすんで きめーだ。めろすや, 政治や しいさぬ。めろすーや, むらぬ
牧人どう やりき。ぴーふき, ぴつとう あさび くらしだ。やすんが
やなむぬ かいや たろーやかん かんばいしやーだ。

びとーりぬ みーどうなーぬ, あかまんと めろすかい おいすだー。めろすや
ざまどうり。いー どうすおーや, きーきかし あんくだ。
「めろす, わなー, ぱだがー あらんば。ペーぐ まんと きすそー ます。くぬ
かなさーる みーどうなーや, めろすぬ ぱだがーゆ, むーるかい みらりすどう,
のーやかん, くちさーる。」ゆうじやや でーじう あかうむてい すん。

与那国

『走れメロス』どうなんむぬいし かていん あしや。

めろすや にぐらるた くんどうんでいぶたん。かなーでい, かぬ 邪知暴虐ぬ
おーや とうい つかっていらぬとう ならぬんでい, ちむに きみやん。
めろすや 政治や ばがらぬん。めろすや, むらぬ 牧人どう あたる。
ふいば つていー 羊とうどう あんびー くらし すたる いるんが, 邪悪んき
たいしていや つとうぬ ぱい びんかんどう あたる。

つとうぬ みぬんがあがみていんが, あかぬ マントー, めろすんき さしんだたん。
めろすや とうまどういきたん。いーどうちや, きー きかしてい, つたみとうらたん。
「めろす, んだや まるはだか あらぬない。はやぐ うぬ マントー ちえー。うぬ んだら
る みぬんがあがみていや, めろすぬ まるはだが むーるに んなりるんすんがどう,
ぬーかん だんさる。」勇者や, しかつとう あかちら なたん。



なーふあくとうば ちかてい んーら。

那覇言葉を使ってみよう。



これまで、いろいろなしまくとうばの使い方をみてきました。でも、しまくとうばは、実際に使ってみなければ、身に付きません。そこで、これまで学んできたしまくとうばを使って、実際にしまくとうばを使ってみませんか。

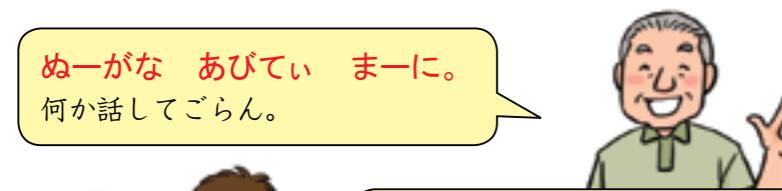
まずは、自己紹介から始めてみましょう。



わんねー なーふあ たろう やいびーん。
ちゅーがっこーぬ ににんしー やいびーん。
私は、那覇太郎です。中学校の2年生です。



ぬーがな あびてい まーに。
何か話してごらん。



ちゅーや いいー つわーちち やぐとう まじゅーん
あしひーが いか。
今日は良い天気なので、一緒に遊びに行こう。



ちゅーや あみ ふとーぐとう、まじゅーん びんちょー さな。
わんにんかいん、なーふあくとうば ならーち とうらさに。
今日は雨が降っているから、一緒に勉強しよう。
私にも那覇言葉を教えてちょうだい。



北部 くしぬくとうわ とうかてい んだー。



わー なーや くしたるー。ちゅーがっこー2年生。
私の名前は久志太郎です。中学校2年生です。

ぬーげら ふあなし しち んでー。

何か話してごらん。

ちゅーや いいー つわーとうき いえーくとう、まんなな あすみが いかー。
きょうは良い天気なので、一緒に遊びに行こう。

ちゅーや あみ ふとくとう、まんなな べんきょー さー。

きょうは雨が降っているから、一緒に勉強しよう。

くしくとうわ ならーち とうらしえー。

久志言葉を教えてちょうだい。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

×

モ

宮古 みやーくふうちゅう つかいみー。



ばがなーや みやーく たるー。ちゅーがっこーににんしー。

私の名前は宮古太郎です。中学校の2年生です。

のーがらーゆ ぱなし みーる。何か話してごらん。

きゅーや かぎ わーちゅうきゅう やーば まーちゅうき あすぴうが ずー。
今日は良い天気なので、一緒に遊びに行こう。

きゅーや あみぬ つぶい ういば まーちゅうき べんきょーすー。
きょうは雨が降っているから、一緒に勉強しよう。

みやーくふうちゅう ならーしゅ ふいーる。
宮古言葉を教えてちょうだい。

八重山 しゅまむに いじみやーむー。



ばー なーや いしがき たろーゆー。ちゅーがっこーにねんしえいゆー。

私の名前は石垣太郎です。中学校の2年生です。

のーんがさ いじ みやーみーり (いじみーり)。

何か話してごらん。

きゅーや おーつき かいしやーりき まーずん あさぴな はら。
今日は良い天気なので、一緒に遊びに行こう。

きゅーや あーみぬ ふいりき まーずん びんきょー さー。
今日は雨が降っているから、一緒に勉強しよう。

しゅまーむに ならーし ひーりや。八重山言葉を教えてちょうだい。

与那国 ちまむぬい つかいんぬー。



あんがなーや どうなんたるーゆ。ちゅーがっこー2にんしどう ない ぶる。

私の名前は与那国太郎です。中学校の2年生です。

ぬー あるばん はなしきー んにに。

何か話してごらん。

すーや いー わしきどう ありやー, まどぅん あんびんでい でーー。
今日は良い天気なので、一緒に遊びに行こう。

すーや あみどう ふいぶるんがら まどぅん びんきゅ きるやー。

今日は雨が降っているから、一緒に勉強しよう。

ちまむぬい ならし とうらしんに。与那国言葉を教えてちょうだい。

この本に出てくるしまくとうば

ここでは、この本に出てきた「しまくとうば」を、共通語だとどんな意味で使われているのかを調べることができます。「しまくとうば」は、中南部那覇市の那覇言葉、北部名護市の久志言葉、宮古島市の平良言葉、八重山石垣市の四箇言葉、与那国町の祖納言葉の5つに分けてのせました。

ここでは、共通語の意味を本に出てきた内容だけをのせていました、「しまくとうば」は、使い方や前後の表現でもいろいろな意味を持つ場合がありますので、ここに出てくる共通語の意味だけが全てではありません。

他にどんな使い方や意味があるのか、周りの人に聞いてみたり調べてみたりすることをおすすめします。



中南部（那覇言葉）

あ

あーけーじゅー トンボ (36)

あいえー ああ (68)

あいびーん あります (46・47)

あかぎ アカギ (34)

あかさる 赤の (96)

あかじらー 赤面 (96)

あかばなー ハイビスカス (34)

あがやー あるかな? (30・44)

あかんぐわ 赤ちゃん (8)

あじ 按司 (47)

あしばな 遊ぼうぜ (20)

あしばな 遊ぼうよ (32)

あしばりーん 遊べる (30)

あしひ 遊び (30)

あしひ どうくる 遊び場 (47)

あしひーが 遊びに (98)

あしぶが 遊ぼうか? (20・32)

あしろーてい 遊んで (96)

あたとーたくとう

合っていた (28)

あたびちやー カエル (36)

あちやー 明日 (24)

あちやーやーさ (た) い

明日ね (24)

あびてい 話して (98)

あま あそこ (38)

あまくま いろんな所 (46)

あまわり 阿麻和利 (47)

あみ 雨 (98)

あらたまぬ とうしに 新年に (67)

あらわする 表す (10)

ありくり いろいろな物 (32)

ある かかと (11)

あるはじ あると思う (30)

あわていーる なーかー

急いでいる時こそ (78)

あんし そして (28)

あんしぇー

それでは (26・30・32・38・44)

あんしが しかし (76)

あんまー お母さん (8・74)

あんやみ そうか (30)

い

いー

はい (目下の人に対する場合)
(18・20・32・56)

いいー

良い (16・28・38・42・66・
79・96・98)

いいーつちょー 良き友は (79)

いいーるしー 良き友は (96)

いーび 指 (10)

いーる ～という (46)

いか (な)

行こう (26・30・32・42・56・
57・70・74・98)

いきよー 行きなさいよ (78)

いくとうば ことわざ (78・79)

いけー 行けば (30)

いさとうー カマキリ (36)

いじ 意地 (46)

いじじゅー 勇者 (96)

いじゅ イジュ (34)

いすじ 急いで (78)

いちむし 動物・生き物 (47)

いちゃびーが 行きますか (42)

いちゃびら 行きましょう (42)

いちゃりば 行きあれば (79)

いちゅさ 行ってきます (78)

いちゅしや 行くのは (47)

いちゅび

リュウキュウバライチゴ (34)

いちゅん 行く (16・26・38)

いっち 入って (46)

いっぺー

とても (たまらなく) (74・96)

いやびーん いいます (47)

いらぶ 選ぶ (44・76)

いりーが 入れようかなあ (32)

いりーぶさっさー 入れたいなあ (32)

いるんな いろいろな (42)

いん 犬 (8)

う

うー

はい (目上の人にに対する場合)
(12・18・24・26・38)

うーー バショウ (34)

うーくい さびら お見送りしましょう (72)

うーとーとう うーとーとー (70)

うからふあーふ 首里城正殿 (46)

うきー 起きなさい (12)

うぐしく 首里城 (46)

うくちくいれー

起こしてくれたら (78)

うくちゃん 起こした (47)

うくなとーたん 行っていた (56)

うくりーん 遅れてしまう (78)

うさがいん 召し上がる (14)

うさがみそーれー

食べてください (召し上がる) (12・
14・72)

うさぎむん お供え物 (72)

うさんれー さやー

ごちそうをいただこう (70)

うさんれー さびら

お供えしたごちそうをいただきま
しょう (72)

うじらーさん かわいい (76)

うしらし 紹介 (お知らせ) (8)

うしる お汁 (14)

うしるぢやわん 汁わん (14)

うた 歌 (琉歌) (88)

うちなー 沖縄 (20・46)

うちやーとーん

似合っている (74)

うつさぎさん うれしそう (74)

うっちゃん 打った (28)

うてい ～にて (40)

うてい くみそーれー

(売って) ください (40)

うていいちき 落ち着いて (78)

うにげー さびら

お願いします (18・66)

うぬ この (96)

うぬふか この他 (30)

うふおーく たくさん (68)

うまんちゅ みんな (86)

うむさする おもしろがる (47)

うみちゃん 決意した (96)

うむとーん 考えている (6)

うやふあーふじ ご先祖 (70)

うり うで (10)

うりから それから (28)

うれー それは (42)

うわらな 終わろう (24)

うんけー お迎え (72)

うんちけー 案内 (46・47)

うんちけーさったん 招待された (76)

うんなどうちえー

こんなときは (78)

うんぬき やびら ～します (66)

え

えーさち あいさつ (66)

えーさに ～じゃないか (96)

か

かーにーぐんばー

リュウキュウツヤハナムグリ (36)

かい

～に (～へ) (26・28・30・32・
38・42・47・57・70・96)

かじ 数 (68)

がじまる ガジュマル (34)

かじやてい かざって (67)

かじやでいふう かぎやで風 (67)

かた かた (11)

かちーねー 書いてみると (96)

かちえーる 書かれた (20)

かっしんぐすく 勝連グスク (47)

かていむん おかげ (14)

かま 食べよう (12・14・44)

がま どうくつ (47)

かみむん 食べ物 (42)

かみーが 食べに (42)

かみよー 食べなさい (14・68)

からじ 髪 (10)

からとーる 飼っている (47)

かりんーら 食べてみよう (68)

かんげー 考え (42)

かんげーとーしが

考えているんだけど (44)

かんなじ 必ず (96)

き

きーくさ 草木 (34)

ぎょくせんろー 玉泉洞 (47)

きらまー 慶良間列島 (79)

<

くいみそーれー ください (56)

くー 虫カゴ (32)

くーがふあーふあー 卵焼き (14)

くくる 心 (26・67)

くくるむち 気持ち (86)

くさばな 草花 (32・34)

くし 腰 (11)

ぐしく グスク (47)

くしながに 背中 (11)

くち 口 (11)

くとう こと (18)

くとうし 今年 (66)

くとうば 言葉 (10・86)

くぬ この (47・79)

くば ビロウ (34)

くぶ こんぶ (67)

しむんろー いいよ (20・44)
じゅーさんゆーえー 十三祝い (74)
じょーとー 上手に (32)
しらびてい んーら
調べてみよう (34・36・88)
じん お金 (76)
しんぐわんしん 千貫でも (79)
しんしー 先生 (6・28)

す
すー お父さん (8・16・74)
すーていちやーぬ ふあー
ソテツの葉 (32)
すーらさる かわいい (96)
すいていんがなーし
琉球国王 (46)
すがやー ～しようか (44)
すぬひやんうたき
園比屋武御嶽 (46)
すば そば (22)
すみてい 染めて (30)
すむち 本 (20)
するてい そろって (26・70)
するばん そろばん (76)
すん ～する (16・40)

そ
そーぐわち お正月 (66)
そーたん ～していた (22)
そーてい 連れて (56)

た
たまうるん 玉陵 (46)
たまなー キャベツ (22・38・40)
たまねー たまには (47)
たんかーゆーいー
満一歳の誕生祝い (76)
たんめー おじいさん (8・32・79)

ち
ちーしぇー まし
着るがいい (96)
ちー ちかさーに
気を利かせて (96)
ちー ちきてい
気を付けて (12・24・78)
ちかーっとーる 使っている (22)
ちかさん 近く (46)
ちかなどーる 飼育している (47)
ちかてい 使って (57・98)
ちたーっとーる
伝わっている (88)
ちたゆる 伝える (86)
ちぢやさる 近くには (47)

ちてーばなし 言い伝え (46・47)
ちぬー 昨日 (16)
ちび お尻 (11)
ちぶる 頭 (10)
ちみ 爪 (30)
ちむいちゃさん
心が痛む, かわいそう (86)
ちむがなさん
心からかわいく思う (86)
ちむしからーさん
心さびしい (86)
ちむぢゆらさん 心が清らか (86)
ちむのーいん 機嫌が直る (86)
ちむふじゆん
心が満ち足りる (86)
ちむやむん 心が痛む (86)
ちむわさわーすん
胸さわぎがする (86)
ちゃー やたが
どうだった? (28・76)
ちゃーねーる どんな (18・30)
ちゃーびーが
～してこようか (38)
ちゃーびら ～しよう (38)
ちゃーびらさい
ごめんください (40)
ちゃーわん 湯飲み茶わん (14)
ちゃつさ いくら (どれだけ) (40)
ちゃんとう きちんと (14)
ちゆー 今日 (72)
ちゆーしが ～してくるのが (46)
ちゆーぬ 今日の (20・22・74)
ちゆーむんすがやー
注文しようか (44)

ちゅー や
今日は (16・22・24・28・32・42・56・70・74・98)
ちゅーん 今日も (12・18・24)
ちゅくいぶさぐとう
作りたいから (32)
ちゅくたる 作った (32)
ちゅくてーぐとう
作ってあるから (68)
ちゅくてい 作って (68・88)
ちゅくらな 作ろう (32)
ちゅふあーら お腹いっぱい (68)
ちゅらさん きれい (74)
ちゅらじん きれいな着物 (74)
ちゅらばな きれいな花 (30)
ちょーみん 帳面 (76)
ちょーれー 兄弟・姉妹 (8・79)
ちら 顔 (11)
ちれーくに 島にんじん (22)
ちんし ひざ (10)

ちんなん カタツムリ (36)

つ

つくわ 子ども (38)
つち とうらしよー
来てちょうだいね (40)
つやー 君 (96)
つわー ブタ (36)
つわーちち 天気 (16・98)
つゑんちゅ ネズミ (36)
つんじ 行って (38・56)
つんじ ちゃーびら
行ってくるね (38)
つんじ くーいー
行ってきます (12)
つんじ くーわー
行ってらっしゃい (38)
つんじとーたん 出ていた (28)
つんじらー 出るなら (46)
つんまが 孫 (8)
つんまり 生まれ (6)
つんめーし おはし (14)

て

てーして 対して (96)
ていー 手 (10)
ていーちえー ひとつ (68)
ていーぬわた 手の平 (10)
ていんさーぐー ホウセンカ (30)
てーしち 大切 (78・79)

と

とーとーめー 位はい (72)
とうい ニワトリ (36)
とういが 取りに (30)
とうくま (ん) 所 (に) (47)
とうくまんかいや 所には (47)
とうくる 所 (46・47)
とうし 年 (68)
とうち とき (20)
とうつっているきらんとー
除かなければ (96)
とうつとーたんり
取ったんだって (76)
とうぬーまぬー まごついた (96)
とうめーいが 探しに (30)
とうめーてい 探して (30・88)
とうめーれー 探せば (30)
とうらさに ～してちょうだい (98)
とうらしえー
～してくれるかな (38)

とー

さあ・それでは (12・14・38・42・44・68)

な

なー 名前 (6・34・36)
なー もう～ (12)
なーかんかい 中に (46)
なーびかちかちー
リュウキュウアブラゼミ (36)
なーふあくとうば
那覇言葉 (96・98)
ないぶさん なりたい (6)
なかぐしくぐしく 中城グスク (47)
なかゆくい 休み時間 (20)
なぎーし 投げる方 (26)
なたん ～した (96)
なてい ～になって (16)
なちゆる くいー 泣き声 (36)
なとーん ～だよ (12)
なとーんやー
～になりましたね (66)
なま 今 (26・38)
なまさち 先ほど (22)
ならいが 習いに (32)
ならーち 教えて (98)
ならーちくいれ
教えてくれない? (20)

ならーちゃん 教えてやった (96)
ならーい 習って (16・79)
ならーとーがやー
習っているのかな (18)
ならん ならない (できない) (96)
なれー 習い (79)
なんじ 苦労 (16)

に

にじり 右 (10)
にふえーれーびたん
ありがとうございました (24)
にふえーれーびるさい
ありがとうございました (40)
にふえーろー ありがとう (40)
にんいっとーてい 集中して (26)
にんとうー 年頭 (66)

ぬ

ぬー
何 (20・22・30・32・38・40・44・76)
ぬーがな 何か (98)
ぬーつし 何をして (32)
ぬーや 何が (44)
ぬーりー のど (11)
ぬじーが (写真を) 摂りに (74)
ぬしきたん ささげた (96)
ぬちる たから 命こそ宝 (79)

は

はーべーるー チョウ (36)
はーりー ハーリー (56)
はい やあ (16)
はいさい
こんにちは (男の人が使う) (6)
はいたい
こんにちは (女の人が使う) (6)
はかめーが 墓参り (70)
ばさない バナナ (34)
はじかさん
はずかしい・悔しい (96)
はじまいびーん 始まる (12)
はじめーん 始める (18)
はちゃー ハチ (36)
はな 鼻 (11)
はな 花 (30・67)
はぶ ハブ (47)
はまてい 頑張って (24)
はんしー (ぱーぱー)
おばあさん (8・79)

ひ
ひー や 日は (56)
びかーのー あらん
だけではなく (47)
ひきしみてい 引き締めて (26)
ひさ 足 (11)
ひじやい 左 (10)
ひちじ 羊 (96)
ひていみていむん 朝ご飯 (12)
びんちょー 勉強 (24・98)

ふ
ふいー 日 (28)
ふいーじやー ヤギ (36)
ふいき 引け (46)
ふいる 振る (26)
ふえーく 早く (12・78・96)
ふえーきたぐとう
早かったので (22)
ふか 他 (79)
ふか 外 (79)

ふかぬちゅゆかー 他の人より (96)
ふかんかい 外に (42)
ふち 吹いて (96)
ぶちらん 仏だん (72)
ふとーぐとう 降っている (98)
ふみらつたん ほめられた (28)
ふり 筆 (76)

ま
まーさぎさんやー 美味しそう (68)
まーさむーのー
美味しいものは (44)
まーさむん 美味しいもの (28)
まーさんやー 美味しいね (44)
まーち リュウキュウマツ (34)
まーに ～してごらん (98)
まーんかい どこに (30・42)
まかい 茶わん (14)
まし ～が良い (好き) (44)
まじえー まずは (26・88)
ましやがやー ～良いかな (44)
ましやし 好きなもの (44)
まじゅーん
一緒に (12・14・16・56・57・98)
まちかんていー 待ち遠しい (22)
まちげー まつ毛 (79)
まちや (ぐわー) お店 (38・40)
まやー ねこ (8・36)
まゆ まゆ (11)
まるけーー たまには (42)
まるはらか 真っ裸 (96)

み
みー 目 (11)
みーてい 見えて (46)
みーしが 見えるが (79)
みーらん 見えない (79)
みぐどう 見事 (56)

む
むーちー むーちー (68)
むちかさん 難しい (20)
むふん むほん (47)
むぬ ご飯 (76)
むむ もも (11)
むるっし 合計 (全部) で (40)
むん もの (56・79)

め
めー ご飯 (14)
めー 前 (26)
めーちじ ご飯粒 (14)
めんそーちやる
いらっしゃった (47)
めんそーちゃん
いらっしゃいました (46)
めんそーりよー
行ってらっしゃい (12)
めんそーれー いらっしゃい (40)

や
やー 家 (79)

やーしくなとーたん
お腹が空いていた (22)
やーしぇー 野菜 (22)
やーにんじゅ 家族 (8)
やぐとう ～なので (98)
やーやしち 家屋しき (47)
やいびーが ～でしようか (40)
やいびーさ ～ですね (42)
やいびーん
～です (6・8・46・47・98)
やがやー ～だろう (22)
やくとう ～なので (26)
やさ
～だね (そそう) (22・32・38・40)
やしが けれども (96)
やたん ～だった (16・28・96)
やみ そう (28)
やる ～である (96)
やれー ～だったら (30)
やんろー そうだよ (78・79)

ゆ
ゆーな オオハマボウ (34)
ゆたさえーさに 良いだろう (42)
ゆたさん 良かった (16・28)
ゆたさるぐとう よろしく (66)
ゆっかぬひー
(旧暦の) 5月4日 (56)
ゆろーが 読んでいるの? (20)

よ
よーんなー ゆっくり (78)

ら
らふてー 豚の角煮 (22)

り
りーぐ デイゴ (34)
りっか さあ (行こう) (30)

る
るー 身体 (10)
るし 友 (79)

れ
れーじな 大変～ (96)
れーじなたん 大変になった (78)
れーじなとーさ
大変になっている (78)
れーびる ～です (66)

わ
わー 私 (の) (6)
わかりてい 分かれて (26)
わしたん 忘れてしまった (78)
わじとーん 怒っている (96)
わしりんなよー 忘れるなよ (24)
わた お腹 (10)
わったー 私たち (8・56・88)
わらび 子ども (47)
わらびんちゅー 子どもたち (47)
わん 私 (8)
わんにん 私も (22・56)
わんにんかい 私にも (98)
わんねー
私は (6・16・32・44・76・98)

み
みきが 男 (8)
みきがちょーれー
弟・兄弟 (8・76)
みなぐ 女 (8)
みなぐちょーれー
妹・姉妹 (8・74)
みなぐわらび 少女 (96)

を
をー 王 (96)

ん
んーじが 見に (56)
んーな みんな (57・96)
んーら
～してみよう (26・30・88・98)
んーらりーしー
見られるのが (96)
んーりよー ～してみよう (79)
んかし 昔 (46・47)
んかしぇー 昔は (56)
んかしむぬがたい 昔物語 (20)
んかしんちゅぬ
昔の人たちの (78)



北部 (久志言葉)

あ

あー
はい (目上の人に対する場合) (12・18・24・26・38)

あーさんさ

オオシマゼミ クマゼミ
クロイワツクツク (36)

あがいていだ 上がる太陽 (79)

あかぎ アカギ (34)

あかどうら なたん 赤面した (96)

あかばなー ハイビスカス (34)

あかんぐわ 赤ちゃん (8)

あけどう トンボ (36)

あすわー 遊ぼう (20)

あすわりんどー 遊べるよ (30)

あすゐが いかー

遊びに行こう (98)

あすゐが 遊ぼうか (20)

あちゃーん 明日も (24)

あっかやー あるかな (44)

あっしねーや それでは (26)

あっち そして、それから (28・49)

あてい あって (48)

あとうりがやーでいち

注文しようかと (44)

あとうりてい 注文して (44)

あぬ かの (96)

あまくま あちこち (48)

あまぬ あそこの (38)

あみ 雨 (98)

あん いえーねー それでは (30)

あんねー さーやー

案内しよう (48)

あんまー お母さん (8)

あんまーん お母さんも (74)

い

いいー つわーとうき

良い天気になって (16)

いいー つくわどー

いい子だね (38)

いいー そーぐわち やー

良い正月です (66)

いいー 良い (16・28・42)

いえーすが しかし (76・96)

いえーびん ～です (48)

いえいくわいわ 英会話 (18)

いいー かんげー いえーさ

良い考えですね (42)

いいぎり 右 (10)

いーちでー 伝説 (49)

いいちやぎーん 召し上がる (14)

北部 (久志言葉)

う

いいちやぎそーれー

食べてください (12)

いいづびー いえーたん

良い日だった (28)

いいぬむぬ 同じ (79)

いえいごぬ 英語の (18)

いえーくとう なので (26・58)

いえーさ そうか (22)

いえーたん だった (48)

いえーん そうだ (28・30)

いえーねー だったら (30)

いが しま 私たちの故郷 (88)

いかー 行こう (30・42・70)

いかわ あーるやー

行けばあるかな (30)

いきね あーさに

行けばあるでしょう (30)

いきむし 動物 (36)

いじ くーやー

行ってくるね (38)

いじ こー

行ってくれるかな、行ってらっしゃい (38)

いじ ちゅんどー

行ってくるね (12)

いじ とうらしえー

行ってください (58)

いじ 行って (12)

いじとーたんどー 出ていた (28)

いちゅん 行く (16・26)

いちょい 野イチゴ (34)

いっくわいなーる 一回こそ (79)

いどー イヅュ (34)

いぬー 犬 (8)

いらゐん 選ぶ (44)

いるんな いろいろな (42)

う

ううー バショウ (34)

うーくい さーやー

お見送りをしましょう (72)

うーとーとー うーとーとー

(70)

ううぬ いる (48)

ううばさー (ううばさぎぬ)

芭蕉布 (34)

うがまん 拝まない (79)

うがみる 拝む (79)

うきなー 沖縄 (48)

うきなーでい いーねー

沖縄といえば (49)

うきれー 起きなさい (12)

うさぎむぬ お供え物 (72)

うすみじ 塩水 (79)

うた 歌 (琉歌) (88)

うちやとくとう

似合っているから (74)

うつさち これで (24)

うつさぎさんやー

うれしそうだね (74)

うっさん おもしろい (58)

うっちゃん 打った (28)

うっとー 弟・妹 (8)

うでーー うで (10)

うどうるちゃん

まごついた (驚いた) (96)

うにげー すんどー

お願ひします (18)

うぬ この (96)

うむとすが

思っているんだけど (44)

うやふあーふじ ご先祖 (70・79)

うりから それから (28)

うりむちー むーちー (68)

うりや それは (42)

うわらー 終わろう (24)

うんけー さーやー

お迎えしましょう (72)

えーすとう しーが っちゃん

あいさつに来ました (66)

おー

おー はい (目下に対する場合) (18)

おーはぬ つみー 青い海 (49)

おーはぬ ていに 青い空 (49)

おーふあ 野菜 (22)

かーまんた まんた (48)

かーみぬ くー 亀の甲 (79)

かかととぬ 書かれた (20)

がじまる ガジュマル (34)

がすすとうかぬ ウニなどの (49)

かたー かた (11)

かち んだー 書いてみよう (96)

かていむん おかげ (14)

かなみぬ 要の (48)

かにべんさー

リュウキュウツヤハナムグリ (36)

かまー 食べよう (12・14)

かみが いかー

食べに行こう (42)

かみが いかな

食べに行こう (42)

かみよー 食べなさい (14)

かめーいが 探しに (30)
かめーいねが ましがやー¹
探せばいいかな (30)
かめーが 探しに (30)
からどう 髪 (10)
かんなどう
必ず, きちんと (14・96)

き

きー ちきてい
気をつけて (12・24)
きー ちかてい
気を利かせて (96)
きっさから 先ほどから (22)
きみたん 決意した (96)
きむ さーさすん
胸さわぎがする (86)
きむ のーいん 機嫌が直る (86)
きむ ふいじゅん
心が満ち足りる (86)
きむ やみん 心が痛む (86)
きむがなはん
心からかわいく思う (86)
きむぐろはん かわいそう (86)
きむしからはん 心さびしい (86)
きむぢゅらはん 心清らか (86)
きれー 着なさい (96)

く

くーーむぬ 食べ物 (42)
くーーよー 食べてね (68)
くがー 卵 (14)
くくるむち 気持ち (86)
くし 腰 (11)
くしくとうわ 久志言葉 (98)
ぐすく いえーん グスクだ (48)
くすべんさー アオドウガネ (36)
くたいん 今年も (66)
くち 口 (11)
くとう ことを (18・20)
くば ビロウ (34)
くまや ここは (20・48)
くみ 米 (38・40)
くらち つちやん
暮らしてきた (96)
くりや これは (40)
くわーたくとう 食べたので (22)
くわーてい んだー
食べてみよう (44・68)
くわつき さーやー
いただきます (12)
くわつき しちゃん
ごちそうさまでした (12・14)
くんだー ふくらはぎ (11)

け

けーりよー 帰りなさいね (24)
げるやー ～だろうか (22)

こ

こー 来なさい (38)
こーいむぬ すん 買い物する (40)
こーいむぬ しーが いちゅん
買い物に行く (38)
こーえんけ 公園に (30)
こーてい ちゅーる
買ってこようか (38)
ごーやー にがうり (22)
こーらー 買おう (40)

さ

さー しょう (98)
さーるー カマキリ (36)
さがいでいた 下がる太陽 (79)
さぎらー 下げよう (68)
さけーたる 栄えていた (48)
さしいじゅちゃん ささげた (96)
さんでー さーやー
ごちそうをいただこう (70・72)
さんにん ゲットウ (34)

し

しーそーいんなー しますか (18)
じーにー お金 (76)
しーみー 清明祭 (70)
じかんどー 時間だよ (12)
しじゃー 年上 (8)
しち して (20)
しち んだー してみよう (26)
しちゃんどー したよ (24)
写真やーけ 写真館へ (74)
じゅーさんゆーいえー
十三祝い (74)
しらびてい んだー
調べてみよう (34・36・88)
しるー おつゆ (14)
しるまかい 汁わん (14)

す

すーすとう するのと (79)
すがい しち 恰好をして (49)
すそーに しーねー
粗末にしたら (79)
すくくえーちやつさー
苦労したよ (16)
すみさに 良いだろう (42)
すみてい 染めて (30)
すみんどー いいよ (44)

するてい いかな
そろっていこう (26)
するばん そろばん (76)
すんでいち ～するのに (16)

そ

そーかい じょうかい 紹介 (8)
そーき 豚のあばら肉 (22)
そーしーぬぐとう
本当にするように (26)
そーてい 連れて (58)

た

だー それでは (68)
だーけが いちゅる
どこに行くの (42)
だーけが どこに (30)
たつかーゆーいえー
満一歳の誕生祝い (76)
たぬしどん 楽しんでいる (49)
たぬしみ しみとん
楽しませている (48)
たまな キャベツ (22・38・40)

ち

ちー とうらしょー
きてちょうどいね (40)
ちぶる 頭 (10)
ちゃーちゃー お父さん (8・16)
ちゃーちゃーん お父さんも (74)
ちゃーびら ごめんください (40)
ちゃつさ げーる
いくらですか (40)
ちゃやつち げーたる
どうだった (28・76)
ちゃつちよる どんな (18)
ちゃわぬー 湯飲み茶わん (14)
ちゅいぬ 一人の (96)
ちゅーいちべー 人一倍 (96)
ちゅー 人 (48)
ちゅーから 今日から (72)
ちゅーくーやー 人をかむ (74)
ちゅーぬ 今日の (22・74)
ちゅーや
今日は (16・20・22・24・28・
42・58・70・74・98)
ちゅーん 今日も (12・18・24)
ちゅらぎぬ きれいな着物 (74)
ちゅらはぬ きれいな (49・96)
ちゅらはんやー きれいだね (74)
ちゅらふあな きれいな花 (30)
ちょーでー 兄弟・姉妹 (8)
ちょーめん 帳面 (76)
ちんし ひざ (10)

つ

つきでくに 島にんじん (22)
つきわたんやー 頑張ったね (28)
つきぬーぬ 昨日の (16)
つちーちゃんく ほうせんか (30)
つとうみけ 爪に (30)
つとうらー 顔 (11)
つとうんな カタツムリ (36)
つなんまから
これから (18・26・38・48)
つなんま 今 (26)
つぴじやい 左 (10)
つぴる 昼 (20)
つみー 海 (49)
つみーぬ むぬ 海産物 (49)
つめーし おはし (14)
つやーや 君は (96)
つやびーん 言います (6)
つわー ブタ (36)
つわーたっこー カエル (36)
つゐぬ 指 (10)
つゑつちゅー ネズミ (36)

て

ていー 手 (10)
でいーぐ でいご (34)
ていーち ひとつ (68)
でいーち ないぬめー
統一される前 (48)
ていーぬわたー 手の平 (10)
でいかー さあ (30・42)
でいきとん 見事なものだ (58)
でーじな とても (58・74・96)
でーじな まーはぬ
とても美味しい (49)

と

とうい ニワトリ (36)
とういが いかやー
撮りに行こう (74)
とういが 取りに (30)
とういるやー 取るかな (76)
とうかてい んだー
使ってみよう (98)
とうかとる 使っている (22)
とうくてい んだー
作ってみよう (88)
とうくてい 作って (68)
とうくでくとう
作ってあるから (68)
とうくに 特に (48)
とうくま いえーん ところだ (49)
どうし 友 (96)
とうしゅ かじ 年の数 (68)

とうしゅ くー 年の功 (79)
とうたんでい
取ったんだって (76)
とうめーてい んだー
探してみましょう (88)

と

さあ・それでは (12・24・38・44)
とーとう しえー
うーとーとーしなさい (70)
とーとう しちから
うーとーとーしてから (70)

な

なー もう (12)
なー 名前 (6・34・36)

なーびーかちやかちやー
リュウキュウアブラゼミ (36)

ながにー 背中 (11)
なだけーな 有名な (48)
なたんやー なったね (16)
なちゆる くいー 鳴き声 (36)
ならーち とうらしょー

教えてちょうだい (98)

ならーち 教えるよ (24)

ならーち とうらさんなー

教えてくれない (20)

ならーち とうらしそーりよー

教えてください (24)

ならーちゃん 教えた (96)

ならーい 習って (16)

ならーとがやー

習っているのかな (18)

に

にかー 将来 (6)
にふえーいえーたん
ありがとうございました (40)

にふえーいえーびたん
ありがとうございました (24)

にふえーどー ありがとう (40)

にん いってい いかー

集中していこう (26)

にんとうーぬ 年頭の (66)

ぬ

ぬー 何 (20・22・30・44)
ぬーが 何を (38・44)

ぬーげら 何か (98)

ぬーぬ 何の (20)

ぬくとぬ うた

残っている歌 (88)

ぬち 命 (96)

ぬでいー のど (11)

ぬみる 飲む (79)

は

ぱーぱー おばあさん (8)

ばーや ときには (20)

はいさい こんにちは (6)

ばさない バナナ (34)

ばちきりとんやー かわいいね (76)

はべる チョウ (36)

はまつい 頑張って (24)

ひ

ぴーじゃー ヤギ (36)

ひきしみてい 引き締めて (26)

ぴさ 足, 足の甲 (11)

ぴさぬ つみぬ 足の指 (10)

ふ

ふあか 墓 (70)

ふあじまいん 始まります (12)

ふあじみんどー 始める (18)

ふあち ハチ (36)

ふあどこはん くやしい (96)

ふあな 花 (30)

ふあな 鼻 (11)

ふあなしちゃや あらぬ

~だけなく (49)

ふあんそー 笛 (96)

ふいー 碑文 (88)

ふいとう イルカ (48)

ふいるびるとう しち 広くて (48)

ふえーく 早く (12・22)

ふおーく 多く (48・68)

ふかううてい 外で (42)

ふかけ 外に (42)

ふくざん 北山 (48)

ふち 吹いて (96)

ふでい 筆 (76)

ふとくとう 降っているから (98)

ふみらったん ほめられた (28)

ま

まーはぎさぬ 美味しそう (44)

まーはぶちやげらはぬ

美味しいだね (68)

まーはむん 美味しいもの (28・44)

まーはるやー 美味しいかな (44)

まーはんやー 美味しいね (44)

まーまー 姉 (8)

まい しり (11)

まかい 茶わん (14)

まぎはぬ 大きな (48)

まし いい (44)

まし いえーす 好きなもの (44)

まじや まづは (26・88)
まちかんていー いえーたん
待ち遠しかった (22)
まちやううてい お店にて (40)
まちやけ 店へ (38)
まっさーらな 真っ白な (49)
まとうー リュウキュウマツ (34)
まむいぬ 守る (48)
まやー ネコ (8・36)
まるけーてい たまには (42)
まるばい 真っ裸 (96)
まんどる たくさんある (42)
まんなな 一緒に (12・14・16・58・98)

み
みー 目 (11)
みーが いかー 見に行こう (58)
みーどうくる いえーん
観光名所だ (48)
みーふあらき 朝食 (12・14・22)
みーまゆー まゆ (11)
みみだい まー
耳が垂れた馬 (79)
みやーぬ まんどん
見る人がたくさんいる (48)
みらりすが 見られるのが (96)

む
むちかはんやー 難しいね (20)
むぬ 物 (79)
むむー もも (11)
むぬ 皆 (49・96)
むるっち 合計 (全部で) (40)
むんどうり すりつい
みんなで (70)

め
めー ご飯 (14・76)
めーとうどう ご飯粒 (14)

も
もーいそーれー いらっしゃい (40)

や
やーく なとたん
お腹がすいていた (22)
やーにんじゅ 家族 (8)
やかー 兄 (8)

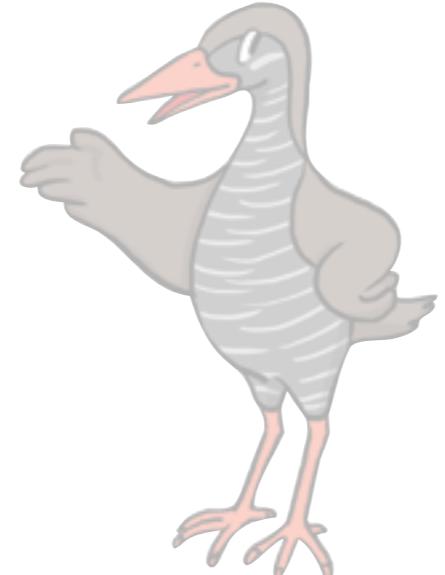
ゆ
ゆー うちやとん
よく似合っている (74)

ゆたはるぐとうやー
よろしくね (66)
ゆどる 読んでいるの (20)
ゆどん 読んでいる (20)
ゆなー オオハマボウ (34)
ゆわっとん 呼ばれている (76)

わ
わー 私の (6・98)
わじたん おこった (96)
わたー お腹 (10)
わたみちゅか お腹いっぱい (68)
わっしらんきよー 忘れるなよ (24)
わぬ 私を (58)
わぬー 私 (8)
わぬや 私は (16)
わぬんげ 私も (22)
わね しま 私たちの島 (58)
わねー 私たち (8)
わねー むんどうりぬ
私たちみんなの (86)

ゐ
ゐきがー 男 (8)
ゐきがうとー 弟 (8)
ゐなぐー 女 (8)
ゐなぐうとー 妹 (8)
ゐなぐちょーでー 姉妹 (74)
ゐなぐわらゐ 少女 (96)
ゐなぐんぐわ 娘さん (96)

ん
んー
はい(目下に対する場合) (18・20)
～んでい ～と (6)



宮古(平良言葉)

あ

あーぐう 歌を (90)
あいう
です・ある (7・43・51・60・90)
あいうがらやー
あるかな? (31・45)
あいうさーい あります (51)
あいうざ あらんな
あるでしょう (31)
あいうざい ういう
呼ばれています (50)
あかーあかぬ まんとうー
緋のマントを (97)
あかいうぎー アカギ (35)
あがいたんでい やったー (80)
あかばだかん なりどう ういうつ
ざ あらんな
真っ裸じゃないか (97)

あかばな ハイビスカス (35)
あかんが 赤ちゃん (9)
あがんにや (あば) ああ (69)
あぎどうなか (とうなか)
卵焼き (卵) (15)
あざ 兄 (9)
あさむぬー 朝ご飯を (13・23)
あさむぬーばー 朝ご飯は (15)
あしうが しかし (77)
あしうちうかー
やってみると (80)
あしうちうかー ないうどう しゅ
さいが やればできるんだ (80)
あしがどう けれども (97)
あすば 遊ぼう (21・33)
あすぱいどう しゅうどー
遊べるよ (31)

あすぱっちやー
遊ぼうか? (21・33)
あすびいう 遊んで (97)
あすぴうが 遊びに (99)
あたり うたいばどー
合っていたので (29)
あちうかー
それでは (27・33・39)
あつあやー 明日ね (25)
あどう かかと (11)
あぱらぎさ 美しい (81)
あぱらぎみどんづああ
かわいい娘さんは (97)
あぱらぎみどん 美女 (51)
あびらいたいう 招待された (77)
あみぬ 雨が (99)
あら それでは (27・39・69)

あらーぬ いむとー 外の海と (51)
あらんにや よーし (80)
ありやーみーん んぞー なむぬ
ていどう たまらなく悔しいと (97)
ありやみーん あぱらぎやー
とてもきれいだね (75)

あんが 姉 (9)
あんちーしつい そして (29・97)
あんちーやー そうだね (33)
あんちーな
そうか (23・29・31)
あんちーぬ こんなに (80)
あんちー やちうかー
それでは (33)
あんな お母さん (9)
あんないすーやー
ご案内しましょう (50)
あんなまい うやまい
お母さんもお父さんも (75)

い

いいうぬ いむ 西海岸 (51)
いーぬふー
イースパー (池間湿原) (50)
いうずぬきやー 魚たち (50)
いうずぬまーすに 魚の塩煮 (23)
いか 行こう
(31・33・43・60・71・75)
いかっちやー 行きますか (43)
いかやー 行こう (27)
いき くーっどー
行ってきます (13)
いきう 行く (17・27)
いきうむしゅ 動物 (37)
いき くー
行ってらっしゃい (13・39)
いき くーっどー
行ってくるね (39)
いきばが 行けば (31)
いきばどー 行けば (31)
いきまじうまぬ 池間島の (50)
いきやー 池は (51)
いじでいがらやー 入れようかな (33)
いじぶしうかいう 入れたいなあ (33)
いすか やりやー いくらですか (41)
いちうにちうぬ 一日が (13)
いちうばん 一番 (50)
いっづい うていーまい
怖がっていても (80)
いでい うたいうどー
出ていた (29)
いらばでい 選ぶ (45)
いらびうがら 選ぶかな (77)
いらぶじゅもー 伊良部島を (51)

いるたていだいぬ
いろいろな (43)
いん 犬 (9)
いんがなしうきやー
かわいいね (77)

う
ういいうがらやー
~ているのかな (19)
ういから それから (29)
ういきしうまーい
追いかけ回る (60)
ういび 指 (10)
ういびやー 指は (81)
うがむ ていーまい
見ることのできる場所としても
(51)
うきば あるから (69)
うきる 起きなさい (13)
うさぎとらすたいう ささげた (97)
うさぎむぬー お供え物を (73)
うちう 打つ (27)
うちうたいじゅー 打った (29)
うちうんかいどう 内側に (81)
うていや ～では (29)
うでい うで (10)
うとうとう 弟 (9・75)
うとうもー すー^一
お供しましよう
(お見送りしましよう) (73)

うぬ その (97)
うぬ ぶかぬ この他の (81)
うぱーた たくさん (69)
うぱーたどー 大勢 (50)
うぱーたぬ 多くの (50)
うぱーぶ ないうちうかー^一
大きくなったら (7)
うぱーぶぬ 大きな (50)
うまかもー あちこち (50)
うみす おはし (15)
うむい ういうさい
思っているのだ (97)
うむい ういすがどう
思っているんだけど (45)
うむいうさーい 考えています (7)
うむーちうかー^一
思っているうちは (80)
うむっし 好きな (7)
うや お父さん (9)
うやからどー 父から (17)
うゆぎうぬ
スイムの (泳ぎの、水泳の) (50)
うりやー それは (43)

お
おー はい (目上に対する場合)
(19・25・41・47)
おーおーぬ いむ 青い海 (50)
おーおーぬ すら 青い空 (50)
おーゆばー 王を (97)

か
かい ～に (31・33・43)
かい きし ふいーる
買ってきてちょうだい (39)
かい くーっちやー
買ってこようか (39)
かかい かかる (81)
かかい ういう 書かれた (21)
かぎ 良い (66)
かぎぎうんな きれいな着物 (75)
かぎとうくる 美しい景色 (50)
かぎばながもー きれいな花を (31)
かき みーちうかー
書いてみると (97)
かぎむぬ きれいです (50)
かぎ わーちうきう やーば
良い天気なので (99)
かぎ わーちうきうん なり
良い天気になって (17)
がざまー ガジュマル (35)
かじぬどう 風が (50)
かじやー 風は (81)
かずだき 数だけ (69)
かたむしゅ かた (11)
かなう むぬぬどう
かなう者が (81)
かなつさどう 愛故に (81)
かなまいう 頭 (10)
かならじう 必ず (51)
かのー かなう (81)
かまぬ あそこの (39)
からじう 髪 (10)
かんずーむどう やたいう
敏感であった (97)

き
きーぬ 木の (35)
きいむぐりーぐりん なり うた
いう 気が動転した (97)
ぎうさから 先ほどから (23)
きうだいうくに 島にんじん (23)
きうぬー ちうき
気を付けて (13・25)
きうぬぬ 昨日の (17)
ぎうぱり 頑張って (25)
きうむ 心 (81)
きうむ あらーしゅ

気持ちを表す (87)
きうむすだーしゅき
気持ち良い (51)
きうむぬ すぐから かなしうっさ
ていどう うむう
心からかわいく思う (87)
きうむぬどう やむ
心が痛む (87)
きうむ やば 心やさしい (87)
きうむ んてーーんてい
心が満ち足りる (87)
きうもー わいてい
心を引き締めて (27)
きし 着るがいい (97)
きみたいう 決意した (97)
きゅーから 今日から (73)
きゅーぬ 今日の (21・23・75)
きゅーまい 今日も (19・25)
きゅーや 今日は
(17・23・25・29・33・43・
60・71・75・99)

く
くいしー これで (25)
くーっづい きうしうたいう
準備してきました (71)
くーでーー 来ます (41)
くーよー 来てね (41)
くさんみ 背中 (11)
くしゅ 腰 (11)
くつづあ ふくらはぎ (11)
くとうしゅまい 今年も (66)
くとうば 言葉 (87)
くば ビロウ (35)
くまー ここ (21)
くまからー これから (50)
ぐみ 組 (27)
くらしどう きうしうたいう
暮らしてきた (97)
くりやー これは (41)

こ
ごーら にがうり (23)
ごーらいいうきう
にがうり炒め (23)

さ
さーい ～です (7)
さーり いき 連れて行って (60)
さーる カマキリ (37)
さい ～です (7)
きがい さびしい (87)
さきう 岬 (51)
さきうん いかっていーぬ なかば

がまんな 岬の途中には (51)
さぎやー 下げよう (69)
さとうぬ ぼくじんどう やいう
里の牧人である (97)
さにん ゲットウ (35)
さびうしうむぬ さびしい (87)
さらさらてい サラサラとして (50)

し
しー ～をして (21)
しーが ～をして (33)
しーみー してみよう (27)
しゅる お汁 (15)
じゅかんどー タイムだよ (13)
しうとうがちう お盆 (73)
きゅーから 今日から (73)
きゅーぬ 今日の (21・23・75)
きゅーまい 今日も (19・25)
きゅーや 今日は
～してやったよ (17)
しゅまいうやー 終わろう (25)
しゅまじゅーんどう 島中に (60)
しゅまぬ 島の、故郷の (60・90)
しゅまぴうとうちやーなー あらだ
なしー 島の人だけなく (50)
しゅるまかい 汁わん (15)
したうかい 紹介 (9)
しゃしなな ぬーりぬ
写真が載る (51)
しゃしんぬ 写真を (75)
しゃしんやーんかい 写真館へ (75)
しゅー (うぶじゅ)
おじいさん (9・33・81)
じゅーさんよーいう 十三祝い (75)
じゅうるくにちう 十六日祭 (71)
じゅぎよーゆ 授業を (19)
しょーがちう 正月 (66)
しょーがちうぬ あいさつちう
年頭のあいさつを (66)
しょーがちうぬ あがいていどー
初日の出 (51)
じょーじゅん 上手に (33)
しょーーつあまーり
気を利かせて (97)
じょーぶんさーい いいよ (21)
じょーぶんどー や
～していいよ (45)
じょーぶんな あらんな
良いだろう (43)
しらびみー
調べてみよう (35・37・90)
しんしーん 先生に (7・29)
じん お金 (77)
じんぬ お金を (77)

す
すー おかげ (15)
ずー
さあ (13・15・27・43・45・71・
73)
すー しよう (99)
ずー 行こう (31・33・99)
すーってい ～するのに (17)
すーてい ～します (9・27)
すーでい ～します (66)
すーでいな ～しますか (19)
すーでいがらやー
どうしよう (80)
じゅーぬ しゅうたぬ がま
地下の洞くつ (50)
すっしゅ とうきゃんな
するときには (50)
すたたいう どー や ～したよ (25)
すていちうぬ ぱーしー
ソツツの葉で (33)
すみ 染めて (31)
するい そろって (27)
するばん そろばん (77)

せ
せいじやー すっさいん
政治が分からぬ (97)

ぞ
ぞー ぴうかじうどう 良い日 (29)
ぞーかりやー いいかな (31)
ぞー かんがい
良い考えですね (43)
ぞー どうつさ よき友は (97)
ぞーむぬさいが 良かったね (29)
ぞーむぬやー 良かったね (17)

た
だいじうなむぬ 大切なもの (81)
だいじうんすー
大切にしよう (80)
だいひよーっす 代表する (50)
たうきやーぬ 一人の (97)
たかーたかぬ 高い (80)
たかぎー 高木 (81)
たかさーしー ふーいーさーち
よろしくお願ひします (66)
たっかーし ぬりたくって (60)
たていだてい いろいろな (33)
たまな キャベツ (23・39・41)
たみ 集中して (27)
たもー なぎう 球を投げる (27)
たんかーよーいうんどう
満一歳の誕生祝いに (77)

たんでいがーたんでい
ありがとうございました (25・
41)

ち
ちーあら (ずーあら)
さあ, それでは (31)
ちうぐしゅ ひざ (10)
ちうみゆー 爪 (31)
ちうんだらーしゅ
かわいそう (87)
ちうんだらーしゅ 悲劇の (51)
ちびたいう (ちび) お尻 (11)
ちやばん 湯飲み茶わん (15)

つ
つづあー 君は (97)
つかいみー 使ってみよう (99)
つぎやーり ういいうさーい
結ばれています
(つながっています) (51)
つぎやーり うてい
つながっていて (51)
つづふあ 作ろう (33・90)
つづふあ 作りましょう (90)
つづふあ 作ってみよう (33)
つづふあ 作りたいから (33)
つづふいみー 作ってみよう (33)
つづふい 作って (69)
つづふうたいう 作った (33)
つづふい ういば
雨が降っているから (99)

て
ていー 手 (10)
ていーぬぴうさ 手の平 (10)
ていーや かみつていから
手を合わせて (71)
ていんさぐ ホウセンカ (31)

と
とういう ニワトリ (37)
とういう 鳥 (50)
とういうたいうていーぬ
取ったんだって (77)
とういが 摂りに (75)
とういが 取りに (31)
どうーだしうき 自らを助ける (81)
どうーぬ ふうちゅんかいどう
自分の口に (81)
どうが んーなんかい
自分の身体に (60)
どうくる 場所 (所) (51)
とうくるさーい 所です (50)

とうしゅ 年の (69)
とうばいどう っしうさいが
跳べたぞー (80)
とうばいどう っしうびやーやー
跳べるかな (80)
とうばつどー 跳ぶぞ (80)
どうふうきうぎー デイゴ (35)
どうまつづ いぎいたいう
まごついた (97)
とうみが 探しに (31)
とうみみー 探してみよう (90)
とうみりばが 探せば (31)
とうゆむ 有名な (51)
とうらめばぬ 南東の (51)
どうるいむ 湿原 (50)
どうろー 泥を (60)

な
なー 名前 (35・37・99)
なーだか 有名な (60)
なーだか とうくるさーい
有名な所です (50)
なーや 名前は (7・99)
なーや とうゆまし ういいう
名を知られる (51)
ながさー 長さは (50)
なかちうがーしゅ クマゼミ (33)
なきうぐい 鳴き声 (37)
なちうぬ きうしゅーてい
夏の訪れを (50)
なびがーしゅ
リュウキュウアブラゼミ (37)
ならーし とうらしうたいう
教えてやった (97)
ならーし ふいーさーち
お願ひします (19)
ならーし ふいーる
教えてくれない? (21・99)
ならい 習って (17・19)
ならいみーる
習ってみましょう (81)
ならっていどう なりたいと (7)
なり ういいう
～になっている (50・66)
なろーが 習いに (33)
なんぎ しゅうたいう どー や
苦労したよ (17)

ぬ
ぬぶい のど (11)

の
のーいう 直る (87)
のーがらーゆ 何か (99)

のーがらやー 何だろう (23)
のーしーが やたいう
どうだった (77)
のーしーり 何をして (21)
のーぬ 何の (21)
のーぬが 何が (45)
のーばしーが どうしよう (80)
のーばしーが やたりやー
どうだった (29)
のーまい ならん
しようがない (80)
のーゆ しーがー 何をして (21)
のーゆ 何を (31・33)
のーゆが かーでい
何を買うの? (41)
のーゆが
どんな, 何を (19・33・39・77)

は
はーい やあ (7・17)
ばーや 私は (17・45)
ばーやー 私は (33)
ぱーんとうー パーントゥ (60)
ぱいーぱい ういば
似合っているから (75)
ぱが 私の (7・99)
ばかーり 分かれて (27)
ばがどう 私は (77)
ばがなー や私の名前は (7)
ばかんかい 墓参りに (71)
ばぎう 足 (11)
ばぎうぬういび 足の指 (10)
ばぎうぬくー 足のこう (11)
ばじうまいう 始まります (13)
ばずみでい 始める (19)
ばそないう バナナ (35)
ばそーぬぬ バショウ (35)
ばたー ふうさりゅーたいう
激怒した (97)
ばたー やーすー やーす
お腹が空いている (23)
ばたーんちうきや ふあいよー
お腹いっぱい食べてね (69)
ばだこー 裸を (97)
ばちう ハチ (37)
ばっしいうなよー
忘れるなよ (25)
ぱていむぬー 勇者は (97)
ばな 花 (31)
ばな 鼻 (11)
ばなし みーる 話してごらん (99)
ばなん 端 (51)
ばぬー 私を (60)
ぱびいう チョウ (37)

ぱまーしー ビーチ (浜) で (50)
ばら お腹 (10)
ばん 私 (19)
ばんたがー
私たち (9・60・87・90)
ばんまい 私も (23)

ひ

びーいう トンボ (37)
ぴーや ふうき 笛を吹き (97)
びうさぬ だき 足甲の高さ (80)
びうさらぬ 平良の (7)
びうしうま ゆくーんな
昼休みの時間 (21)
びうだいう 左 (10)
びうていーちう ひとつ (69)
びうとうー 人を (60)
びうとうかたん 一芸 (81)
びきう (女から見た) 兄弟 (9)
びききよー だい 兄弟 (9)
びぎどうん 男 (9)
びっとう 羊と (97)
びとうだすきやー 人助けは (81)
びとうぬばいまい 人一倍 (97)
ひぶんう 碑文を (90)
ぴやーかたいばどう
早かったので (23)
ぴやーまり 早く (13・97)
ぴょーすんな たまに (43)
びりよー 帰りなさいね (25)
びんざ ヤギ (37)

ふ

ふあー
食べよう, いただきましょう (13・15・45・73)
ふあーいいう 食われて (81)
ふあいみー 食べてみよう (69)
ふあいよー 食べなさいね (15)
ふあっとー
いただきます (13・45)
ふいーさーち ください (41・60)
ふいーじやーんな
行ってくれるかな (39)
ふうかーふうかぬ とうくるん う
てい 深いところで (51)
ふうぎうだーき 首の高さ (80)
ふうき ぴういう
吹き抜けていきます (51)
ふうさばながましー 草で (33)
ふうさばなとうか 草花や (35)
ふうたーちうぬ 二つの (51)
ふうちう 口 (11)
ふうなた カエル (39)

ふおーいが 食べに (43)
ふおーぬどう 食べるのが (23)
ふおーぶしうかいう むぬー
好きなもの (食べたいもの) (45)
ふおーむぬ 食べ物 (43)
ぶかなさだかーならんてい
除かねばならぬ (97)
ぶかぬ 他の (33)
ぶからしうきやー
うれしそうだね (75)
ぶかんかい 外に (43)
ふでい 筆 (77)
ぶないう (男から見た) 姉妹 (9)
ぶみらいたいう ほめられた (29)
ぶりいう 折れる (81)

ほ

ほんぬが 本を (21)
ほんぬどう 本を (21)

ま

まーちうき
一緒に (13・15・60・90・99)
まい 前 (27)
まい あいう ～もある (50)
まい ありってい ～もあり (50)
まいう 米 (39・41)
まいう ご飯 (15・77)
まいうしうじう ご飯粒 (15)
まいふうかがま いい子だね (39)
まかいう 茶わん (15)
ましゅ いい (45)
まずがーてい まずは (27)
まちうかにどう ういいう

待ち遠しい (23)
まちうぎー リュウキュウマツ (35)
まちうりどー サリなんだよ (60)
まっざー まずは (90)
まっちゃん うてい お店にて (41)
まっちゃんき お店へ (39)
まなーんてい
しっかり (きちんと) (15)
まむやが ばかまいどう
マムヤの墓も (51)
まゆ ネコ (9・37)
まゆ まゆ (11)
まんなかん 真ん中に (50)

み

みー 目 (11)
みーが きうしう 訪れます (50)
みーが 見に (60)
みーらいいう
見ることができ (50)

みーらいいう 見える (51)
みーらいすーどう
見られるのが (97)
みじうらしゅ とうくるさーい
貴重な場所です (50)
みどうん 女 (9)
みどうんうとうとう 妹 (9)
みどうんきょうーだい 姉妹 (9)
みどうんやらびぬどう 少女が (97)
みばな 顔 (11)
みばなー あかーあかしー
赤面し (97)
みやーくー 宮古島を (50)
みやーくぬ

宮古の (21・50・60)
みやーくふうちう 宮古言葉 (99)
みやーくふうちうつし
宮古言葉で (97)
みやーくんうていや 宮古では (60)
みやーくんかいどう 宮古島の (50)

む

むしうかぐー 虫カゴ (33)
むしうがま・むしう 昆虫 (37・50)
むちうかしゅ むぬやー
難しいね (21)
むっちうう むーちーを (69)
むとうびう 野イチゴ (35)
むぬー かい きうし 買い物 (39)
むぬー こー 買い物をする (39)
むむ (に) もも (11)
むむかたん 百芸 (81)

や

やーでいゆ 家族 (9)
やーば
なので (だから) (27・60・71)
やーんかい 家に (25)
やたいう ～だった (29)
やちうかー それでは (33)
やちうかー だったら (31)
やな ざいぐとうんかいや
じやあく 邪悪な事には (97)
やまとうぬ 観光客まい
ヤマトの観光客も (50)
やまばどー 山鳩 (81)
やむ 痛む (87)

ゆ

ゆーどう ぱいぱい ういいうじやー
よく似合っているね (75)
ゆーな オオハマボウ (35)
ゆくーとうきやーんな
休み時間のときには (21)

ゆにむい ユニムイ (池間湿原) (50)
ゆみ ういいうさーい
読んでいるよ (21)
ゆみゆーりやー
読んでいるの? (21)
ゆむぬ ネズミ (37)

わ
わー ブタ (37)

ん
んかい お迎えしましょう (73)
んかいやー お迎えしましょう (73)
んがな

はい (目下の人に対する場合)
(19・27・39)
んぎう 右 (10)
んきぎいう 召し上がる (15)
んきぎさーち 食べてください,
お召し上がりください (13・71)
んきぎさまち
お召し上がりください (73)
んきゃーん ぱなしうぬ
昔物語が (21)
んきゃーん ぴうとうぬきやーぬ
昔の人たちの (80)

んきゃーんから 昔から (90)
んきゃーんじゅくう
ことわざ (80・81)
んざん どこに (31)
んざんかいが どこに (43)
んじんかい すーでーからやーてい
どれにしようかと (45)
んていーんてい 満ち足りる (87)
んな ～では (29)
んなまー 今は (27)
んなまから
これから (19・27・39)
んにや もう (13)
んま (ぱーんま, うふあんな)
おばあさん (9・81)
んまー んまーどう やたいう
ごちそうさまでした (13・15)
んまーんまやー 美味しいね (45)
んまぎやー

美味しいぞうだね (45・69)
んまむぬー
美味しいもの, ごちそう (45・71)
んまむぬー ふーー
ごちそうをいただこう (71)
んまむぬぬどう 美味しいものが (29)
んまりさい 生まれです (7)
んまんかいうがらやー

美味しいかな? (45)

んみ とうとうみきう
胸騒ぎがする (87)
んみやーち いらっしゃい (41)
んもーい かーさーちー
ごめんください (41)
んー
はい, うん (13・19・21・27・39)
んーな カタツムリ (37)
んーなが みんなの (87)
んーなぐー や 砂は (50)
んーなし みんなで・全部で
(41・71)
んーなん みんなに (97)



八重山(四箇言葉)

あ
す

- あ あーさする アーサ汁 (23)
あーみ 雨 (83)
あーみぬ ふいりき
　　雨が降っているから (99)
あいしょーるん 召し上がる (15)
あうだ カエル (37)
あかうむていすん 赤面した (97)
あかまず 髪 (10)
あさば 遊ぼう (21・33)
あさぶかやー 遊ぼうか? (33)
あさぴな はら遊びに行こう (99)
あざま 三男 (9)
あすぱりん 遊べるよ (31)
あすびぬ 遊びが (31)
あすびや 遊ぼうか (21)
あだがやー あるかな (45)
あたらさーる むぬ
　　大切なものです (83)
あたりてい 合っていたので (29)
あつかん アカギ (35)
あたらさ しーよー
　　大切にしよう (82)
あたらさーん かわいいね (77)
あっちゃー お父さん (75)
あつつかー 明日 (25)
あっぱー お母さん (75)
あっぱりしゃー そーらー
　　とてもきれいだね (75)
あつめー 集めて (33)
あどう かかと (11)
あとう あとーや 将来は (7)
あぬ あそこの・あの (39・97)
あまくま あちこち (52)
あらんば じゃないか (97)
あるかやー あるかな (31)
あん あらぬ あるでしょう (31)
あんがまー アンガマ (62)
あんかやー あるかな (31)
あんかれーり 励め (52)
あんくだ 教えた (97)
あんくむぬー ～です (7)
あんじー そうか (23・29・31・82)
あんじらー
　　そうそう (そうだね) (33)
あんずかー
　　それでは (27・31・33・39・69)
あんてー そして (29)
- い いー 良い (17・29・67・82)
いー はい

- (目下の人に対する場合) (19)
いかされーすん
　　生きているのも (53)
いからー 行こう (27・31)
いき くい 行ってくるね (39)
いき くーい
　　行ってきます (13)
いき くーよー
　　行ってらっしゃい (39)
いきってみしらー
　　見に行こう (62)
いきむす 生き物 (37)
いくねー 行けば (31)
いくん ゆー 行く (41)
いくん 行く (17)
いこーびかやー
　　いくらですか (41)
いじ みやみーり (いじみーり)
　　話してごらん (99)
いじえーる 言った (83)
いじみやーむー
　　使ってみよう (99)
いしゃなぎら 石垣 (52)
いじゅ イジュ (35)
いでーだ 出ていた (29)
いびー ああ (69)
いらぶかやー 選ぶかな (77)
いりーかやー 入れようかな (33)
いりふさーる 入れたいなあ (33)
いん 犬 (9)
いんぬ 海の (52)
いんぬふあーぬ ちぐち
　　北西部 (52)
- う うー はい(目上の人に対する場合)
(19・25・27)
うーる さんご (53)
うえんちゅ ネズミ (37)
うきなー 沖縄 (52)
うきりよー 起きなさい (13)
うくる さーなら
　　お見送りしましょう (73)
うしゅまい おじいさん (9・33・83)
うすぬ にくどう
　　ステーキ (牛の肉) (45)
うちうなんがれー 中では (52)
うつだ 打った (29)
うでい うで (10)
うとうどう 弟 (9)
うとうどうびきりう 弟 (9)
うとうどうぶなりう 妹 (9)
うとうどうぶなるぬ 妹の (75)
うぬふかぬ この他の (83)

- うび 指 (10)
うまー ここは (21)
うむやーうすんが
　　思っているんだけど (45)
うむいゆ 気持ち (87)
うむっさんどう
　　おもしろいよ (62)
うむやー 思って (83)
うやぬくいやー 親の声は (83)
うりから それから (29)
うりたんがー や あらん
　　それだけではありません (53)
うれー それは (43)
いくん ゆー 行く (41)
うわりてい 終わろう (25)
- え えいごの はなしょー 英会話 (19)
- お おいしとーんなーらー
　　お召し上がりください (71)
おいしょーり
　　お召し上がりください (73)
おいしょーり 食べなさいね (15)
おいしょーるん 召し上がる (15)
おいすだー ささげた (97)
おー はい (13)
おー ぶた (37)
おー (目上に対する場合)
　　はい (39)
おーつき かいしゃーりき
　　良い天気 (99)
おーつき なり 天気になって (17)
おーりとーり いらっしゃい (41)
- か かい ～へ・～に (17・33・43)
かいきー ひーらぬ
　　買い物に行ってくれるかな (39)
かいきー ひーりや
　　買ってきてちょうだい (39)
かいしやーる
　　きれいな・美しい (31・51・53・75)
かいしやーる きん
　　きれいな着物 (75)
かいな はるん
　　買い物に行く (39)
かいむぬ しに 買い物に (41)
かきみよーら
　　書いてみると (7・97)
かぎうっちや カマキリ (37)
かけーず トンボ (37)
がざむねー ガジュマル (35)
がじーら かた (11)

- かーしょーり
　　(売って) ください (41)
かたみ 約束 (82)
がっしゃー 二男 (9)
かていむぬ おかげ (15)
かなさーる かわいい (97)
かにごーやー 黄金虫 (37)
かやーって 買ってこようか (39)
かよーるねーら 買うの (41)
かんがいがー 考えると (82)
かんじー こんな風に (82)
かんぬくい 神の声 (83)
かんぱい しゃーだ
　　敏感であった (97)

- き きーきかし 気を利かせて (97)
きーぬ くりむし 木ぼりの像 (52)
きうー しゅめーり
　　心を引き締めて (27)
きうー ちうけー
　　気を付けて (13・25)
きうむ 肝 (心) (83)
きうむ のーすん 機嫌を直す (87)
きうむぬ やむん 心が痛む (87)
きうむあーりう, きうむさわぎう
　　胸騒ぎがする (87)

- きうむから かなさーん
　　心からかわいく思う (87)
きうむんぐりしゃーん
　　かわいそう (87)
きうむしかさーん
　　心さびしい (87)
きうむぬ やふあさーん
　　心やさしい (87)

- きうむ ふぎるん
　　心が満ち足りる (87)
きうんだいくに 島にんじん (23)
きさから 先ほどから (23)
きすそー ます 着るがよい (97)
きぬーぬ 昨日の (17)
ぎばり 頑張って (25)
きめーた 決意した (97)
きゅーから 今日から (73)
きゅーぬ 今日の (21・75)
きゅーや
　　今日は (13・17・23・25・27・29・33・43・62・71・75・99)

- きゅーん 今日も (13・19・25)
きんじやく ホウセンカの花 (31)
きんどー 来る (降っている) (83)

- く くしょーくぬはな
　　ハイビスカス (35・53)
くす こし (11)
くす 背中 (11)
くたいぬ 答えが (29)
くちさーる くやしい (97)
くとうば 言葉 (87)
くとうばり くいー
　　断ってくるね (82)
くぬ つぐちー
　　この湾 (本文では川平湾) (52)
くぬしうまぬ
　　この島の (本文では石垣島をいう) (52)

- くば ビロウ (35)
くよーんなーら
　　ごめんください (41)
くよーんなーらー こんなにちは (7)
くりから これから (19・27)
くりからー クリからー (52)
くりし これで (25)
くれー これは (41)
くんじょーくれ 激怒した (97)

- け けーらし みんなで (71)

- こ こーやー にがうり (23)
こつきー ごちそう (71)
こつきー とーらりだゆー
　　ごちそうさまでした (13・15)

- さ さー さあ (27)
さーでい やろうぜ (82)
さーり いき ひょーり
　　連れていいって下さい (62)
さんさん クマゼミ (33・37)
さげー みやーむー 下げよう (69)
さにんしやんがさー そーらー
　　うれしそうだね (75)
ざまどり まごついた (97)
さみん さんみん ゲットウ (35)
さらー ～します (27)

- し しーみやーむー してみよう (27)
しいさぬ わからぬ (97)
しーり ～して (27)
じーわ クロイワツクツク (37)
しうきよー 聞きなさいよ (83)

- しうまぬ 島の (本文では石垣島) (52・62)
しうるまかる 汁わん (15)
しぇーすんが している (82)
しか 石垣市四箇 (7・52)
しこーりきーだ 準備 (71)
しこーりむぬ お供え物 (73)
しじや 兄 (9)
しじやぶなりう 姉 (9)
してーーすぬ はーし
　　ソテツの葉で (33)
しとうむでいぬ んぽん
　　朝ごはん (13・23)
しな はるん ～します (27)
じゅーさんぬよい 十三祝い (75)
じゅーるくにちう 十六日祭 (71)
しゆむつどう 本を (21)
じょーとーに 上手に (33)
じょーとーらー 良かったね (17)
しょーるん しますか (19)
しょんぐわじうらー 正月です (67)
しらびらー 調べてみましょう (90)
しらべー みやー
　　調べてみよう (35・37)
じん お金 (77)
しんしーかい 先生に (7・29)

- す すうぐ でいご (35)
すーそー ～をするの (17)
すーだ ～したよ (25)
すーだゆー ～したよ (17)
すーぬ 海水 (52)
すかりそー よきなのは (7)
すくり みやーむ
　　作ってみよう (33)
すすいのーぬ みちう
　　白砂の道 (53)
すないだ むぬ (こつきー)
　　お供えしたごちそう (73)
すなだ 風景 (53)
すばぴうさなんが 左右 (52)
すぶんまい 大会前 (27)
すまかい どこに (31)
すまかい はりやー
　　どこに行きますか (43)
すまんかどう どこに (31)
すめー 染めて (31)
する おつゆ (15)
するいり そろって (27)
するばん そろばん (77)

八
重
山

そ

そーろん お盆 (73)
ぞぞー さあ (43)

た

たかーに いっぱい たくさん (31・69)
たかでい 高台 (52)
たちうかー 立っているところ (83)
だぶら ふくらはぎ (11)
たまなー キャベツ (23・39・41)
たぬみや 注文しなさい (45)
たろーやかん 人一倍 (97)
たんかーよい 満歳の誕生日 (77)

そ
め

ちうかさりだー 招待された (77)
ちうななー 網目 (82)
ちうぶしう ひざ (10)
ちうみ 爪 (31)
ちきゅーんがれー 世界中では (53)
ちび おしり (11)
ちやばん 湯飲み茶わん (15)
ちゅくららー 作りましょう (90)
ちょーみん 帳面 (77)

つ

つかーれーる 使われる (52)
つかさなーら ご案内しましょう (52)
つくら 作ろう (33)
つくりぶさーりきー 作りかいから (33)
つくるだ 建てられた (52)
つくれーりきー 作ってあるから (69)
つくれーる 作った (33)
つさりんゆー ～をします (67)
つさりんゆー 紹介します (9)
つたいる 伝える (87)
つだみ カタツムリ (37)
つぶる 頭 (10)
つら 顔 (11)
つんぽん ご飯 (15・77)
つんぽんつぶ ご飯粒 (15)
つんぽんまかい 茶わん (15)

て

ていー うさーし 手を合わせて (71)
でいー さあ (13・31・43・71)
教えてください (21)

ていー 手 (10)
ていーぬびら 手の平 (10)
でいかしえーれんゆらー 良かった (でかした) ね (29)
でーじう ひどく (97)
てーどうん 竹富島 (53)

といみな 探しに (31)
とーぬ ふあいむぬ 中華料理 (45)
どうしう 友だち (82)
どうすおーや 友は (97)
とうすぬ 手の (69)

とうつたかやー 取ったんだって (77)

とうなが 卵 (15)
とうながやき 卵焼き (15)

とうびんでーる 代表する (53)
とうみな 探しに (31)

とうみばどう 探せば (31)
とうみらんば 選ぶよ (45)

とうめーむーら 探してみましょう (90)

とうんな はら (写真) を撮りに行こう (75)

とうんな 取りに (31)
とーらりら いただこう (71)

とーらりるんどー (とーらるなーらー) いただきます (45)

とーらりるんゆー いただきます (13)
とーらるなーらー いただきます (13)

なー 名前 (37)
なー うつあれーんどー 有名なんだよ (62)

なーびかちかちー リュウキュウアブラゼミ (37)
なーむちるとうくる 有名な場所 (52)

なーや 名前は (7・99)
なういみーら 習ってみましょう (83)

なきぐい 鳴き声 (37)
なま 現在 (52)

なまから これから (39)
ならーし 教えて (19)

ならーし ひーりや 教えてちょうだい (99)

のどう のど (11)

ならい くー 習いに行こう (33)
ならい くーでい 習いに行こう (33)
ならい みーら 習ってみましょう (83)
ならいり 習って (17)
ならいるかやー 習っているのかな (19)
なりどう うるゆー ～になります (7)
なりぶさんゆー なりたいです なんぎしー 苦労 (17)

に にあいそー 似合っているね (75)
にふあいゆー ありがとうございます (25・45)
にふあいゆー ふこーらさゆー ありがとうございます (41)
にふあどー ありがとうございます (82)
にやーりきー 似合っているから (75)
にんとうぬ 年頭の (67)

ぬ ぬきなすんで 取り除く (97)
ぬくりる 残っている (52)
ぬすとうる 泥棒 (どろぼう) (83)
ぬまるぬ 飲めない (83)

ね ねーら 右 (10)

の のーかやー 何かな (23)
のーしーり 何をして (21)
のーしどう うだ どうだった (何かあった) (29)
のーしどう うだかやー どうだった (77)
のーしぬ どんな (31)
のーしる むぬゆ どんなこと (19)
のーどう 何を (33・39・41・45・77)
のーどうしー 何をして (33)
のーどう ほーだー 食べたか (13)
のーぬ 何の (21・31・35)
のーやかん たまらなく (97)
のーんがさ 何か (99)
のーんくい しこーれーる いろいろな (43)
のーどう のど (11)

は ばーのや 私の名前は (7)
ばー 私の (7・99)
はいしゃ ぼーだーどう 食べるのが早かったので (23)
はいしゃ 早く (13)
ばがー 私たち (62)
ばがーしゅま うた 私たちの故郷の歌 (90)
ばがだー けーらぬ みんなの (87)
ばがれー 分かれて (27)
ばくん かけられる (82)
ぱしう おはし (15)
ぱじう ハチ (37)

ぱしうきなよー 忘れるなよ (25)
はじまるんどー 始まります (13)
はじまるんどー 始まるぞ (83)
はじめら いこう (始めよう) (27)
はじめんどー 始めるよ (19)
ばそー バショウ (35)
ばそーきん 芭蕉布 (35)
ばそんなる バナナ (35)
ばだ お腹 (10)
ばだかー 真っ裸 (97)
ばだぬ んつんけん お腹いっぱい (69)

ばな 鼻 (11)
ばなー 私は (17・33・45・77)
ばなーや 私は (45)
ばぬ 私 (9)
ばぬん 私も (23・62)
はべる (チョウ) (37)
ばしょー や ~のときには (21)
はら 行こう・行きましょう (31・43)
はらぬ 行かんか (82)

はらばどう 行けば (31)
ばららー 行こう (71)
ぱり 針 (83)
はりよー いってらっしゃい (13)
はる 行く (82)
ぱるん 行く (17)
ぱん 足 (11)
ぱんぬぴさ 足のこう (11)

ひ ひーふりき 笛を吹き (97)
ひーりう (畠の) 縁 (82)
ひうとうげんなー や たまには (43)
ひうとうだーぬ 人たち (82)
びぎどうん 男 (9)
びげー お父さん (9・17・75)
びだる 左 (10)
ぴていーず ひとつ (69)

ぴとう 人 (83)
ぴとういぬ 一日 (13)
ぴとうーりぬ 一人の (97)
ぴびじや ヤギ (37)
びむん 碑文 (ひもん) (90)
ぴゆーる 日 (29)
ひょーり ください (19)
ぴろーまゆくいや 昼休みの時間は (21)
ぴろーむのー や 給食は (昼ごはんは) (23・29)
びんきよー 勉強 (25・99)

ふ ふあーなー 赤ちゃん (9)
ふあいむー 食べよう (15)
ふあーらー 食べよう (13)
ふっちやー 長兄 (9)
ふーりう 豊年祭 (62)
ふーりうどう やりき 豊年祭だから (00)
ふかんが いでー 外に (43)
ふかぬ くやの (33)
ふかんが 他には (31)
ふしえー 習癖 (83)
ふちう 口 (83)
ふつ 口 (11)
ふでい 筆 (77)
ぶなりうびぎりう 兄弟姉妹 (9)
ぶねー お母さん (9・75)
ふみらりだ ほめられた (29)
ふむん 踏む (82)
ふんとーぬ かたちうし 実戦形式で (27)

へ へー 足の指 (10)
ペーぐ 早く (97)
ペーりふちう 山門 (52)
ぺん ひざ (10)

ほ ほーい みやーむー さあ食べよう・食べに行こう (43・45・69)
ほいぶさーる むぬ 食べたいもの (45)
ほいむぬやー レストラン (43)
ほいよー 食べてね (69)
ほーかやーで 食べようかと (45)
ぼーれーぼーれー いい子だね (39)

ま まーずん いっしょに (13・17・82・99)
まーぞん 一緒に (90)
まーぞんさーり 一緒に (62)
まーりみせーり 多くの人たち (52)
まい 米 (39・41)
まいしやーる 大きな (53)
まじう まずは (90)
ます いい (45)
まぞー まずは (27)
また くーよー また来てね (41)
まちう リュウキュウマツ (35)
まちかんていー しーだゆー 待ち遠しかった (23)
まちや お店 (39)
まつやかい お店に (41)
まやー 猫 (9・37)
まよー まゆ (11)
まりじょー 性分 (90)
まりゆー 生まれです (7)

み みー 目 (11)
みーどうなー 少女 (97)
みーどうん 女 (9)
みぐうとう 見事なものだ (62)
みしゃーる すず いいのか (82)
みしゃーるかやー いいかな (31)
みしゃーんさー 良いだろう・良い考えですね (43)
みしゃーんどうらー いいよ (21)
みらりすどう 見られるのが (97)

む むーるかい 皆に (97)
むーるさーり みんなで (71)
むーるし 合計 (全部) で (41)
むかしうむに ことわざ (83)
むかす 昔 (82)
むかすばなしうぬ かけーる 昔物語が書かれた (21)
むしうかごー 虫カゴ (33)
むちう 仲良くする (82)
むつ むーちー (69)
むつかさ そーらー 難しいね (21)

むとう もと (83)
むぬ 物 (33・39)
むねー 言葉 (83)
むむつたる もも (11)
むんどー 問答 (62)

め めー もう (13)

もーぎぬ 虹の (83)

やーさ しーだ (しーる)
お腹が空いていた (23)
やーどうる ニワトリ (37)
やーにんじゅー 家族 (9)
やーぬ 家の (53)
やいまぬ 八重山の (21・52)
やすんが けれども (97)
やすんが しかし (77)
やすんが ～だよ (13)
やだ だった (29)
やーかい はりよー

帰りなさいね (25)
やでーん 必ず (52・97)
やな 悪い (82)
やなむぬ 邪悪な (97)
やふぬ わざわ 災いの (83)
やまたんす

リュウキュウバライチゴ (35)
やりき ～なので・だから (27・62)
やりきー ～です (71)
やるかー ～だったら (31)

ゆー ～です (7)
ゆー よく (83)
ゆーな オオハマボウ (35)
ゆくしむねー すーかー
嘘をつく (83)
ゆしどうふ ゆしどうふ (23)
ゆみりや 読んでいるの (21)
ゆみる 読んでいるよ (21)
ゆんぐとう ことわざ (82)
～ゆ ～です (41)

わなー 君は (97)

んかよーららー
お迎えしましょう (73)
んかよーら お迎えしましょう (73)
んきやーとーりよー
お召し上がりください (71)
んこーりよー
お召し上がりください (71)
んまさーそーらー
美味しいね (45)
んまさーる むぬんが
美味しいもの (45)

美味しいかな (45)
んまさーる むんぬ

美味しいものが (29)
んまさんがしやー そーらー
美味しいそうだね (45)
んまさんがしやーそー
美味しいそうだね (69)
んみー おばあさん (9・83)
んー うん (21)



与那国 (祖納言葉)

あ

あー ああ (69)
あいさてい あいさつ (67)
あいわる ～ですね (43)
あいわるかやー ～ですか (41)
あうだ カエル (37)
あかちら なたん 赤面した (97)
あかぬ 赤の (97)
あがみがらやー
赤くなってくると (85)
あがみてい 幼児 (39)
あがみんが 子どもは (85)
あかやー あるかな (31・45)
あがんき アカギ (35)
あぎだん トンボ (37)
あさ おじいさん (9・85)
あさんき おじいさんに (33)
あしや ～してみると (97)
あたいぶたば
合っていたので (29)
あたや ～だったら (31)
あたらる 大切 (85)
あたる ～だった (13・15・97)
あちらい 注文 (45)
あつたや 明日ね (25)
あてい 姉 (9)
あとうあとうや 将来は (7)
あとうなる 後にある (85)
あどうびら かかと (11)
あぬ 私 (9・64)
あぬや 私は (17・33・45・77)
あぬん 私も (23)
あはり 苦労 (17)
あびやる きれいな (31)
あびやんがえー きれいだね (75)
あびやんどー 美しいよ (54)
あぶ おばあさん (9・85)
あぶた お母さん (9)
あぶたん お母さんも (75)
あぶんたがら
おばあさんから (85)
あみ 雨 (99)
あやみはびる ヨナグニサン (37)
あらーぐ とても (13・15・64)
あらーぐ ふがらさ
本当にありがとうございました (25)
あらかいぐ 卵焼き (15)
あらぬない じゃないか (97)
ある はでいどう
あるはずだよ (31)
あるんがら

う

ういとうらしわれ
(売って) ください (41)
うか ふがにや
この他には (31)
うがんふとうてい 豊年祭 (64)
うぎり 起きなさい (13)
うさい ごちそう (71・73)
うし これで (25)
うた 歌 (91)
うたにあるに
歌にも歌われていて (55)
うていたん 打った (29)
うとうたがる 有名な (55・64)
うとうたがん 有名です (54)
うとうだ (びぎぶない)
兄弟・姉妹 (9)
うとうとう 弟 (9)
うとうとうぶない 妹 (9)
うとうとうぶないぬ 妹の (75)
うぬふがぬ この他の (85)
うぶいていどう 大きな岩が (55)
うぶいゆ 大きな魚を (85)
うまかま いろんな所 (54)
うまどう ここは (54)
うまぬん 思っていない (85)
うまや ここは (21)
うむいぶる 考えています (7)
うむいぶんがどう
思っているんだけど (45)
うむっつあんどー
おもしろいよ (64)
うむんに 思っているように (85)
うや これは (41)
うやし わるん
召し上がる (召し上がる) (15)
うやしわれ
食べてください (13・73)
うやん ～しましょう (54)
うやんが 親が (85)
うやんとう ネズミ (37)
うゆび 指 (10)
うるむさんさんてい
イワサキクサゼミ (37)
うんからんき それから (29)
うんながにある 海にある (55)
うんながんき いりる
しづんでいく (54)
うんにてい そして (29)

お

おー
はい (目上の人に対する場合) (13・19・25・27・39)



おー 王 (97)

か

かいとかや 買ってこようか (39)

かいし 買って (39)

かいむぬ 買い物 (39)

かいむんき 買い物に (39)

かっていある 書かれた (21)

かたぶるち かた (11)

かでい 数の (69)

かでい 風・台風 (85)

かていむぬ おかげ (15)

かていん 書いて (97)

かなーでい 必ず (97)

かまぬ あそこの (39)

からん 髪 (10)

かんがいどう 考え (43)

かんな うで (10)

かんぬいてい 神の岩 (55)

き

き ～に (39)

き (一) ～して (21)

きーぬ 木の (85)

きーまちかやんでいどう しようかと (45)

きーわるな ～をしますか (19)

きさがら 先ほどから (23)

きたんどうー ～したよ (25)

きてー ～して (27)

きるやー ～しよう (99)

きるん ～します (27)

きるんでい ～するのに (17)

きるん ～をする (41)

きんがい ぬい 機嫌が直る (87)

きんさんどう ～していいよ (45)

きんたぐぬ ホウセンカの (31)

きんだぐに 島にんじん (23)

きんでやー ～したよ (17)

く

くーよー 来てね (41)

くぐる 心 (27)

くぐるがら あたらき うむい

心からかわいく思う (87)

くぐる なだやしく

心やさしい (87)

くぐるむてい 気持ち (87)

ぐすぬはな ハイビスカス (35)

くち 腰 (11)

くちぶに 背中 (11)

くとうちん いーくとうゆ あらみ

とうらしわり

今年もよろしくお願ひします (67)

くとうば ことを (19)

くとうば 言葉 (87)

くば ビロウ (35)

くみんき 組に (27)

ぐや にがうり (23)

くらしすたる 暮らしてきた (97)

くんが 買うの (41)

くんでいどう ある

やってくる (85)

くんちみてい 引き締めて (27)

さ

さしんだたん ささげた (97)

さばん 湯飲み茶わん (15)

さるがてい クロイワツクツク (37)

さんがい (き) ガジュマル (35)

さんぎるん 下げよう (69)

さんさん クマゼミ (37)

さんさんどう クマゼミを (33)

さんいん ゲットウ (35)

し

しがたや 姿は (55)

しきんき 準備して (71)

しまるー 終わろう (25)

しゃなぎどう わるんがえー

うれしそうだね (75)

しんしんき 先生に (7)

す

すーがら 今日から (73)

すーぬ 今日の (21・23)

すーや

今日は (17・23・25・33・64・71・99)

すーん 今日も (13・19・25)

すいひ 連れていって (64)

すなてい 兄 (9)

すみてい 染めて (31)

すむてい 本 (21)

すむていどう 本を (21)

する お盆 (73)

する うぐいうやい

お見送りしましよう (73)

するいてい そろって (27)

するばん そろばん (77)

する んかいうやい

お迎えしましよう (73)

すんがてい お正月 (67)

すんでいさー いらっしゃい (41)

た

だーさぬ お腹が空いて (23)

だーならいどう 家での習いが (85)

だーにんどう 家族 (9)

たーん 誰か (41)

たぎや 高さは (55)

たたみうらたん 教えてやった (97)

たていがみいてい 立神岩 (55)

だないどう 悪い習慣が (85)

だなむぬとう 悪い人と (85)

だならどう 気を付けて (25)

たばらりる (ー)

いただきます (13・45)

だまとうぬ 日本の (54)

たまな キャベツ (23)

たまにや たまには (43)

たんかぬ だいんき

満一歳の誕生祝いに (77)

だんさる 悔しいのだ (97)

たんでい どうーでいん

よろしくお願ひします (19)

ち

ちーー 着ろ (97)

ちたわる 伝わる (91)

ちにくら ふくらはぎ (11)

ちま 島・故郷 (91)

しまるー 終わろう (25)

ちまなぎどう わるんがえー

うれしそうだね (75)

しんしんき 先生に (7)

す

すーがら 今日から (73)

すーぬ 今日の (21・23)

すーや

今日は (17・23・25・33・64・71・99)

すーん 今日も (13・19・25)

すいひ 連れていって (64)

すなてい 兄 (9)

すみてい 染めて (31)

すむてい 本 (21)

すむていどう 本を (21)

する お盆 (73)

する うぐいうやい

お見送りしましよう (73)

するいてい そろって (27)

するばん そろばん (77)

する んかいうやい

お迎えしましよう (73)

すんがてい お正月 (67)

すんでいさー いらっしゃい (41)

つ

つありるん ～します (9・67)

つあーばな 草花 (33・35)

つかいらりたん 招待された (77)

つかいるー 行きましょう (43)

つかない ぶん

飼育しています (54)

つかにぬん 使えない (85)

つかりるが 使えるが (85)

つかいぬー 使ってみよう (99)

つくいあんがら

作ってあるから (69)

つくいて 作って (69)

つくいぶさるんがら

作りたいから (33)

つくいんだぎ 作りましょう (91)

つくいぬや 作ってみよう (33)

つくるー 作ろう (33)

つくわる 作った (33)

つたみ 紹介 (お知らせ) (9)

つたみとうらぬん

教えてくれない (21)

つていぶに 口 (11)

つとういぬ 一人の (97)

つとうち ひとつ (69)

つとうとう 方と (27)

つとうぬ 人の (55)

つとうたんや 人々は (55)

つまどうぐい 昼休み (21)

て

てい 手 (10)

ていー うさして

手を合わせて (71)

ていだんが 太陽が (54)

ていねばた 手の平 (10)

ていん 空 (85)

でいー さあ

(13・15・31・33・45・71)

ひーり 朝ご飯 (13)
ひーりや 朝ご飯は (15)
ひたや 行けば (31)
ひつとういんが 一日が (13)
ひびだ ヤギ (37)
ひるどー 行きなさい (13)
ひるどう 帰りなさいね (25)
ひるば 行けば (31)
ひるん 行く (17)
ひろー 行こう (27・33)
びんが 男 (9)

ふ
ふいばってい 箫を吹き (97)
ふ 食べる (85)
ふ一 食べよう (13・15)
ぶーる みんなで (71)
ぶーるし 合計 (全部) で (41)
ぶーるぬ みんなの (87)
ふいぶるんがら 降っているから (99)
ふがならい 外での習い (85)
ふがぬ 他の (33)
ふがらさ ありがとう (41)
ふがんき 外に (43)
ぶたが あった (29)
ぶたる ～だった (23)
ふでい 筆 (77)
ふみらりたん ほめられた (29)
ぶる います (54)
ふんすんが 食べるのが (23)

ま
まー もう (13)
まーかや いいかな (45)

まーさぎさんがえー
おいしそうだね (45・69)
まーしく たくさん (69)
まーてい 似合って (75)
まーどう 美味しい (13・15)
まーる 美味しい (29)
まーるむのー 美味しいもの (45)
まいさるはびる 最大のガ (54)
まいどう 前で (27)
まいぬどう 稲の穂が (85)
まいふな いい子 (39)
まがい 茶わん (15)

まち 良い (45)
まち (き) リュウキュウマツ (35)
まちり 祭り (64)
まっちやる 好きな (45)
まっちやる うさい
お供え物を (73)
まっちゃんすや 好きなのは (7)
までいかんていどう

待ち遠しい (23)
までいや までは (27・91)
まどうん 一緒に (13・15・17)
まゆ ねこ (9)
まりどう 生まれ (7)
まるはだが 真っ裸 (97)
まんがえー 美味しいね (45)
まんがい 曲がり (85)
まんぐ 孫 (9)

み
みー 目 (11)

みーぬふあぬ 南東部 (巳の方角) (55)
みーみぬ 実らない (85)
みきりや 探せば (31)
みきんでい 探しに (31)
みきんぬやー 探してみましょう (91)
みぐとうな 見事な (64)
みぐとうどうー 見事です (55)
みしやに お店にて (41)
みしyan お店 (39)
みた ニワトリ (37)
みぬまゆ まゆ (11)
みぬんが 女 (9)
みぬんが あがみてい 少女 (97)
みんぶる 顔 (10)

む

むち 昆虫 (37)
むちかさん 難しい (21)
むちばぐ 虫カゴ (33)
むちばぐんきや 虫カゴには (33)
むてい むーちー (69)

むぬがら ものから (45)
むぬどうー ものだ (64・85)
むぬんがどう ものが (29・85)
むぬぬたてい ことわざ (85)
むむ もも (11)

や

やー やあ (17)
よい (目下の人に対する場合)
はい・うん (19・21)

わ

わー ブタ (37)
わーしき 天気 (17)
わるかやー いますか (41)

ん
んーちみ しっかり (きちんと) (15)

んかちむぬがたい 昔物語 (21)
んかるんどう お迎えしましょう (73)
んくてい 赤ちゃん (9)
んさいわるかや こんにちは (7)
んさかや いいかな (31)
んさたや 良ければ (54)
んざたんがえー 良かったね (17)
んさんどうあるない 良いだろう (43)
んさんどー いいよ (21)
んしやる いるね (75)
んだい 左 (10)
んたく 頭を立てる (85)
んだみ カタツムリ (37)
んだや 君は (97)
んだらんえー かわいいね (77)
んでいどう ～と言って (55)
んでいぶいてい 呼んでいて (55)
んでいひるん 行く (27)
んでいぶる 言っている (54)
んなにんが 着物が (75)
んなりる 見える (54)
んなりるんすんがどう 見られるのが (97)
んに 米 (39)
んにんてい 見に (64)
んぬ この (55)
んぬぬ 昨日の (17)
んび おしり (11)
んぶち ひざ (10)
んまんき どこに (31)
んみんき 爪を (31)



◆【写真提供】

石垣市市史編纂室：アンガマー (62p) / マウンガナシー (63p) / ハーリー (63p) / 豊年祭 ツナヌミン (63p)

与那国町教育委員会：ナントウ (23p) / 立神岩 (55p) / 棒おどり (64p・65p) / どうんた (64p) / タティウサイ (65p) / ミティウタ (65p) / 久部良豊年祭 (65p) / 祖納豊年祭 (65p) アヤミハベル館：ヨナグニサン (あやみはびる) (54p)

竹富町教育委員会：竹富島の家屋敷 (53p) / ピナイサーラーの滝 (53p) / 仲間川 (53p) / 波照間のムシャーマ (63p) / 西表のシツマツリ (63p) / 竹富のタニドウリ (63p) / 小浜の結願祭 (63p) 南山舎：赤馬の像 (90p)

宮古島市教育委員会：島尻のパントウ (60p) / 城辺上区の獅子舞 (61p) / 川満棒踊り (61p) / うるかクイチャー (61p) / ヤーマス御願 (61p) / 池間のクイチャー (61p) / 友利クイチャー (61p) / 友利獅子舞 (61p) / 松原の獅子舞 (61p)

久志区公民館：久志の若接司・みんじょーがなしー (58p・59p)

名護市教育委員会：屋部の八月踊り (59p)

座間味村教育委員会：海神祭 (57p)

沖縄県立総合教育センター：リュウキュウバライトゴ (34p)

沖縄観光コンベンションビューロー：そば (22p) / ゴーヤーチャンプルー (22p・23p) / ラフテー (22p) / ソーメン (22p) / そーき (22p) / 魚の塩煮 (23p) / アーサ汁 (23p) / イレしどうふ (23p) / とうふ (23p) / デイゴ (34p) / ハイビスカス (34p) / アカギ (34p) / バナナ (34p) / イジュ (34p) / オオハマボウ (34p) / リュウキュウマツ (34p) / 白銀堂 (46p) / 勝連グスク (47p) / 沖縄こどもの国 (47p) / 玉泉洞 (47p) / 美ら海水族館 (48p) / 恩納村のビーチ (48p) / 古宇利島 (48p) / 通り池 (51p) / 那覇ハーリー (56p) / 那覇大綱曳き (57p) / 獅子舞フェスティバル (57p) / 全島エイサー祭り (57p) / 与那原大綱曳き (57p) / 糸満ハーレー (57p) / 塩屋ハーリー (58p) / 塩屋のウンガミ (59p) / 安田のシヌグ (59p) / 安和のウシデーク (59p)

写真撮影：宮城一春 / 合資会社 沖縄時事出版編集部

◆【主要参考文献】

『沖縄語辞典—那覇方言を中心に』内間直仁・野原三義 <2006(平成18)年> 研究社

『沖縄古語大辞典』沖縄古語大辞典編集委員会編 <1995(平成7)年> 角川書店

『沖縄語辞典』国立国語研究所 <1963(昭和38)年> 大蔵省印刷局

『沖縄今帰仁方言辞典』仲宗根政善 <1983(昭和58)年> 角川書店

『沖縄語の入門—たのしいウチナーグチ』西岡敏・仲原穰他 <2000(平成12)年> 白水社

『うちなあぐち考』野原三義 <1992(平成4)年> 沖縄タイムス社

『うちなあぐちへの招待』野原三義 <2005(平成17)年> 沖縄タイムス社

『高校生のための郷土のことば』野原三義・内間直仁・中本謙・田名裕治 <2014(平成26)年> 沖縄県教育委員会

『語ていんーだなしまくとうば』しまくとうば普及推進専門部会 <2014(平成26)年> 沖縄県文化観光スポーツ部

『使って遊ぼうしまくとうば』那覇市教育委員会学校教育課編 <2013(平成25)年> 那覇市

『新編 沖縄の文学』沖縄県教育文化資料センター、波照間永吉監修 <2003(平成15)年> 合資会社沖縄時事出版

しまくとうば読本

- ◆ 監修 野原三義 沖縄国際大学名誉教授
加治工真市 沖縄県立芸術大学名誉教授
西岡敏 沖縄国際大学総合文化学部教授
中本謙 琉球大学教育学部准教授
仲原穰 琉球大学他 非常勤講師
- ◆ 編集 「しまくとうば読本」制作委員会
- ◆ 発行 沖縄県文化観光スポーツ部 文化振興課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号
- ◆ 協力 沖縄県教育庁 義務教育課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号
- ◆ 発行日 2015(平成27)年3月27日

◆録音話者 野原三義(那覇言葉)／宮里健一郎(久志言葉)／
下地トミ子(平良言葉)／石垣博孝(四箇言葉)／
宮良康正(与那国言葉)

◆各地域のアドバイザー

宮里健一郎(北部)、上原仁吉、山入端津由／下地トミ子(宮古)／
石垣英和、宮良長久、石垣博孝(八重山)／
宮良康正、田原伊明(与那国)

◆イラスト 当山百合子

◆録音協力 真榮城茅奈実(沖縄国際大学放送研究部)

◆第六版 発行 2021年2月26日 印刷 有限会社アイドマ印刷

◆制作合資会社 沖縄時事出版

代表 名幸諱子

編集責任 呉屋栄治

構成・原案・原稿執筆 宮城一春

※この本には、著作権および出版権がありますので、原則として無断転載を禁じます。但し、しまくとうばの普及・継承につながる非営利目的の場合は、その限りではありません。また、転載する際には、沖縄県文化振興課まで許可を得るようにして下さい。

電子書籍 (EPUB) リーダーについて

学校に配布したCDには電子書籍 (EPUB) のデータがあり、それぞれの音声データを収録しています。電子書籍を読むには、EPUB3.0に対応するリーダーをご利用ください。推奨するリーダーの利用方法を下記に説明しています。

■ Radium (Windows, Macintosh)

① Google Chrome(無料のブラウザ)をパソコンにダウンロードしてインストールします。Googleアカウントは新規作成、または、お使いのメールアドレスでも登録できます。(Win版、Mac版それぞれの対応ページにて行って下さい。)

<https://www.google.co.jp/chrome/browser/desktop/>

② Radiumをダウンロードして、Google Chrome ブラウザにプラグインします。 <http://readium.org/>

③ 電子書籍 (EPUB) の保存場所を選んで、「本の追加」ボタンをクリックします。

インストールボタン



↑ Radium (英語版のみ)



Macintosh を
ご使用の方は
iBooks でも
読むことが出来ます。



首里城（中南部）



川平湾（八重山）



東平安名崎(宮古)



日本国最西端之地の碑（与那国）



美ら海水族館（北部）



中学校 年 組 番

名
前